

# 市政世論調査報告書

## (第36回・平成16年)

- 調査項目 -

### 第1章

定 住 意 向  
生 活 環 境  
市 政 へ の 要 望

### 第2章

「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の達成度

### 第3章

循環型社会の形成に向けて  
地 産 地 消 の 推 進  
市 政 選 挙  
ス ポ ー ツ 振 興 の 推 進

八 王 子 市

## はじめに

地方分権の進展に伴い、各自治体は地域の特色をいかしたまちづくりが求められています。これは、地域のことは地域に暮らす人々が、自己責任のもとに創意・工夫を重ねまちづくりを行っていくことでもあります。

本格的な少子高齢社会の到来や深刻化する環境問題など、社会環境が大きく変わるなかで、これらの課題に対応し、より効果的な市政運営を推進するためには、市民の皆様の意向を迅速かつ的確に把握することが、ますます重要になってまいります。

本市では、平成15年3月に市民の皆様の参画をいただき、「人とひと、人と自然が共生し、だれもが生き生きするまち」をまちづくりの基本理念とした「八王子ゆめおりプラン」を策定しました。

現在、この「八王子ゆめおりプラン」に基づき、「市民と行政が対等な立場で、共通する目標の実現に向かって、協力・協調するまちづくり」を進めるため、積極的に行政情報を発信・提供するとともに、御提案や御意見を的確に把握するしくみづくりに取り組んでいます。

『市政世論調査』は、広聴活動の一環として、市民の皆様の生活環境への意識や市の施策に対する評価及び要望を把握し、これからのまちづくりの資料とするために毎年実施しています。

今年度の市政世論調査では、「定住意向」「生活環境」「市政への要望」の継続項目に加え、「八王子ゆめおりプランの施策指標の目標値に対する達成度」「循環型社会の形成に向けて」「地産地消の推進」「市政選挙」「スポーツ振興の推進」を調査項目として設定しています。

今後も、市政世論調査を通じて市民の皆様の市政への参加を図り、調査結果を有効に活用し、市民の皆様と市との協働によるまちづくりを推進していく所存です。

最後になりましたが、この調査に御協力いただきました市民の皆様にご心から御礼申し上げます。

平成16年10月

八王子市長 黒須 隆一

## 目次

### 調査の概要

1	調査目的	3
2	調査設計	3
3	調査項目	4
4	回収結果	4
5	報告書の見方	4
6	回答者の属性	5

### 調査結果の分析

#### 第1章

1	定住意向	13
	(1) 定住意向	13
	(2) 住み続けたい理由	16
	(3) 市外へ移りたい理由	18
2	生活環境	20
	(1) 生活環境の評価	20
3	市政への要望	29
	(1) 重点施策要望	29

#### 第2章

4	「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度	35
	(1) 市民協働の推進状況	35
	(2) 現在の市政情報入手方法の満足度	36
	(3) 市政情報入手の効果的な改善点	37
	(4) 市の窓口の利用の有無	38
	(5) 市の窓口サービスの満足度	39
	(6) 平和で安心して暮らせるまちであるか	40
	(7) この1年間の地域行事等への参加	41
	(8) 日常生活環境の安全度	42

( 9 ) 市の相談窓口の利用の有無.....	43
( 10 ) 相談窓口を利用しない理由.....	44
( 11 ) 市の相談窓口の充実度.....	45
( 12 ) 健康のため心がけていること.....	46
( 13 ) かかりつけの医療機関の有無.....	47
( 14 ) この1年間に取り組んだ学習活動.....	48
( 15 ) この1年間に行ったスポーツの頻度.....	49
( 16 ) スポーツをした理由.....	50
( 17 ) この1年間の芸術・文化活動の頻度.....	51
( 18 ) 魅力的だと感じる景観.....	52
( 19 ) 市は景観に配慮されたまちであるか.....	52
( 20 ) 大地震に備えた準備状況.....	53
( 21 ) 市のにぎわいと活力の有無.....	54
( 22 ) 環境問題への関心度.....	54
( 23 ) 都市の美観が損なわれる原因.....	55
( 24 ) 市は美観が保持されたまちだと思うか.....	56
( 25 ) 省エネ・省資源を実行しているか.....	57

### 第3章

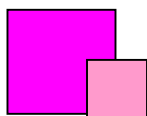
<b>5 循環型社会の形成に向けて.....</b>	<b>61</b>
( 1 ) ごみに対する基本的な意識について	
(1) - 1  ごみ減量やリサイクル活動への関心.....	61
( 2 ) ごみの発生抑制・循環型社会に関する意識について	
(2) - 1  日頃のごみに対する意識.....	62
(2) - 2  ごみを発生させない心がけ.....	62
( 3 ) ごみの分別について	
(3) - 1  資源の分別で意識している物.....	63
( 4 ) グリーン購入に対する意識について	
(4) - 1  グリーン購入への心がけ.....	66
(4) - 2  グリーン購入で支障を感じること.....	66
<b>6 地産地消の推進.....</b>	<b>67</b>
( 1 ) 地産地消について	

(1) - 1	用語「地産地消」の認知度.....	67
(1) - 2	「地産地消」への関心度.....	67
(1) - 3	市内産農畜産物購入の有無.....	68
(1) - 4	農畜産物を購入した場所.....	69
(1) - 5	意識して購入しているか.....	69
(1) - 6	市内産の農畜産物の購入割合.....	70
(1) - 7	市内産農畜産物は手に入るか.....	70
(1) - 8	手に入りにくい理由.....	71
(1) - 9	購入する農畜産物の他産地との価格差.....	72
(1) - 10	地産地消推進の取り組み.....	72
 (2) 学校給食について		
(2) - 1	給食への地元生産物の利用.....	73
(2) - 2	市内産農畜産物の利用で期待すること.....	74
 (3) 農産物直売所について		
(3) - 1	農産物直売所の認知度.....	74
(3) - 2	直売所で購入する頻度.....	75
(3) - 3	直売所で購入する理由.....	76
(3) - 4	直売所で購入する品目.....	76
(3) - 5	直売所で購入する金額.....	77
(3) - 6	直売所を利用しない理由.....	77
 (4) 道の駅に併設する大型農産物直売所について		
(4) - 1	道の駅の利用意向.....	78
(4) - 2	直売所に期待する品目.....	79
(4) - 3	八王子のイメージの品物.....	79
 <b>7 市政選挙</b> .....		
(1)	市政選挙への関心の有無.....	80
(2)	選挙に関心を持った理由.....	81
(3)	選挙で実際に投票に行ったか.....	81
(4)	投票に行った主な理由.....	83
(5)	投票に行かなかった主な理由.....	84
(6)	選挙のことをどこで知ったか.....	85

( 7 ) 投票率を上げるための改善策.....	86
<b>8 スポーツ振興の推進.....</b>	<b>88</b>
( 1 ) 運動・スポーツを行う場所や機会.....	88
( 2 ) 運動・スポーツを一緒にする人.....	90
( 3 ) 運動・スポーツを行う公共施設.....	91
( 4 ) 運動をしない・できない理由.....	92
( 5 ) 地域のスポーツ・レクリエーション活動への協力.....	93
( 6 ) 総合型地域スポーツクラブの認知度.....	94
( 7 ) 総合型地域スポーツクラブ利用意向.....	95
( 8 ) クラブで行いたいスポーツ.....	96
( 9 ) クラブに指導者やスタッフとして参加したいか.....	97
( 10 ) 適当と考える会費.....	98

## **調査票**

集計結果入り調査票.....	101
----------------	-----



## 調査の概要

---

# 1 調査目的

この調査は、市民の生活環境への意識、市の施策に対する評価及び市政への意見・要望を把握し、本市の市政運営の資料として活用することを目的とする。

# 2 調査設計

- ( 1 ) 調査地域：市内全域
- ( 2 ) 調査対象：市内在住の満20歳以上の男女個人
- ( 3 ) 対象者数：3,000人
- ( 4 ) 抽出方法：住民基本台帳からの層化2段無作為抽出法(層化 地点抽出 対象者抽出)  
層化...『八王子ゆめおりプラン』で示された本庁・事務所管轄区域に基づき、6地域に区分する。( \* 下の地域区分図参照 )  
地点数配分...各地域の調査対象人口(満20歳以上男女)に応じて調査対象を配分する。  
調査対象に基づいて合計100地点となるように各地区の地点数を決定、地点を抽出する。  
対象者抽出...抽出された各地点において対象者数が30人となるように無作為系統抽出を行う。

\* 本調査における地域区分

- 中央地域：本庁管内
- 西部地域：元八王子、恩方、川口
- 西南部地域：浅川、横山、館
- 北部地域：加住、石川
- 東南部地域：由井、北野
- 東部地域：由木、由木東、南大沢



- ( 5 ) 調査方法：郵送配付・郵送回収法
- ( 6 ) 調査時期：平成16年5月28日～6月8日
- ( 7 ) 調査担当機関：株式会社 アイ アール エス



### 3 調査項目

- ( 1 ) 定住意向
- ( 2 ) 生活環境
- ( 3 ) 市政への要望
- ( 4 ) 「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度
- ( 5 ) 循環型社会の形成に向けて
- ( 6 ) 地産地消の推進
- ( 7 ) 市政選挙
- ( 8 ) スポーツ振興の推進

### 4 回収結果

有効回収数：1,459票

有効回収率：48.6%（発送数：3,000票）

### 5 報告書の見方

- ( 1 ) 図表中の「n」は、その質問の回答者数を表している。
- ( 2 ) 回答は、その質問の回答者数（n）を基数として、小数第2位を四捨五入し百分率で表示してある。なお、四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。
- ( 3 ) 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。
- ( 4 ) 本文や図表中での選択肢の内容の表記は、語句が長い場合、一部省略した表現を用いている。

#### 【標本誤差について】

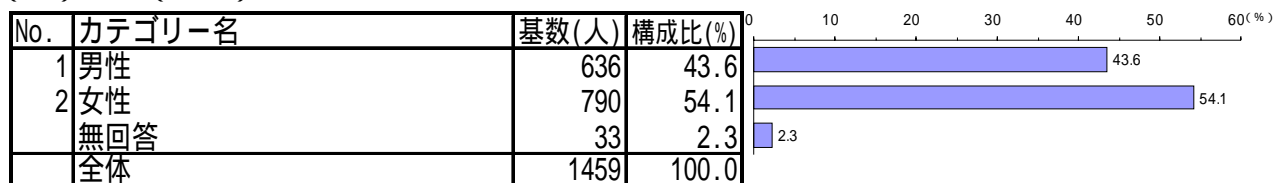
調査結果の比率から母集団（20歳以上の市民全体）の傾向を推測する際には、統計上の誤差（標本誤差）を考慮に入れる必要がある。本調査における各回答比率での標本誤差は、以下の早見表のとおりとなる。例えば回答者総数（1,459人）を100%とする比率で、ある質問の回答が50%のとき、八王子市民（満20歳以上）のこの質問に対する回答は、47.4%～52.6%の間にあると考えてよい。

各回答比率における標本誤差早見表

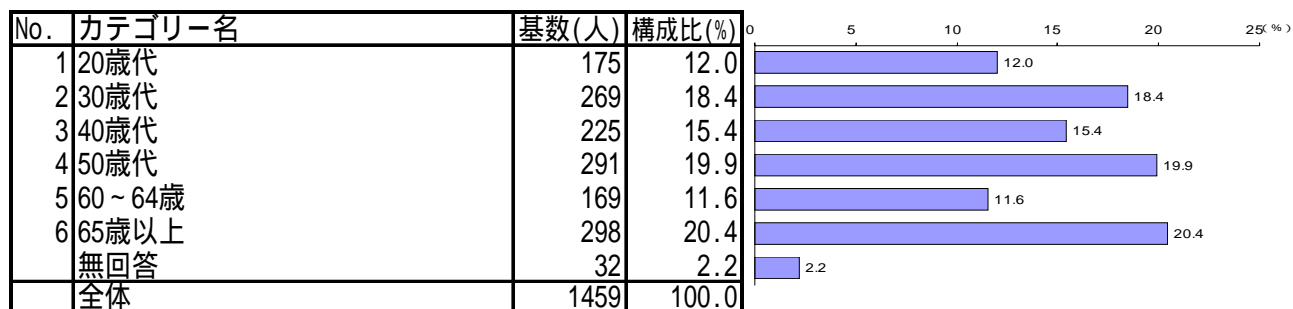
回答比率(P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,459人	±1.6%	±2.1%	±2.4%	±2.6%	±2.6%
1,000	±1.9%	±2.5%	±2.9%	±3.1%	±3.2%
500	±2.7%	±3.6%	±4.1%	±4.4%	±4.5%
250	±3.8%	±5.1%	±5.8%	±6.2%	±6.3%
100	±6.0%	±8.0%	±9.2%	±9.8%	±10.0%

## 6 回答者の属性（フェイス・シートの集計結果）

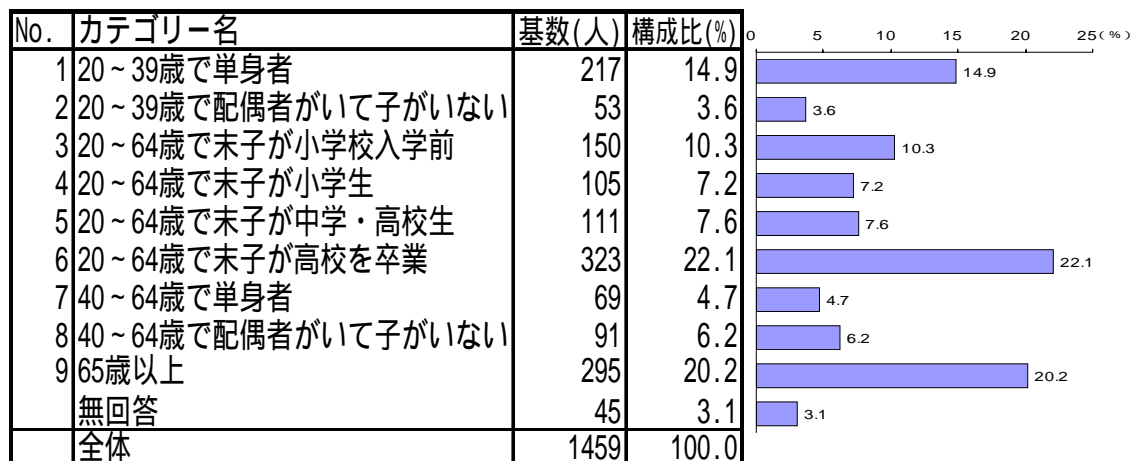
### （１）性別（F１）



### （２）年齢（F２）



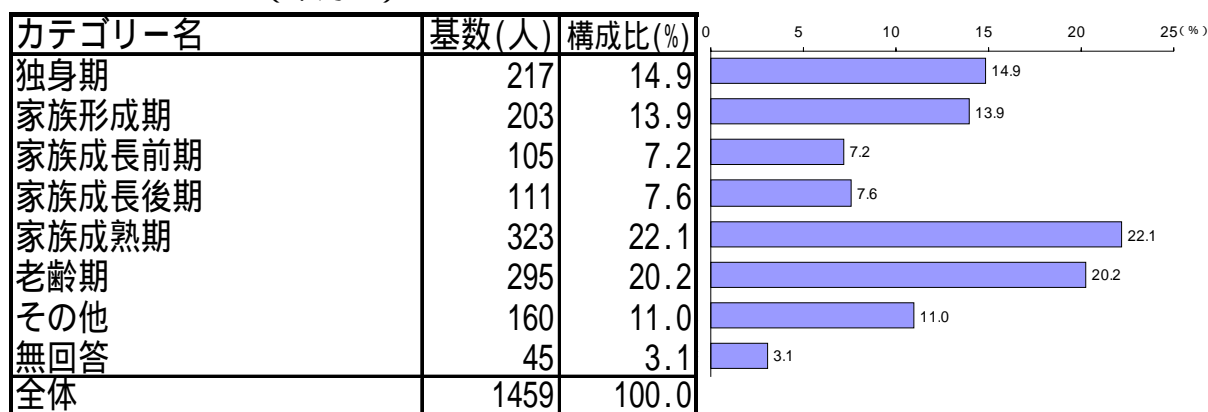
### （３）ライフステージ（F３）



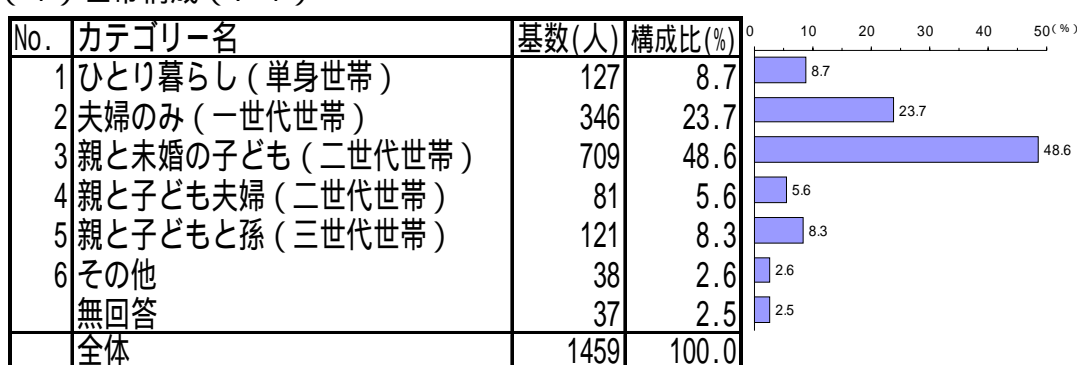
#### \* ライフステージを集約してみると...

20～39歳で単身者	独身期
20～39歳で配偶者がいて子がいない または、 20～64歳で末子が小学校入学前	家族形成期
20～64歳で末子が小学生	家族成長前期
20～64歳で末子が中学・高校生	家族成長後期
20～64歳で末子が高校を卒業	家族成熟期
65歳以上	老齢期
40～64歳で単身者 または、 40～64歳で配偶者がいて子がいない	その他

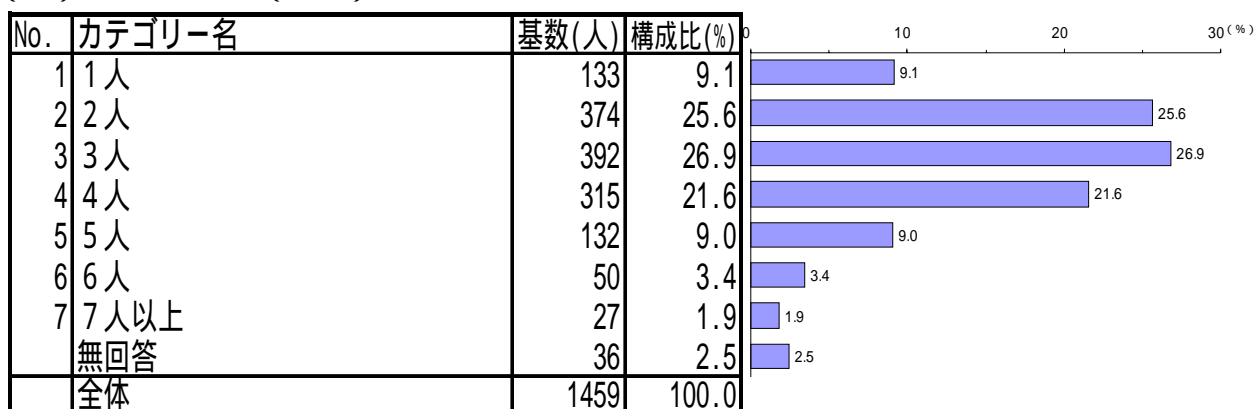
ライフステージ（集約型）



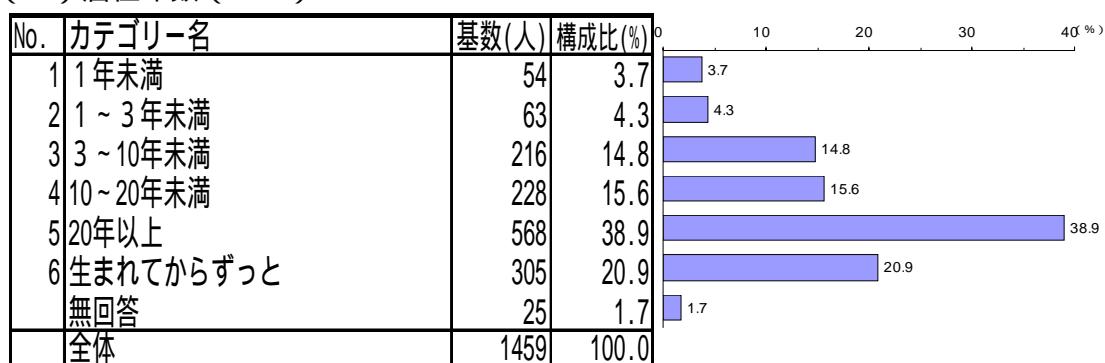
(4) 世帯構成（F4）



(5) 同居家族人数（F5）

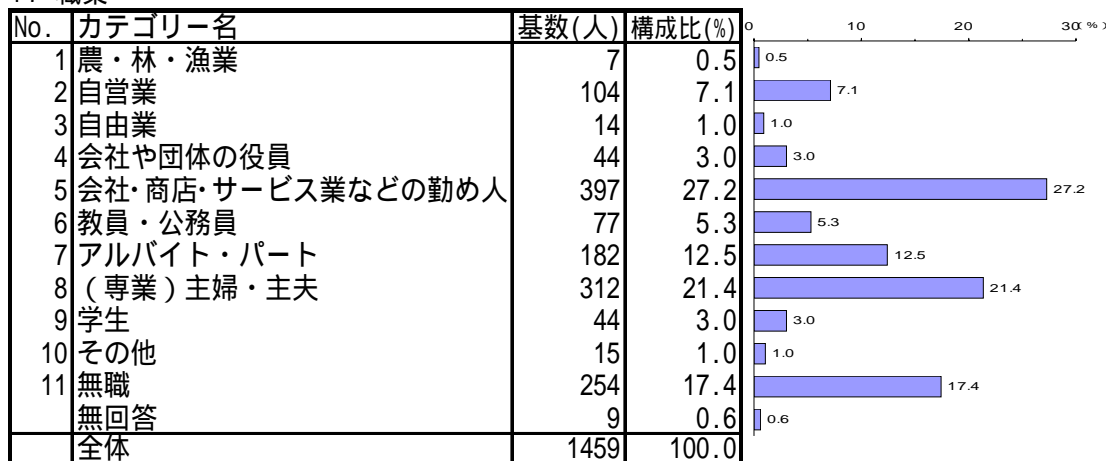


(6) 居住年数（F6）

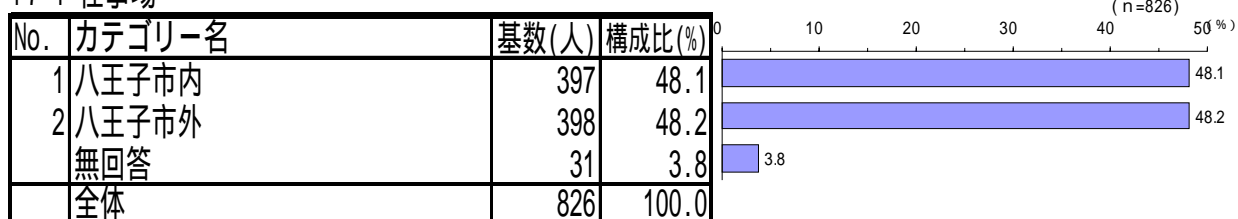


( 7 ) 職業 ( F 7 ) 仕事場 ( F 7 - 1 )

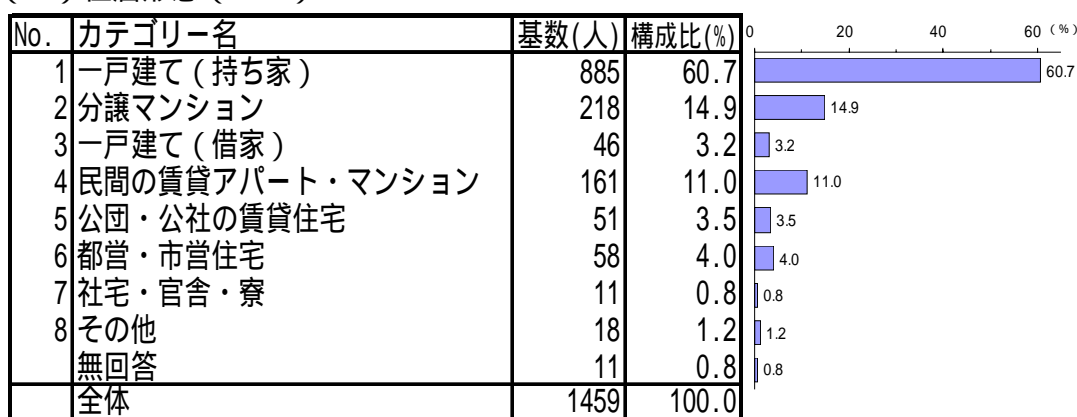
F7 職業



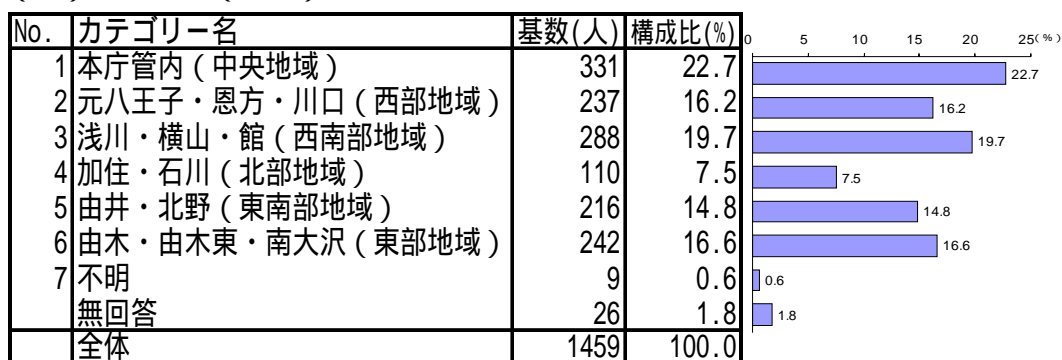
F7-1 仕事場



( 8 ) 住居形態 ( F 8 )

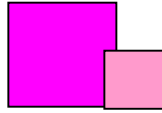


( 9 ) 居住地域 ( F 9 )



(10) 町会や自治会の加入状況 ( F 10 )





## 調査結果の分析

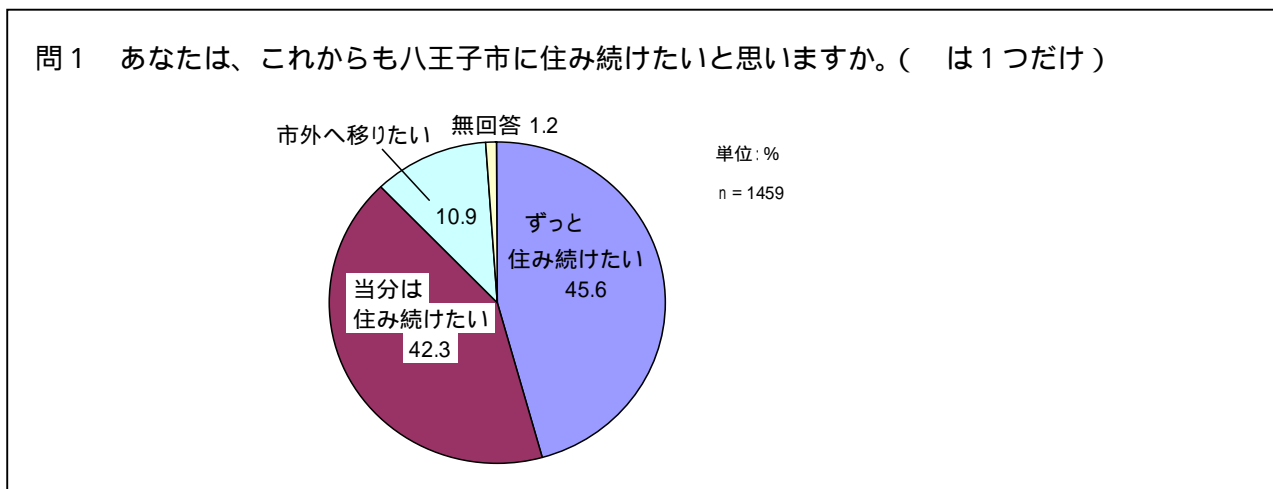
---

# 第 1 章

# 1 定住意向

## (1) 定住意向

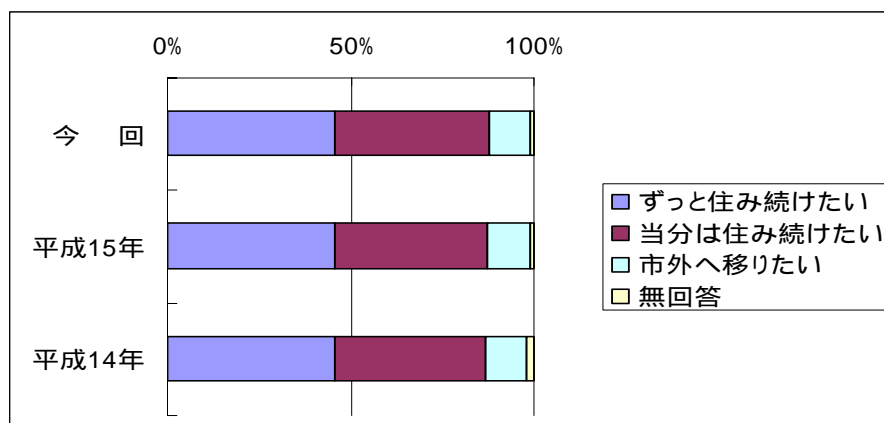
“住み続けたい”が約9割と多数を占める



市への定住意向では、八王子市に「ずっと住み続けたい」(45.6%)が最も多く、「当分は住み続けたい」(42.3%)を合わせると87.9%と、“住み続けたい”が9割近くを占めている。他方「市外へ移りたい」という人は10.9%と、約1割となっている。

### 【時系列比較】

(単位: %)	ずっと住み続けたい	当分は住み続けたい	市外へ移りたい	無回答
今回(n: 1,459)	45.6	42.3	10.9	1.2
平成15年(n: 1,717)	45.4	41.9	11.5	1.1
平成14年(n: 1,742)	45.5	41.4	11.1	2.0



「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」を合わせると、毎年徐々に増加する傾向にある。また、「市外へ移りたい」は、今回は昨年度と比べ減少している。



\* 上段...人数（単位：人） 下段...構成比（単位：%）

		全体	ずっと住 み続けた い	当分は住 み続けた い	市外へ移 りたい	無回答
合計		1459 100.0	666 45.6	617 42.3	159 10.9	17 1.2
F1 性別	男性	636 100.0	289 45.4	282 44.3	59 9.3	6 0.9
	女性	790 100.0	362 45.8	320 40.5	99 12.5	9 1.1
F2 年齢	20歳代	175 100.0	32 18.3	100 57.1	42 24.0	1 0.6
	30歳代	269 100.0	76 28.3	155 57.6	38 14.1	0 0.0
	40歳代	225 100.0	76 33.8	115 51.1	32 14.2	2 0.9
	50歳代	291 100.0	145 49.8	120 41.2	20 6.9	6 2.1
	60～64歳	169 100.0	115 68.0	44 26.0	9 5.3	1 0.6
	65歳以上	298 100.0	206 69.1	70 23.5	16 5.4	6 2.0

#### 【性別】

男性に“住み続けたい”という回答がやや多く見られ、女性を3.4ポイント上回っている。

#### 【年齢別】

「ずっと住み続けたい」という回答の割合は年齢が上がるほど増加しており、特に50歳代の49.8%から60～64歳では68.0%と、20ポイント近く急激に増えている。

また「当分は住み続けたい」と合算した“住み続けたい”では、20歳代では約75%であるが、30歳代で8割を超え、50歳代以上では9割を超えている。

「市外へ移りたい」との回答は、20歳代の24.0%から急激に減少し、50歳代以上では5%前後の割合となっている。

【居住地域別】

\* 上段...人数（単位：人） 下段...構成比（単位：％）

		全体	ずっと住 み続けた い	当分は住 み続けた い	市外へ移 りたい	無回答
合計		1459 100.0	666 45.6	617 42.3	159 10.9	17 1.2
F9 居住 地域	本庁管内（中央地 域）	331 100.0	158 47.7	132 39.9	35 10.6	6 1.8
	元八王子・恩方・ 川口（西部地域）	237 100.0	121 51.1	83 35.0	31 13.1	2 0.8
	浅川・横山・館 （西南部地域）	288 100.0	147 51.0	120 41.7	18 6.3	3 1.0
	加住・石川（北部 地域）	110 100.0	51 46.4	36 32.7	21 19.1	2 1.8
	由井・北野（東南 部地域）	216 100.0	95 44.0	93 43.1	27 12.5	1 0.5
	由木・由木東・南 大沢（東部地域）	242 100.0	79 32.6	140 57.9	22 9.1	1 0.4

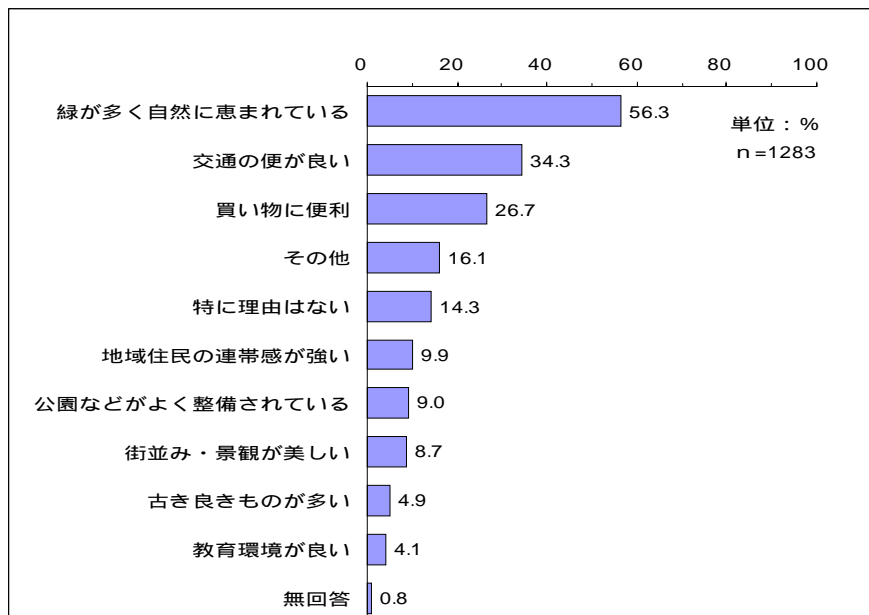
「ずっと住み続けたい」は元八王子・恩方・川口（西部地域）と浅川・横山・館（西南部地域）が半数を超え高く、本庁管内（中央地域）が僅差で続いている。

「当分は住み続けたい」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で、また「市外へ移りたい」は加住・石川（北部地域）で、それぞれ他の地域と比べて高い傾向にある。

## (2) 住み続けたい理由

「緑が多く自然に恵まれている」が半数を超え突出

(問1で、「1 ずっと住み続けたい」または「2 当分は住み続けたい」とお答えの方に)  
問1-1 住み続けたい主な理由は何ですか。( は3つまで)



住み続けたい理由としては、「緑が多く自然に恵まれている」からという答えが56.3%と最も多く、6割弱を占めている。

第2、3位の理由はそれぞれ「交通の便が良い」(34.3%)から、「買い物に便利」(26.7%)だから、となっている。

\* 上段...人数(単位：人) 下段...構成比(単位：%)

		全体	緑が多く自然に恵まれている	交通の便が良い	買い物に便利	地域住民の連帯感が高い	教育環境が良い	古き良きものが多い	街並み・景観が美しい	公園などがよく整備されている	その他	特に理由はない	無回答
合計		1283	722	440	343	127	53	63	112	116	206	184	10
		100.0	56.3	34.3	26.7	9.9	4.1	4.9	8.7	9.0	16.1	14.3	0.8
性別	男性	571	311	192	141	47	15	28	51	55	93	89	5
		100.0	54.5	33.6	24.7	8.2	2.6	4.9	8.9	9.6	16.3	15.6	0.9
性別	女性	682	397	239	197	77	36	35	56	56	110	89	5
		100.0	58.2	35.0	28.9	11.3	5.3	5.1	8.2	8.2	16.1	13.0	0.7
年齢	20歳代	132	59	56	30	9	3	4	17	9	30	22	1
		100.0	44.7	42.4	22.7	6.8	2.3	3.0	12.9	6.8	22.7	16.7	0.8
	30歳代	231	115	75	54	12	13	5	22	19	60	27	0
		100.0	49.8	32.5	23.4	5.2	5.6	2.2	9.5	8.2	26.0	11.7	0.0
	40歳代	191	109	57	50	16	14	11	13	20	32	31	2
		100.0	57.1	29.8	26.2	8.4	7.3	5.8	6.8	10.5	16.8	16.2	1.0
	50歳代	265	164	89	74	20	8	10	28	21	37	37	4
	100.0	61.9	33.6	27.9	7.5	3.0	3.8	10.6	7.9	14.0	14.0	1.5	
年齢	60~64歳	159	107	52	48	22	3	11	5	16	21	18	0
		100.0	67.3	32.7	30.2	13.8	1.9	6.9	3.1	10.1	13.2	11.3	0.0
年齢	65歳以上	276	152	102	84	45	9	21	22	27	23	45	3
		100.0	55.1	37.0	30.4	16.3	3.3	7.6	8.0	9.8	8.3	16.3	1.1

【性別】

多くの選択肢で女性のポイントが男性を上回っているが、「街並み・景観が美しい」及び「公園などがよく整備されている」では、男性のポイントの方が女性を上回っている。男性では女性よりも「街並み・景観」や「公園の整備状況」を重視していることが分かる。

【年齢別】

「地域住民の連帯感が強い」は、60～64歳と65歳以上で10%を超え、ポイントが高くなっている。

また、「教育環境が良い」は、30歳代及び40歳代の回答者で、他の年代よりも2～3ポイント高くなっている。

【居住地域別】

\* 上段...人数(単位:人) 下段...構成比(単位:%)

		全体	緑が多く自然に恵まれている	交通の便が良い	買い物に便利	地域住民の連帯感が強い	教育環境が良い	古き良きものが多い	街並み・景観が美しい	公園などがよく整備されている	その他	特に理由はない	無回答
合計		1283	722	440	343	127	53	63	112	116	206	184	10
		100.0	56.3	34.3	26.7	9.9	4.1	4.9	8.7	9.0	16.1	14.3	0.8
居住地域	本庁管内(中央地域)	290	114	132	100	33	12	14	11	14	45	50	1
		100.0	39.3	45.5	34.5	11.4	4.1	4.8	3.8	4.8	15.5	17.2	0.3
	元八王子・恩方・川口(西部地域)	204	114	28	34	24	12	17	4	4	42	38	2
		100.0	55.9	13.7	16.7	11.8	5.9	8.3	2.0	2.0	20.6	18.6	1.0
	浅川・横山・館(西南部地域)	267	175	116	85	28	8	15	19	14	43	29	2
		100.0	65.5	43.4	31.8	10.5	3.0	5.6	7.1	5.2	16.1	10.9	0.7
	加住・石川(北部地域)	87	45	21	10	8	5	4	2	3	19	17	1
	100.0	51.7	24.1	11.5	9.2	5.7	4.6	2.3	3.4	21.8	19.5	1.1	
由井・北野(東南部地域)	188	109	68	41	19	8	5	19	17	29	28	1	
	100.0	58.0	36.2	21.8	10.1	4.3	2.7	10.1	9.0	15.4	14.9	0.5	
由木・由木東・南大沢(東部地域)	219	154	65	66	12	7	7	57	64	25	19	1	
	100.0	70.3	29.7	30.1	5.5	3.2	3.2	26.0	29.2	11.4	8.7	0.5	

「緑が多く自然に恵まれている」は由木・由木東・南大沢(東部地域)で7割に達し、割合が最も高くなっている。一方、本庁管内(中央地域)では39.3%となっている。

「交通の便が良い」と「買い物に便利」は、本庁管内(中央地域)で最もポイントが高く、またこの地域と元八王子・恩方・川口(西部地域)は「地域住民の連帯感が強い」のポイントが高くなっている。

「公園などがよく整備されている」と「街並み・景観が美しい」は由木・由木東・南大沢(東部地域)のポイントが他地域に比べて突出して高くなっており、特に前者においては約30%に達している。

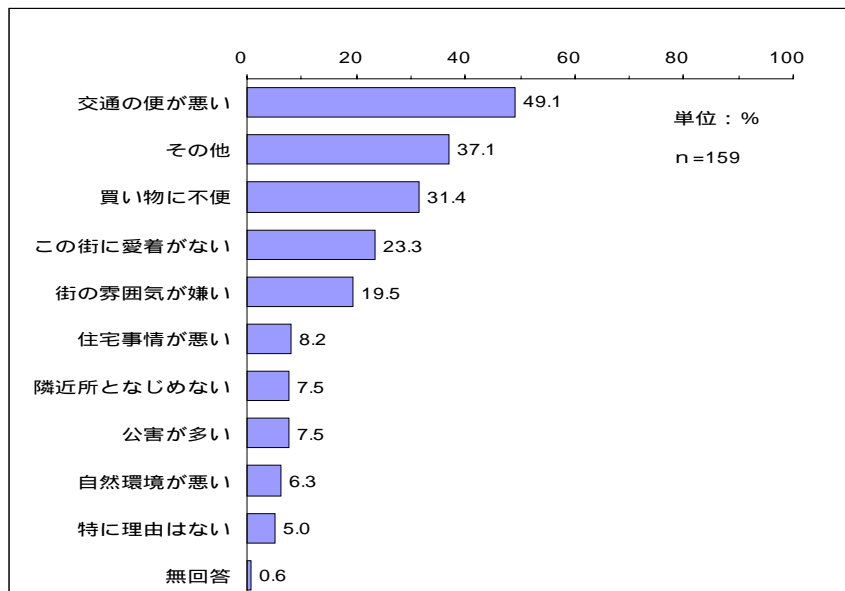
地域的な特徴をみると、本庁管内(中央地域)の住民は「交通の便が良い」「買い物に便利」「地域住民の連帯感が強い」と感じており、由木・由木東・南大沢(東部地域)は「緑が多く自然に囲まれている」「街並み・景観が美しい」「公園などがよく整備されている」と感じていることが分かる。

### (3) 市外へ移りたい理由

#### 「交通の便が悪い」が約半数でトップ

(問1で、「3 市外へ移りたい」とお答えの方に)

問1-2 市外へ移りたい主な理由は何ですか。( は3つまで)



市外へ移りたい理由としては、「交通の便が悪い」から(49.1%) というものが最も多く、約半数を占めている。

「買い物に不便」は31.4%で第3位、続いて「この街に愛着がない」(23.3%)、「街の雰囲気が嫌い」(19.5%)となっている。

\* 上段...人数(単位:人) 下段...構成比(単位:%)

		全体	自然環境 が悪い	交通の便 が悪い	買い物に 不便	隣近所と なじめない	この街に 愛着がない	住宅事情 が悪い	公害が多 い	街の雰 囲気が 嫌い	その他	特に理由 はない	無回答
合計		159	10	78	50	12	37	13	12	31	59	8	1
		100.0	6.3	49.1	31.4	7.5	23.3	8.2	7.5	19.5	37.1	5.0	0.6
F1 性別	男性	59	4	31	15	6	12	6	4	12	26	1	0
		100.0	6.8	52.5	25.4	10.2	20.3	10.2	6.8	20.3	44.1	1.7	0.0
	女性	99	6	47	35	6	25	7	8	19	33	6	1
		100.0	6.1	47.5	35.4	6.1	25.3	7.1	8.1	19.2	33.3	6.1	1.0
F2 年齢	20歳代	42	4	22	11	3	9	3	3	5	15	3	0
		100.0	9.5	52.4	26.2	7.1	21.4	7.1	7.1	11.9	35.7	7.1	0.0
	30歳代	38	2	20	12	2	8	4	2	12	16	0	0
		100.0	5.3	52.6	31.6	5.3	21.1	10.5	5.3	31.6	42.1	0.0	0.0
	40歳代	32	1	16	9	3	13	1	4	7	11	1	0
		100.0	3.1	50.0	28.1	9.4	40.6	3.1	12.5	21.9	34.4	3.1	0.0
	50歳代	20	2	9	7	0	1	1	2	4	9	3	0
	100.0	10.0	45.0	35.0	0.0	5.0	5.0	10.0	20.0	45.0	15.0	0.0	
	60~64歳	9	0	4	5	2	2	0	1	0	2	0	0
		100.0	0.0	44.4	55.6	22.2	22.2	0.0	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0
	65歳以上	16	1	7	6	2	4	4	0	3	6	0	0
		100.0	6.3	43.8	37.5	12.5	25.0	25.0	0.0	18.8	37.5	0.0	0.0

【性別】

「買い物に不便」、「この街に愛着がない」、「特に理由はない」の項目では女性の方が男性よりもポイントが高くなっており、「交通の便が悪い」、「隣近所となじめない」などでは逆に男性の方がポイントが高くなっている。

【年齢別】

「交通の便が悪い」は、年齢が上昇するとともに割合が徐々に小さくなっていった。

「買い物に不便」は、60～64歳の割合が大きくなっている。

65歳以上の人では「住宅事情が悪い」のポイントが高くなっている。

【居住地域別】

\* 上段...人数(単位:人) 下段...構成比(単位:%)

		全体	自然環境 が悪い	交通の便 が悪い	買い物に 不便	隣近所と なじめない	この街に 愛着がない	住宅事情 が悪い	公害が多 い	街の雰 囲気が嫌 い	その他	特に理由 はない	無回答
合計		159 100.0	10 6.3	78 49.1	50 31.4	12 7.5	37 23.3	13 8.2	12 7.5	31 19.5	59 37.1	8 5.0	1 0.6
F9 居住 地域	本庁管内(中央地 域)	35 100.0	5 14.3	13 37.1	7 20.0	2 5.7	7 20.0	3 8.6	2 5.7	10 28.6	16 45.7	1 2.9	0 0.0
	元八王子・恩方・ 川口(西部地域)	31 100.0	0 0.0	20 64.5	8 25.8	4 12.9	13 41.9	2 6.5	0 0.0	8 25.8	8 25.8	3 9.7	0 0.0
	浅川・横山・館 (西南部地域)	18 100.0	1 5.6	7 38.9	7 38.9	2 11.1	3 16.7	2 11.1	2 11.1	4 22.2	2 11.1	2 11.1	0 0.0
	加住・石川(北部 地域)	21 100.0	1 4.8	13 61.9	10 47.6	0 0.0	4 19.0	2 9.5	5 23.8	3 14.3	11 52.4	0 0.0	0 0.0
	由井・北野(東南 部地域)	27 100.0	1 3.7	16 59.3	13 48.1	2 7.4	4 14.8	2 7.4	2 7.4	4 14.8	8 29.6	1 3.7	0 0.0
	由木・由木東・南 大沢(東部地域)	22 100.0	1 4.5	7 31.8	4 18.2	2 9.1	6 27.3	1 4.5	0 0.0	2 9.1	11 50.0	1 4.5	0 0.0

「交通の便が悪い」は元八王子・恩方・川口(西部地域)で最もポイントが高く、65%弱となっている。「買い物に不便」は由井・北野(東南部地域)や加住・石川(北部地域)でポイントが高くなっている。

「この街に愛着がない」のポイントが高いのは元八王子・恩方・川口(西部地域)、「街の雰囲気嫌い」のポイントが高いのは本庁管内(中央地域)である。

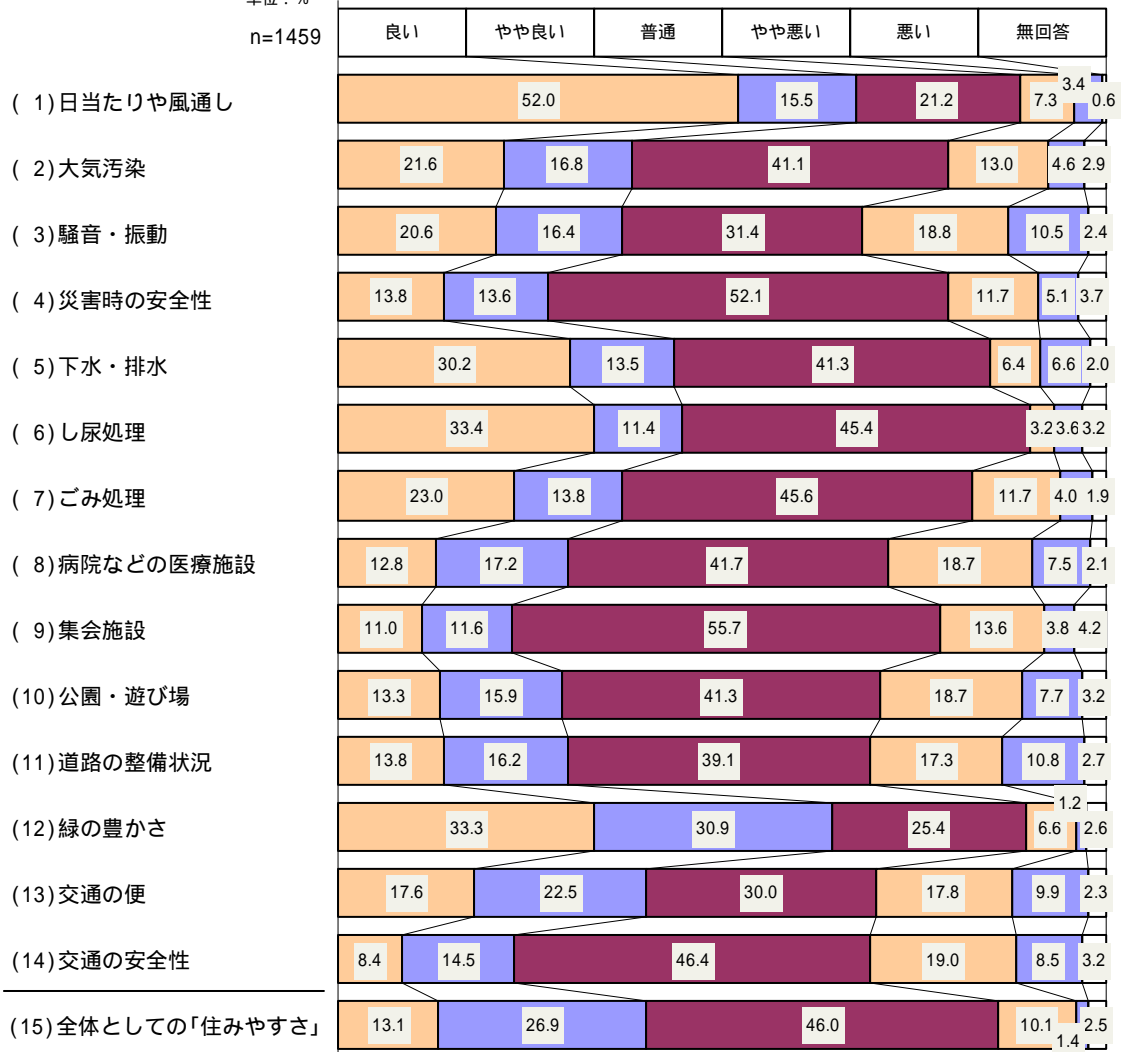
## 2 生活環境

### (1) 生活環境の評価

「日当たりや風通し」(半数超)「緑の豊かさ」は評価が高い  
 「騒音・振動」、「道路の整備」、「交通」などが課題

問2 あなたは、周囲の生活環境について日頃どのように感じていますか。(1)～(15)の各項目それぞれについてお答えください。( はそれぞれ1つつ)

単位：%  
 n=1459



生活環境の評価をみると特に満足度が高い(「良い」、「やや良い」の合計の割合が大きい)のは、「日当たりや風通し」と「緑の豊かさ」であることが分かる。

他方、「騒音・振動」、「道路の整備状況」、「交通の便」、「交通の安全性」などで満足度が低く(「やや悪い」、「悪い」の合計の割合が大き)くなっている。

全体としての「住みやすさ」の感覚としては、「普通」とした人が最も多くなっている(46.0%)。また、「良い」、「やや良い」を合わせると4割の人が住みやすいと感じていることが分かる。

### 【詳細な分析】

生活環境を 15 の項目に分けて、それぞれの評価をきいた。

「良い」と「やや良い」を合算して“良い”、「やや悪い」と「悪い」を合算して“悪い”と分類し、それぞれの上位 5 項目ずつを列挙すると、次のようになる。

#### “良い”

---

日当たりや風通し.....	67.5%
緑の豊かさ.....	64.2
し尿処理.....	44.8
下水・排水.....	43.7
交通の便.....	40.1

#### “悪い”

---

騒音・振動.....	29.3%
道路の整備状況.....	28.1
交通の便.....	27.7
交通の安全性.....	27.5
公園・遊び場.....	26.4

なお、全体としての「住みやすさ」では、“良い”が4割(40.0%)、「悪い”が1割強(11.5%)で、“良い”の方が多くなっている。

#### ～加重平均値(満足度)～

生活環境を比率でみるのとは別に、比較をより明確にするために、「加重平均値」による数量化を試みた。これは、下記の計算式にあるように、評価にそれぞれ点数を与えて評価点を算出する方法である。

$$\begin{aligned} & \text{「良い」の回答者数} \times 5 \text{点} \\ & + \text{「やや良い」の回答者数} \times 4 \text{点} \\ & + \text{「普通」の回答者数} \times 3 \text{点} \\ & + \text{「やや悪い」の回答者数} \times 2 \text{点} \\ & + \text{「悪い」の回答者数} \times 1 \text{点} \\ \text{評価点} = & \frac{\hspace{15em}}{\text{回答者数}} \end{aligned}$$

この算出方法では、評価点は 5.00 点～1.00 点の間に分布し、中間点の 3.00 点を境として、5.00 点に近くなるほど満足度は高く、逆に 1.00 点に近くなるほど満足度は低いことになる。



これによる評価点の高いものと低いものの上位5項目は、次のようになる。

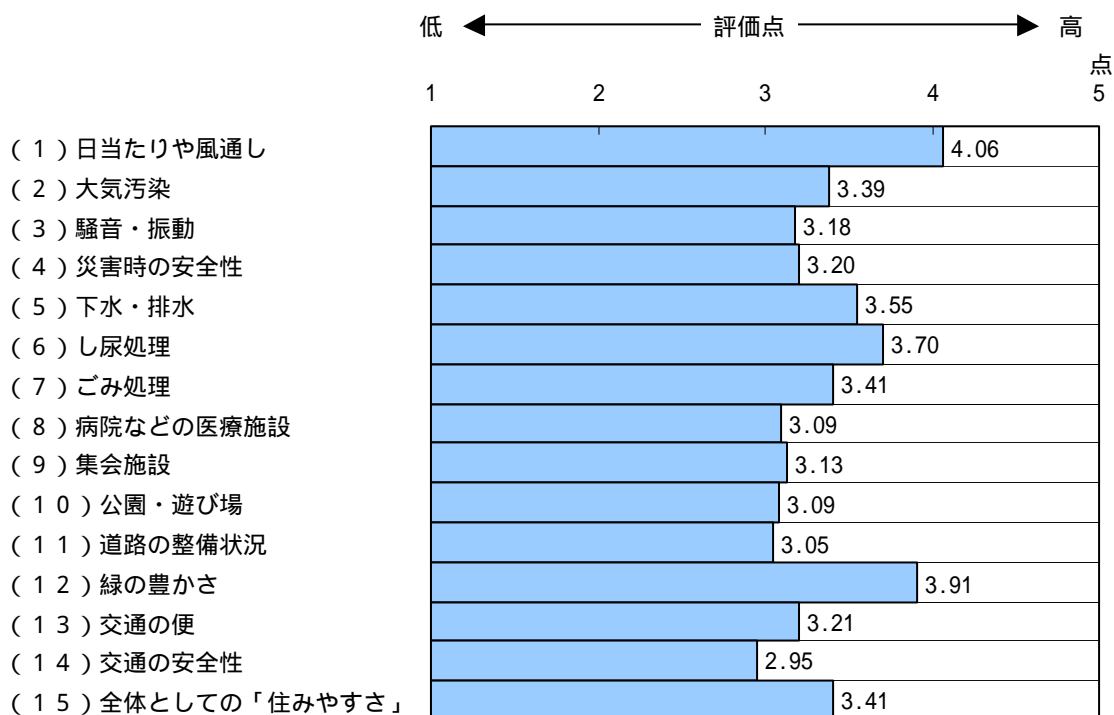
高いもの

日当たりや風通し.....	4.06 点
緑の豊かさ.....	3.91
し尿処理.....	3.70
下水・排水.....	3.55
ごみ処理.....	3.41

低いもの

交通の安全性.....	2.95 点
道路の整備状況.....	3.05
公園・遊び場.....	3.09 (3.087)
病院などの医療施設.....	3.09 (3.094)
集会施設.....	3.13

生活環境の評価点(全体)



なお、全体としての「住みやすさ」の評価点は、「3.41」点となっている。

居住地域別評価点

(点)

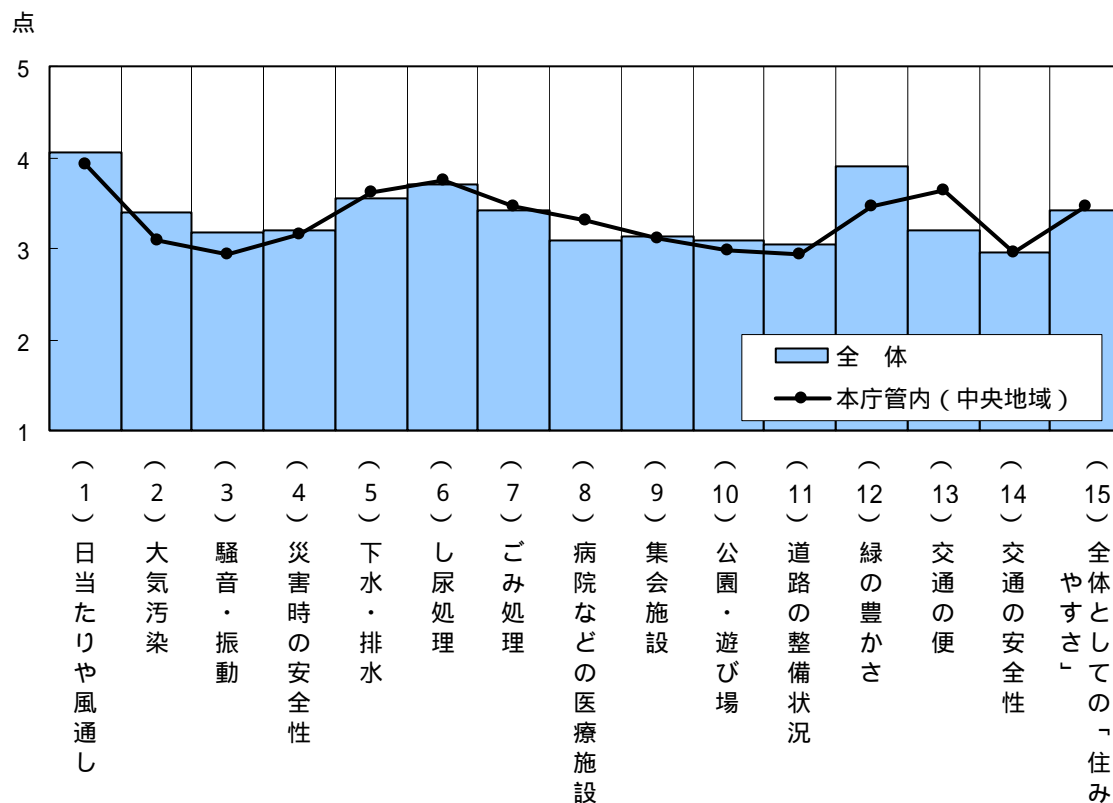
項目	全 体	居住地域					
		本庁管内 (中央地域)	元八王子・恩方・川口 (西部地域)	浅川・横山・館 (西南部地域)	加住・石川 (北部地域)	由井・北野 (東南部地域)	由木・由木東・南大沢 (東部地域)
(1) 日当たりや風通し	4.06	3.93	4.07	4.10	3.89	3.97	4.34
(2) 大気汚染	3.39	3.08	3.62	3.41	2.91	3.46	3.74
(3) 騒音・振動	3.18	2.93	3.47	3.24	2.55	3.38	3.32
(4) 災害時の安全性	3.20	3.15	3.18	3.30	3.14	3.02	3.39
(5) 下水・排水	3.55	3.61	3.10	3.61	3.30	3.67	3.87
(6) し尿処理	3.70	3.75	3.27	3.81	3.50	3.79	3.94
(7) ごみ処理	3.41	3.47	3.21	3.54	3.30	3.35	3.52
(8) 病院などの医療施設	3.09	3.32	2.71	3.33	3.22	2.85	3.02
(9) 集会施設	3.13	3.12	3.00	3.23	2.92	3.05	3.31
(10) 公園・遊び場	3.09	2.98	2.78	3.21	2.61	2.98	3.69
(11) 道路の整備状況	3.05	2.94	2.35	3.22	2.77	3.09	3.80
(12) 緑の豊かさ	3.91	3.46	4.06	4.10	3.75	3.83	4.35
(13) 交通の便	3.21	3.64	2.36	3.40	2.71	3.18	3.43
(14) 交通の安全性	2.95	2.95	2.45	3.09	2.55	3.00	3.40
(15) 全体としての「住みやすさ」	3.41	3.46	3.12	3.55	3.05	3.34	3.73

は、各項目内の最高値  
は、各項目内の最低値

次に、15項目の評価の加重平均値を、居住地域ごとに、市全体と対比させたグラフを表示する。

市全体と居住地域別の満足度評価の比較（加重平均値による）

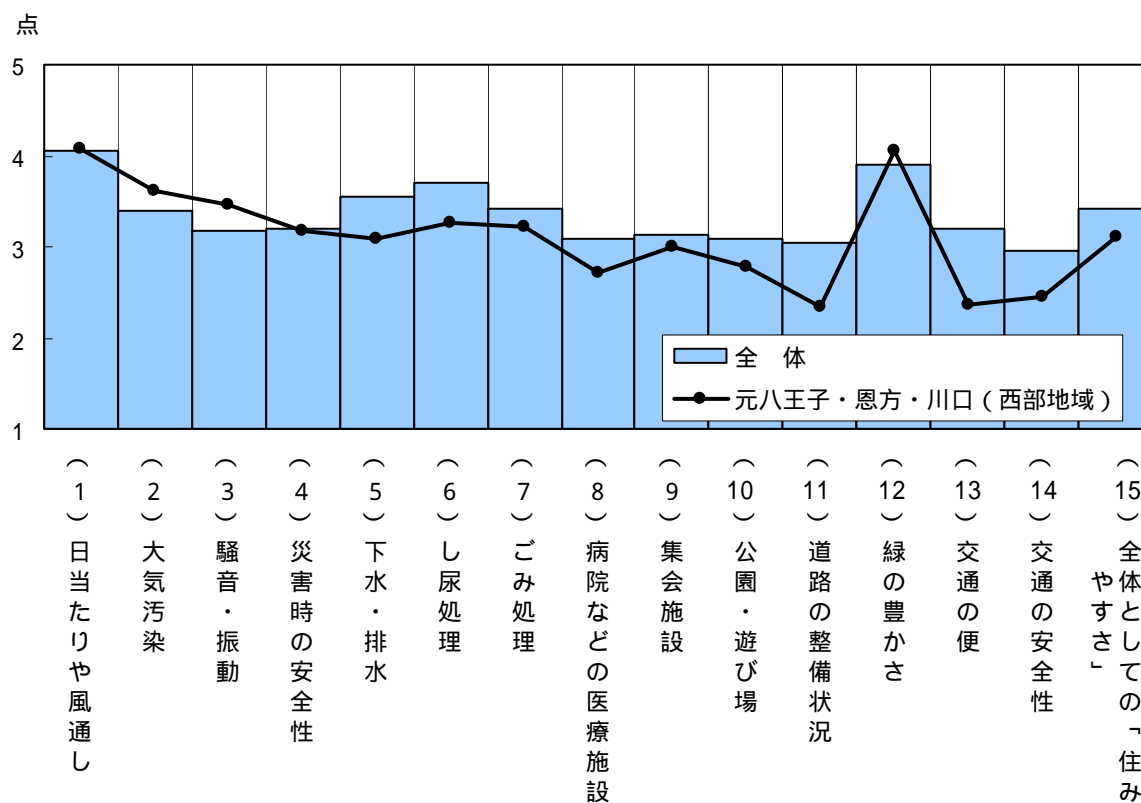
《本庁管内（中央地域）》



市全体と比較して、「交通の便」が市全体を大きく上回り、差は0.43ポイントとなっている。また「病院などの医療施設」も、市全体を0.23ポイント上回っている。逆に、15項目中8項目が市全体を下回っており、差が大きいのは「緑の豊かさ」(0.45ポイント差)、「大気汚染」(0.31ポイント差)などである。

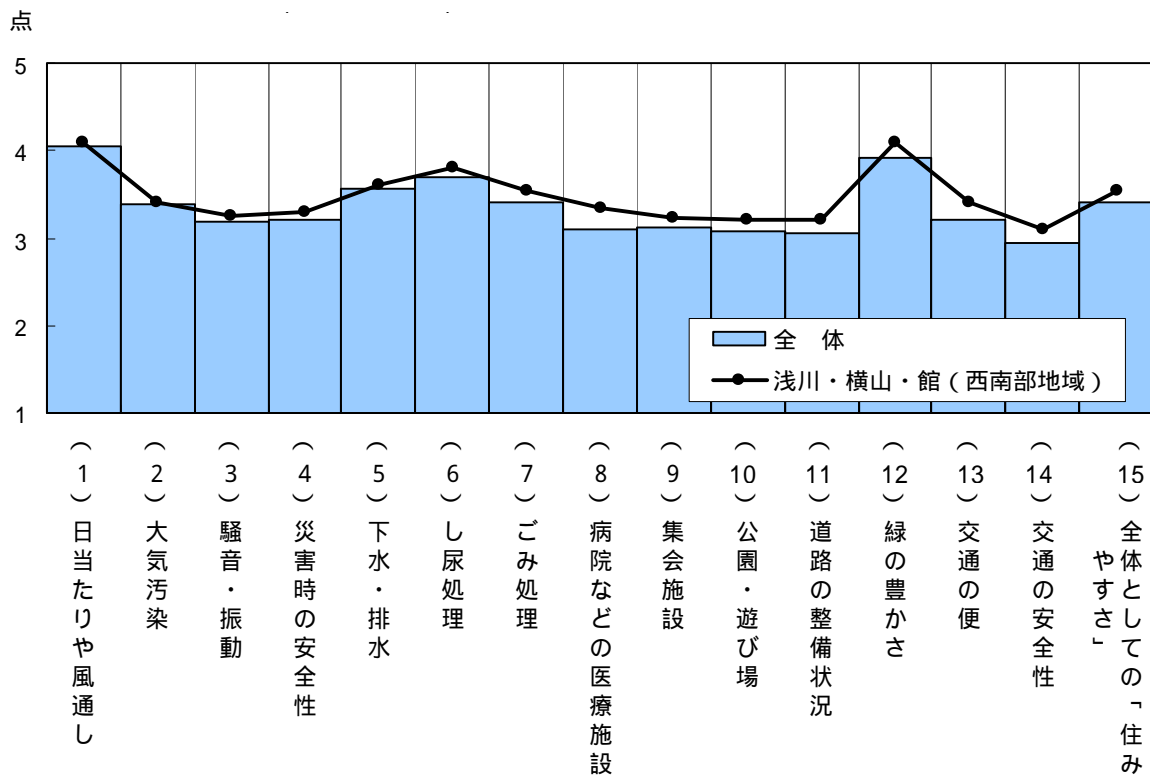
なお、「緑の豊かさ」は6地域中で最も評価点が低く、反対に「交通の便」は6地域中で最も評価が高くなっている。

《元八王子・恩方・川口（西部地域）》



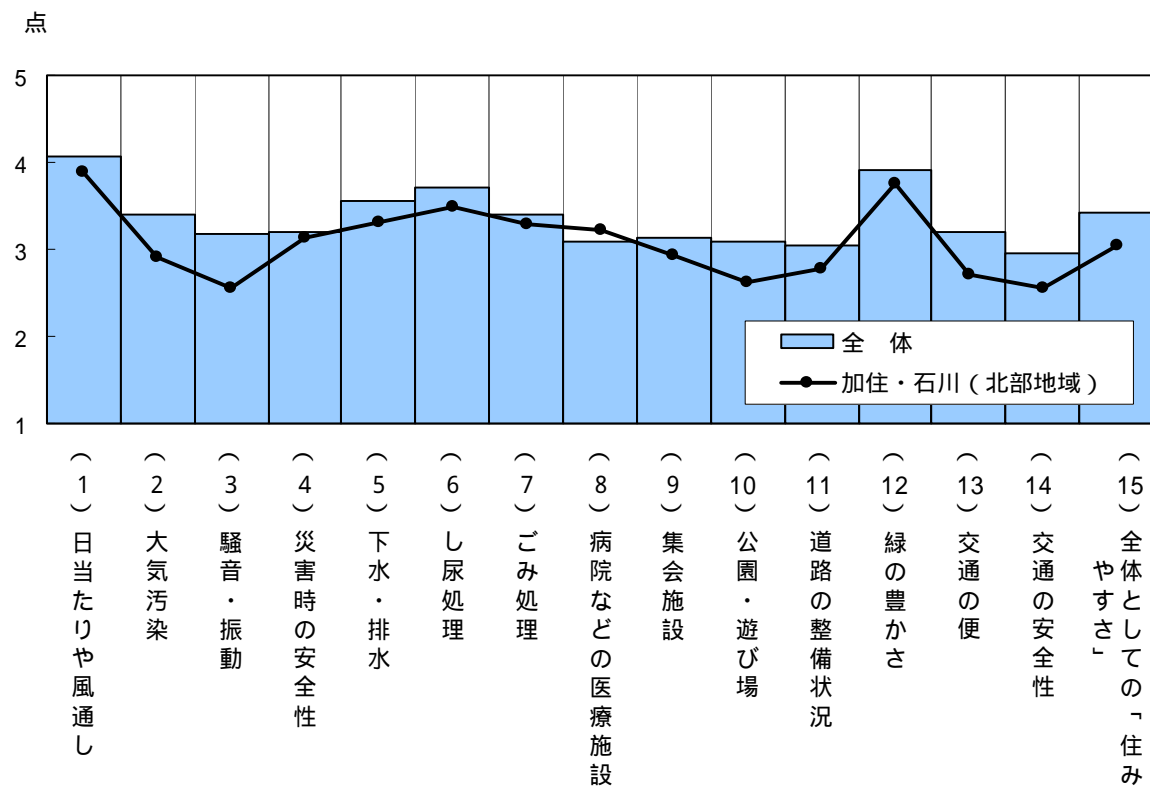
市全体と比べて、「大気汚染」(0.23ポイント差)と「騒音・振動」(0.29ポイント差)では評価点が市全体をかなり上回っており、特に「騒音・振動」は6地域中で最も評価が高くなっている。しかし、そのほか「日当たりや風通し」、「緑の豊かさ」を除いて評価点が市全体を下回る項目が多くみられ、「下水・排水」、「し尿処理」、「ごみ処理」、「病院などの医療施設」、「道路の整備状況」、「交通の便」、「交通の安全性」の7項目では、6地域中で最も評価が低くなっている。

《浅川・横山・館（西南部地域）》



15項目全項目において市全体の評価点を上回り、傾向としては市全体とよく似たグラフを描いている。この地域の住民は全体的に住みやすいと感じていることが分かる。

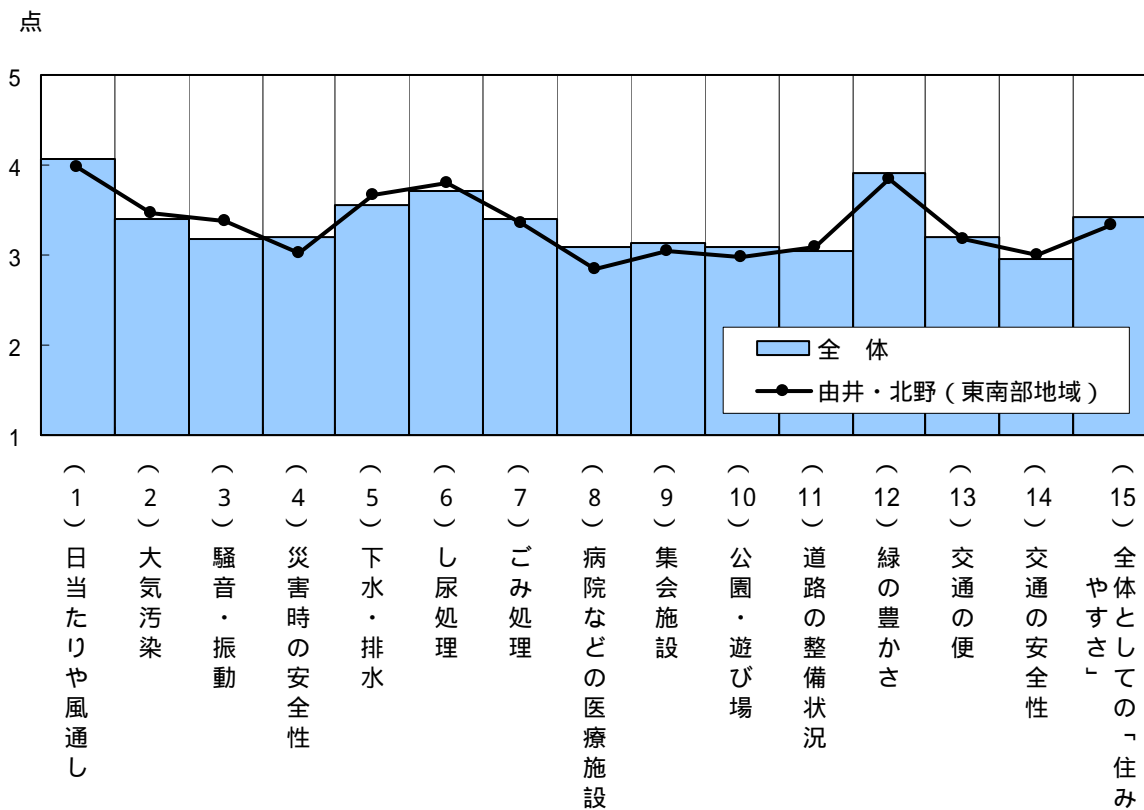
《加住・石川（北部地域）》



「病院などの医療施設」で0.13ポイント上回っているほかでは、15項目中14項目で市全体の評価点を下回っている。

なお「日当たりや風通し」、「大気汚染」、「騒音・振動」、「集会施設」、「公園・遊び場」、そして「全体としての『住みやすさ』」の6項目においては、6地域中で最も評価が低くなっている。

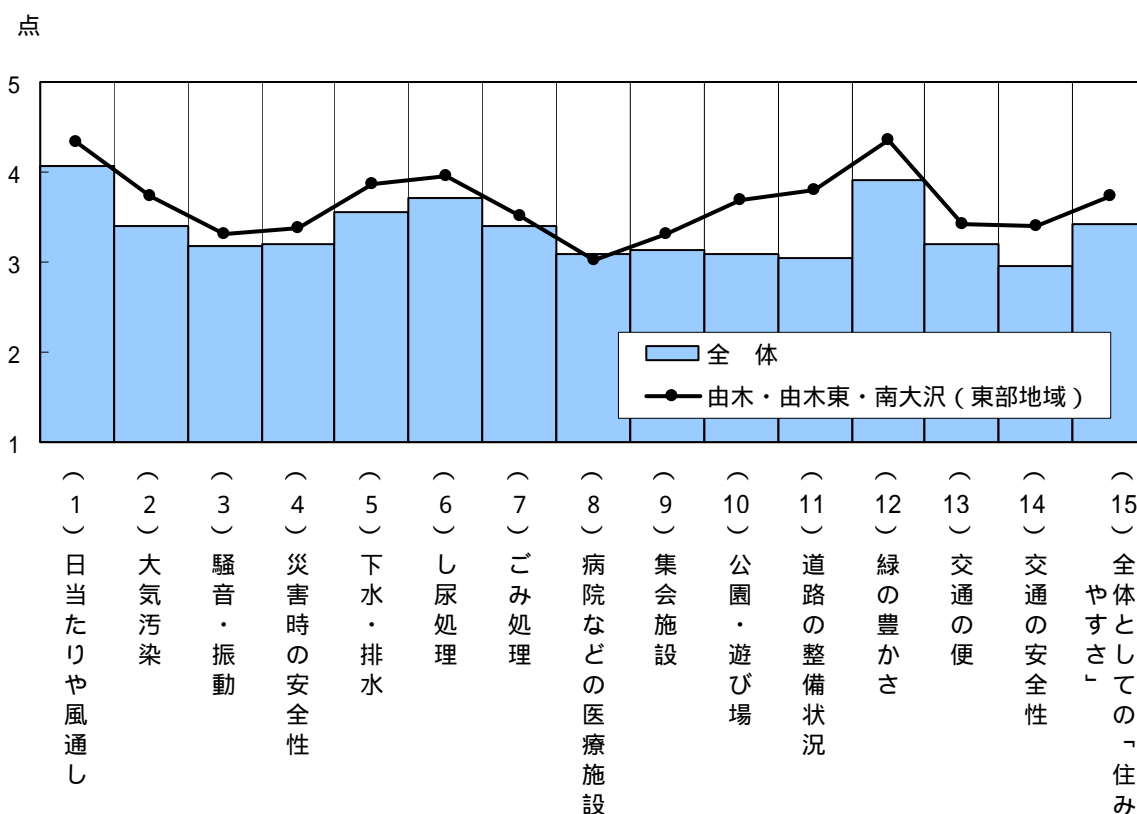
《由井・北野（東南部地域）》



市全体と似たような傾向のグラフを描いているが、6項目では市全体の評価点を上回り、逆に「全体としての『住みやすさ』」を含む9項目で市全体を下回っている。市全体の満足度と開きがある項目として、「騒音・振動」(0.20ポイント上)、「災害時の安全性」(0.18ポイント下)、「病院などの医療施設」(0.24ポイント下)などが挙げられる。

また、「災害時の安全性」については、6地域中で最も評価が低くなっている。

《由木・由木東・南大沢（東部地域）》



調査項目全 15 項目中、「病院などの医療施設」(0.07 ポイント下)を除く 14 項目で市全体の評価点を上回っており、また、「大気汚染」、「緑の豊かさ」、「道路の整備状況」、「公園・遊び場」などの 10 項目において 6 地域中で最も評価が高くなっている。6 地域中、最も満足度の高い地域だと考えられる。

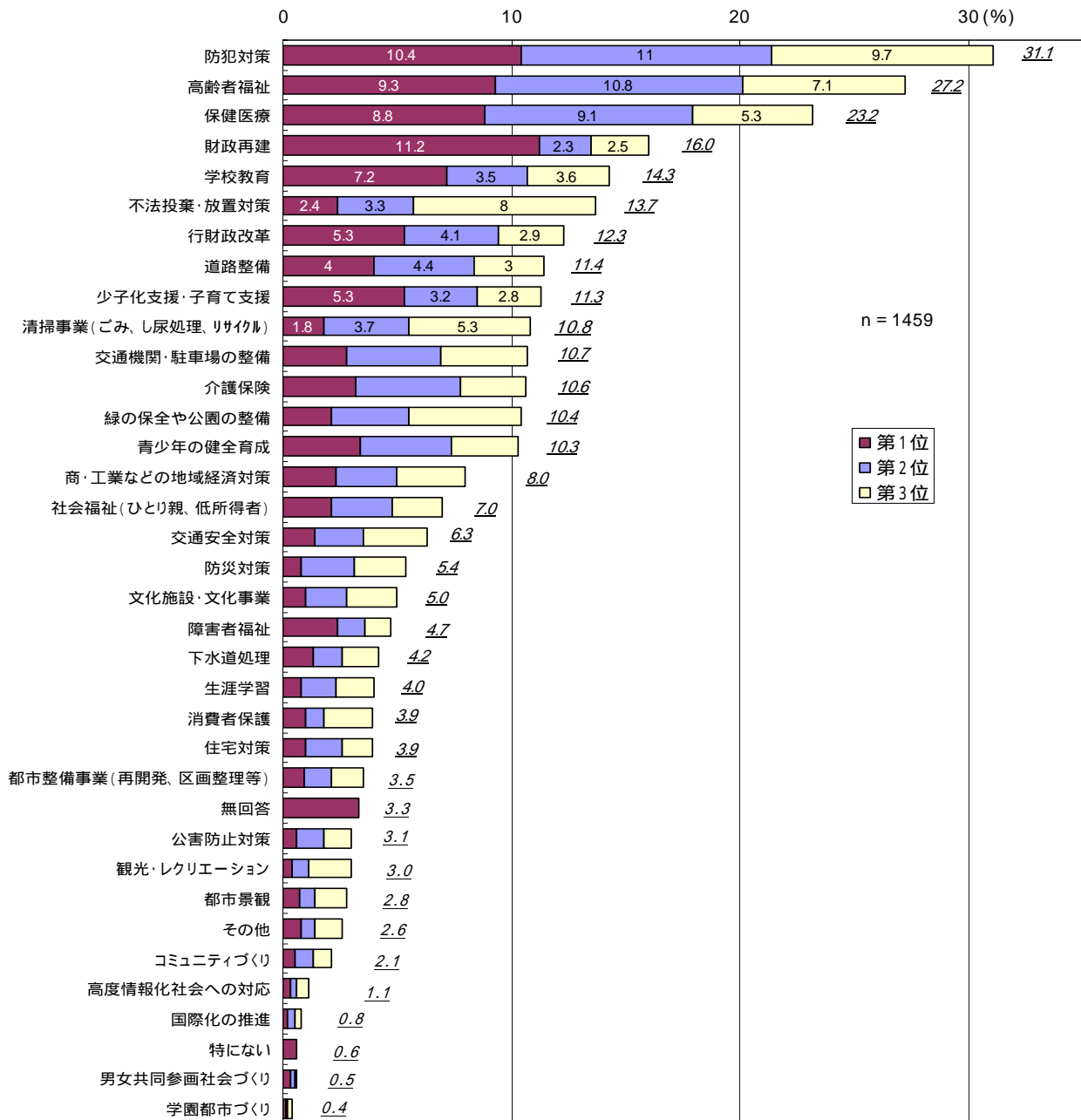
市全体の評価点を大きく上回る項目としては、「道路の整備状況」(0.75 ポイント差)、「公園・遊び場」(0.60 ポイント差)などが挙げられる。

### 3 市政への要望

#### (1) 重点施策要望

「防犯対策」、「高齢者福祉」、「保健医療」などがポイント

問3 市政全般において、あなたが特に力を入れてほしいと思う施策は何ですか。次の1～34の中から第1位、第2位、第3位と順位をつけて3つ選び、下の回答欄内に番号をご記入ください。  
(それぞれ1つずつ)



\*紙面の都合上、上位10項目のみ、第3位までの内訳を記載した。なお、グラフ中、斜字体の数字は「総合」ポイントを表している。



「第1位」単独で最も多いのは「財政再建」(11.2%)で、次いで「防犯対策」(10.4%)、「高齢者福祉」(9.3%)などが多くなっている。

「第2位」では、「防犯対策」(11.0%)、「高齢者福祉」(10.8%)、「保健医療」(9.1%)などが、「第3位」では「防犯対策」(9.7%)、「不法投棄・放置対策」(8.0%)、「高齢者福祉」(7.1%)などが、それぞれ多くなっている。

「第1位」から「第3位」までを合算した「総合」では、「防犯対策」(31.1ポイント)が最も高く、「高齢者福祉」(27.2ポイント)、「保健医療」(23.2ポイント)、「財政再建」(16.0ポイント)などが多く望まれていることが分かる。

【経年変化】

(単位：%)

年 順位	平成 14 年	平成 15 年	平成 16 年
第 1 位	高齢者福祉 34.7	高齢者福祉 30.6	防犯対策 31.1
第 2 位	保健医療 33.7	防犯対策 26.6	高齢者福祉 27.2
第 3 位	財政再建 20.2	保健医療 22.4	保健医療 23.2
第 4 位	介護保険 14.6	財政再建 18.5	財政再建 16.0
第 5 位	学校教育 14.4	行財政改革 16.2	学校教育 14.3
第 6 位	行財政改革 13.4	不法投棄・放置対策 15.1	不法投棄・放置対策 13.7
第 7 位	社会福祉 12.9	学校教育 11.8	行財政改革 12.3
第 8 位	不法投棄・放置対策 12.8	青少年の健全育成 /	道路整備 11.4
第 9 位	青少年の健全育成 11.7	介護保険 11.2	少子化対策・子育て 支援 11.3
第 10 位	道路整備 11.5	清掃事業 10.5	清掃事業 10.8

「防犯対策」は平成 15 年からの新規項目。

第1位から第3位までの割合の「総合」ポイントの経年変化をみると、今回は「防犯対策」が第1位になり「高齢者福祉」が第2位に下がって、前回とは第1位と第2位が入れ替わっている。第5位「学校教育」と第7位「行財政改革」についても入れ替わりがみられる。

また、第3位「保健医療」、第4位「財政再建」、第6位「不法投棄・放置対策」及び第10位「清掃事業」については、その順位を変えていないことが分かる。

「少子化対策・子育て支援」が新たに第9位に入ってきている。

## 【性別】

( % )

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	防犯対策 32.4	高齢者福祉 24.7	保健医療 21.7	財政再建 18.2	行財政改革 15.6
女性	防犯対策 30.4	高齢者福祉 29.2	保健医療 24.4	学校教育 15.7	不法投棄・放置対策 13.4

男女ともに第1位「防犯対策」から第3位「保健医療」までは共通しているが、第4、5位は、男性では「財政再建」、「行財政改革」であるのに対して女性では「学校教育」、「不法投棄・放置対策」が挙げられており、異なっている。

また、第1位「防犯対策」では男性のポイントが女性よりも高いのに対し、第2位「高齢者福祉」や第3位「保健医療」では、女性のポイントの方が高くなっている。

## 【性 / 年齢別】

( % )

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 20歳代	防犯対策 32.9	交通機関・ 駐車場の整備 24.1	道路整備 21.5	財政再建 20.3	緑の保全や 公園の整備 17.7
30歳代	防犯対策 43.7	学校教育 / 少子化対策・ 子育て支援 21.4	保健医療 19.4	交通機関・ 駐車場の整備 15.5	保健医療 19.4
40歳代	防犯対策 36.7	学校教育 22.4	保健医療 20.4	財政再建 18.4	清掃事業 17.3
50歳代	高齢者福祉 27.9	保健医療 27.1	防犯対策 24.0	不法投棄・ 放置対策 20.2	財政再建 18.6
60～64歳	高齢者福祉 38.2	行財政改革 28.9	防犯対策 27.6	財政再建 23.7	保健医療 21.1
65歳以上	高齢者福祉 40.9	防犯対策 30.9	保健医療 26.8	行財政改革 16.8	財政再建 16.1
女性 20歳代	防犯対策 32.3	少子化対策・ 子育て支援 26.0	交通機関・ 駐車場の整備 19.8	保健医療 17.7	道路整備 16.7
30歳代	防犯対策 34.3	少子化対策・ 子育て支援 33.1	学校教育 26.5	保健医療 19.3	清掃事業 17.5
40歳代	防犯対策 33.6	学校教育 30.4	保健医療 / 高齢者福祉 27.2	保健医療 19.3	財政再建 20.8
50歳代	高齢者福祉 34.6	防犯対策 31.5	保健医療 23.5	介護保険 19.1	行財政改革 16.7
60～64歳	高齢者福祉 37.6	保健医療 30.1	防犯対策 25.8	介護保険 22.6	財政再建 19.4
65歳以上	高齢者福祉 46.9	保健医療 28.3	防犯対策 22.8	介護保険 19.3	不法投棄・ 放置対策 17.2

男性・女性とも、最も多い項目は、20歳代、30歳代、40歳代では「防犯対策」、それ以上の年代では「高齢者福祉」となっており、各年代の関心事を反映した結果となっている。特に「高齢者福祉」では、男性・女性いずれにおいても年齢が上がるとともにポイントも上昇する傾向がみられる。また、「防犯対策」については男性・女性ともに30歳代でもっともポイントが高くなっている。なお、「保健医療」も、男性の20歳代を除くすべての年代で5位までに入っている。

また、女性では50歳代、60～64歳、65歳以上の年齢の層で、「介護保険」がいずれも第4位に入っている。30歳代、40歳代の層では男女いずれにおいても、「少子化対策・子育て支援」や「学校教育」など、その年齢層に特徴的な項目が上位に入っている。

#### 【居住地域別】

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
本庁管内 (中央地域)	防犯対策 30.2	高齢者福祉 25.7	保健医療 24.2	財政再建 16.6	学校教育 15.7
元八王子・ 恩方・川口 (西部地域)	道路整備 26.2	高齢者福祉 24.5	防犯対策 20.3	保健医療 18.6	不法投棄・ 放置対策 17.3
浅川・横山 ・館 (西南部地域)	高齢者福祉 32.3	防犯対策 27.8	保健医療 23.3	財政再建 20.5	学校教育 13.2
加住・石川 (北部地域)	防犯対策 32.7	高齢者福祉 22.7	不法投棄・ 放置対策 19.1	道路整備 18.2	保健医療/少子化 対策・子育て支援 14.5
由井・北野 (東南部地域)	防犯対策 38.4	高齢者福祉 31.9	保健医療 28.2	財政再建 19.4	学校教育 16.7
由木・由木東 ・南大沢 (東部地域)	防犯対策 40.9	保健医療 26.4	高齢者福祉 25.6	不法投棄・ 放置対策 19.0	学校教育 16.1

最も多く選ばれた項目は、本庁管内(中央地域)、加住・石川(北部地域)、由井・北野(東南部地域)、由木・由木東・南大沢(東部地域)の4地域においては「防犯対策」、元八王子・恩方・川口(西部地域)においては「道路整備」、浅川・横山・館(西南部地域)においては「高齢者福祉」である。「防犯対策」は、特に由木・由木東・南大沢(東部地域)においては4割強を占めており、また、由井・北野(東南部地域)でも4割近くに達していて、非常に関心が高い。

元八王子・恩方・川口(西部地域)と加住・石川(北部地域)では、「道路整備」が第1位と第4位にそれぞれ入っている。また、「高齢者福祉」は、すべての地域において第3位までに入っている。

## 第 2 章

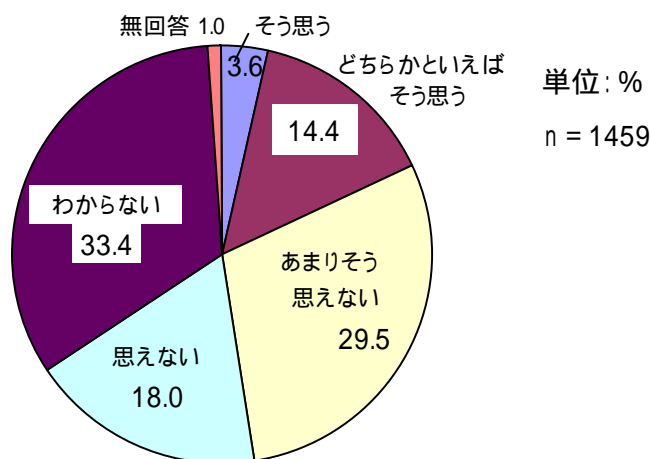
## 4 「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度

### (1) 市民協働の推進状況

施策 01 市民自治の推進：市民協働を進めているまちであると感じている市民の割合

**“そう思う”は少数で、“そう思えない”を下回っている**

問4 「協働」とは、市民の皆さんと行政が、それぞれの立場や能力を理解、尊重しつつ、対等なパートナーとして連携し、課題に取り組むことをいいます。あなたは、市が市民協働のまちを進めていると感じますか。( は1つだけ)



本市が市民協働を進めているまちであるかきいたところ、「そう思う」(3.6%)と「どちらかといえばそう思う」(14.4%)を合わせた割合(=“そう思う”)は18.0%と少数であった。他方、「あまりそう思えない」(29.5%)と「思えない」(18.0%)を合わせた割合(=“そう思えない”)は47.5%と、5割弱となっている。また、「わからない」との回答が3割を上回っている。

## ( 2 ) 現在の市政情報入手方法の満足度

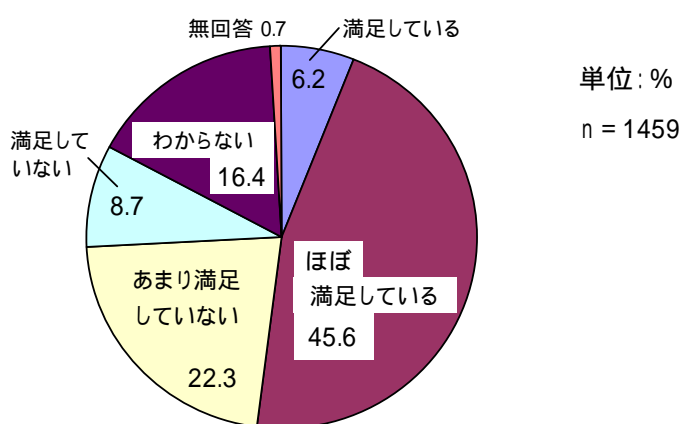
施策 04 説明責任の着実な実行：市政情報が容易に入手できると感じる市民の割合

**“満足している”が5割を超え、“満足していない”を大きく上回っている**

問5 市は、市政の情報を、積極的に配信・提供していますが、あなたは、現在の市政情報の入手方法に満足していますか。

市の情報は、広報はちおうじ、ホームページ、議会だより、町会・自治会の回覧物や掲示物、地域の新聞（ミニコミ紙）、市で作成したパンフレット・ポスター、新聞・テレビなどのマスメディア、八王子テレメディア、JR八王子駅前河川情報板などで配信・提供しています。

( は1つだけ )



現在の市政情報の入手方法に「満足している」(6.2%)は少数であるが、「ほぼ満足している」との答えは、45.6%と最も多くなっている。

「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた“満足している”の割合は51.8%と半数を超えている。また「あまり満足していない」(22.3%)、「満足していない」(8.7%)を合わせた“満足していない”の割合は31.0%となっている。

【性別】

\* 上段...人数(単位：人) 下段...構成比(単位：%)

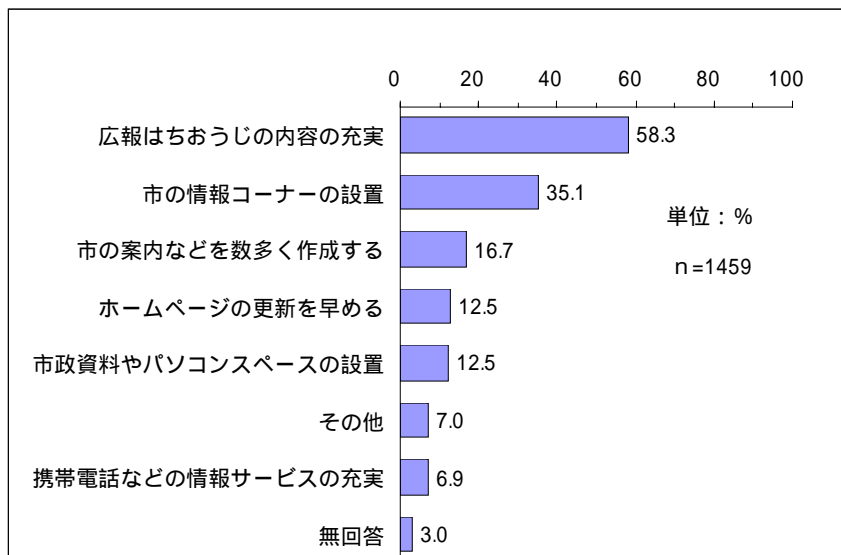
		全体	満足している	ほぼ満足している	あまり満足していない	満足していない	わからない	無回答
合計		1459	90	666	326	127	240	10
		100.0	6.2	45.6	22.3	8.7	16.4	0.7
F1 性別	男性	636	34	271	165	65	98	3
		100.0	5.3	42.6	25.9	10.2	15.4	0.5
性別	女性	790	52	382	154	61	136	5
		100.0	6.6	48.4	19.5	7.7	17.2	0.6

男性では不満足層の割合がやや高く、女性では反対に満足層の割合がやや高くなっている。

### ( 3 ) 市政情報入手の効果的な改善点

#### 「広報はちおうじの内容の充実」という意見が多い

問6 あなたは、市政の情報の入手にあたり、どのような点を改善するのが効果的だと思いますか。  
(○は2つまで)



市政情報の入手にあたっての効果的な改善点としては、「広報はちおうじの内容を充実させる」という回答が最も多く、6割近く(58.3%)に達している。

「市の情報コーナー(情報スペース)の設置」との答えが、3割台の半ば(35.1%)を占めそれに続いている。

#### 【性別】

\* 上段...人数(単位：人) 下段...構成比(単位：%)

		全体	広報はち おうじの 内容の充 実	市の案内 などを数 多く作成 する	ホーム ページの 更新を早 める	市政資料 やパソコ ンスペース の設置	携帯電話 などの情 報サービ スの充実	市の情報 コーナー の設置	その他	無回答
合計		1459 100.0	851 58.3	243 16.7	183 12.5	182 12.5	101 6.9	512 35.1	102 7.0	44 3.0
性別	F1 男性	636 100.0	383 60.2	92 14.5	112 17.6	74 11.6	46 7.2	200 31.4	49 7.7	15 2.4
	女性	790 100.0	449 56.8	145 18.4	67 8.5	105 13.3	53 6.7	301 38.1	53 6.7	26 3.3

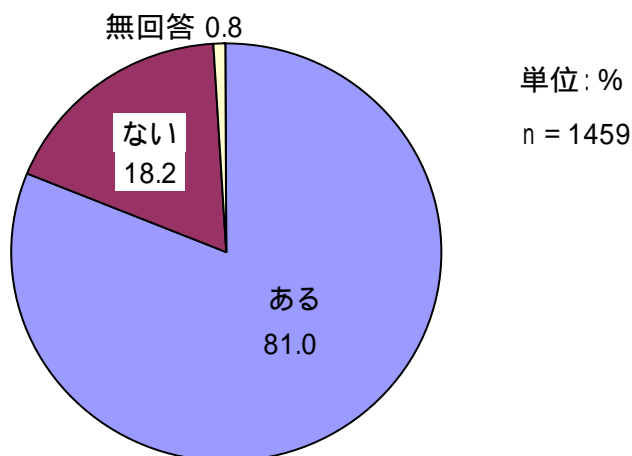
女性で「市の案内などを数多く作成する」、「市の情報コーナーの設置」との回答が男性より多く(それぞれ3.9、6.7ポイントの差) 逆に「ホームページの更新を早める」との回答は、女性より男性で約9ポイント多くなっている。

#### (4) 市の窓口の利用の有無

施策 05 市民サービスの向上：窓口サービスに満足している市民の割合

**「ある」人の方が圧倒的に多く、8割強を占める**

問7 あなたは、この1年間に市役所、事務所、図書館、体育館、保健センターなど、市の窓口を利用したことはありますか。( は1つだけ)



この1年間に市の窓口を利用したことが「ある」という答えが8割強を占めていて(81.0%)、「ない」(18.2%)を大きく上回っている。

【居住地域別】 \* 上段...人数(単位：人) 下段...構成比(単位：%)

		全体	ある	ない	無回答
合計		1459	1182	266	11
		100.0	81.0	18.2	0.8
居住地域	F9 本庁管内(中央地域)	331	277	52	2
		100.0	83.7	15.7	0.6
	元八王子・恩方・川口(西部地域)	237	187	47	3
		100.0	78.9	19.8	1.3
	浅川・横山・館(西南部地域)	288	217	69	2
		100.0	75.3	24.0	0.7
	加住・石川(北部地域)	110	91	18	1
	100.0	82.7	16.4	0.9	
	由井・北野(東南部地域)	216	176	39	1
	100.0	81.5	18.1	0.5	
	由木・由木東・南大沢(東部地域)	242	208	32	2
	100.0	86.0	13.2	0.8	

全地域で「ある」が7割超となっているが、特に由木・由木東・南大沢(東部地域)で割合が高く、86.0%に達している。

浅川・横山・館(西南部地域)では、「ある」の割合が反対に比較的低く、75.3%にとどまっている。

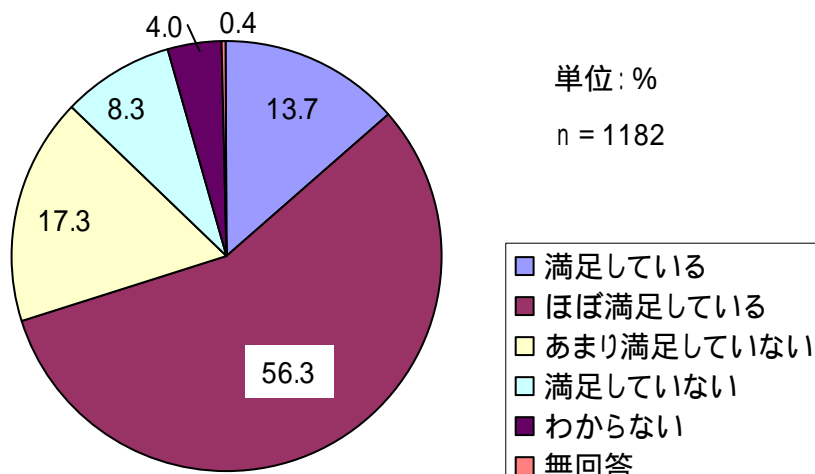


## (5) 市の窓口サービスの満足度

### 利用したことのある人の7割が“満足”

(問7で「1 ある」と答えた方に)

問7 - 1 あなたは、市の窓口サービスに満足していますか。( は1つだけ)



問7で「ある」と回答した人に窓口サービスの満足度合をきいた結果、「ほぼ満足している」との答えが56.3%と最も多く、「満足している」(13.7%)と「ほぼ満足している」の合計(=“満足”)は、ちょうど70.0%に達している。

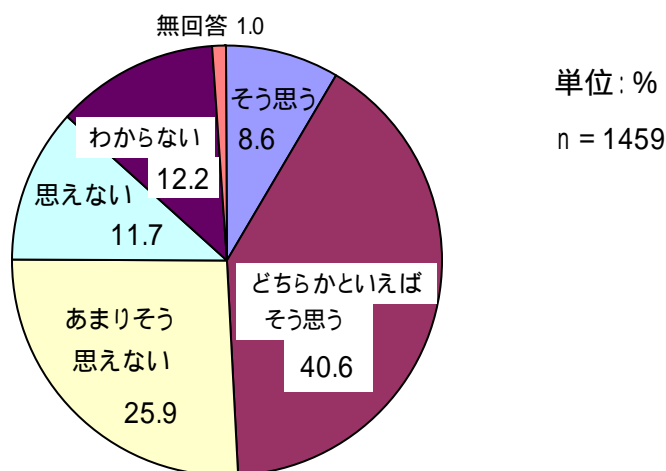
「あまり満足していない」(17.3%)と「満足していない」(8.3%)を合算した“満足していない”の割合は25.6%となっている。

## (6) 平和で安心して暮らせるまちであるか

施策 10 人とひととの支え合い：住みたいと思う市民の割合

**「そう思う」「どちらかといえば」が約5割と、やや多い**

問8 あなたのお住まいの地域は、だれもが互いに思いやりを持ち、人とひとが支え合う平和で安心して暮らせるまちであると思いますか。( は1つだけ)



「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計が49.2%と約5割を占めているが、「あまりそう思えない」、「思えない」の合計の割合も、37.6%と比較的接近している。

### 【居住地域別】

\* 上段...人数(単位：人) 下段...構成比(単位：%)

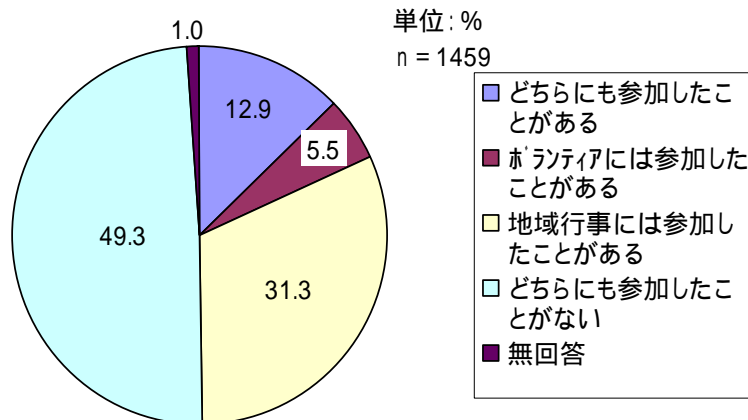
		全体	そう思う	どちらか といえば そう思う	あまりそ う思えな い	思えない	わからな い	無回答
合計		1459	125	593	378	170	178	15
		100.0	8.6	40.6	25.9	11.7	12.2	1.0
居住 地域	F9 本庁管内(中央地 域)	331	35	132	91	39	32	2
		100.0	10.6	39.9	27.5	11.8	9.7	0.6
	元八王子・恩方・ 川口(西部地域)	237	17	93	67	29	25	6
		100.0	7.2	39.2	28.3	12.2	10.5	2.5
	浅川・横山・館 (西南部地域)	288	26	114	72	37	38	1
		100.0	9.0	39.6	25.0	12.8	13.2	0.3
	加住・石川(北部 地域)	110	11	48	30	11	9	1
	100.0	10.0	43.6	27.3	10.0	8.2	0.9	
由井・北野(東南 部地域)	216	17	99	49	19	30	2	
	100.0	7.9	45.8	22.7	8.8	13.9	0.9	
由木・由木東・南 大沢(東部地域)	242	17	96	58	32	37	2	
	100.0	7.0	39.7	24.0	13.2	15.3	0.8	

由井・北野(東南部地域)及び加住・石川(北部地域)で「どちらかといえばそう思う」が全体平均を数ポイント上回っているが、居住地域による大きな違いは見られない。

## (7) この1年間の地域行事等への参加

施策 11 地域での支え合い：地域の中でボランティア活動や行事に参加したことがある市民の割合  
**約5割の人が、地域行事などに参加している**

問9 あなたは、この1年間に公園清掃などのボランティア活動や盆踊りなど地域行事に参加したことがありますか。(は1つだけ)



「どちらにも参加したことがない」という回答が最も多く、半数弱を占めている。

どちらか一方に参加したことがあるという人では、「地域行事」には参加したことがあるという人が31.3%、「ボランティア」には参加したことがあるという人が5.5%で、「どちらにも参加したことがある」(12.9%)を合算すると49.7%となり、約5割の人が地域行事などに参加していることが分かる。

### 【居住年数別】

\* 上段...人数(単位：人) 下段...構成比(単位：%)

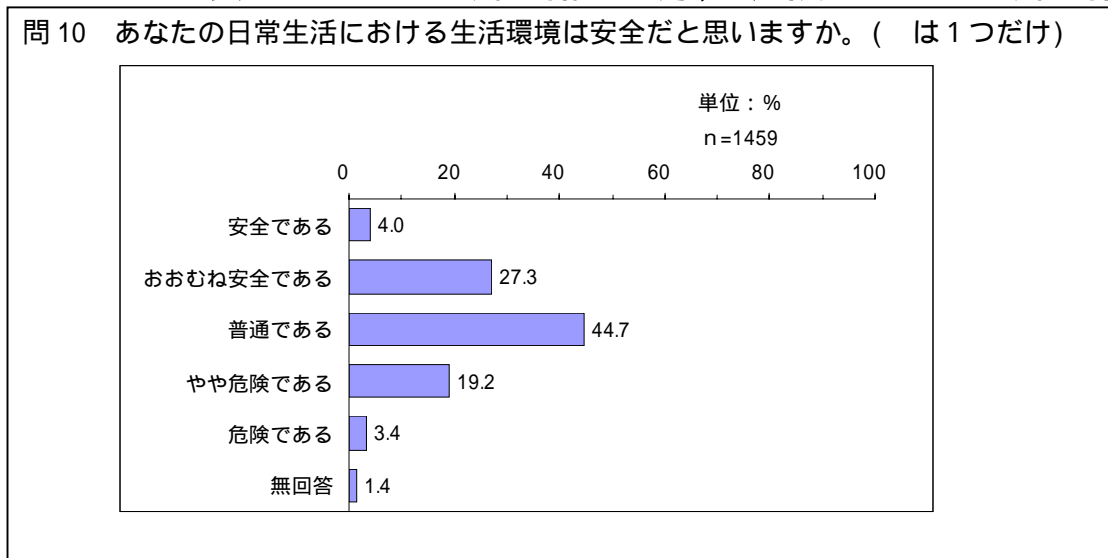
		全体	どちらにも参加したことがある	ボランティアには参加したことがある	地域行事には参加したことがある	どちらにも参加したことがない	無回答
合計		1459 100.0	188 12.9	80 5.5	457 31.3	719 49.3	15 1.0
F6 居住年数	1年未満	54 100.0	2 3.7	2 3.7	4 7.4	46 85.2	0 0.0
	1～3年未満	63 100.0	3 4.8	3 4.8	12 19.0	45 71.4	0 0.0
	3～10年未満	216 100.0	22 10.2	13 6.0	63 29.2	117 54.2	1 0.5
	10～20年未満	228 100.0	25 11.0	14 6.1	80 35.1	107 46.9	2 0.9
	20年以上	568 100.0	84 14.8	40 7.0	179 31.5	258 45.4	7 1.2
	生まれてからずっと	305 100.0	46 15.1	8 2.6	107 35.1	139 45.6	5 1.6

「どちらにも参加したことがある」は居住年数が長くなるほど漸増する傾向にあり、20年以上と生まれてからずっとの人では15%前後に達する。他方、居住年数が10年未満の人では「どちらにも参加したことがない」の割合が大きく、居住年数が短いほど参加率が低くなっている。

## (8) 日常生活環境の安全度

施策 11 地域での支え合い：市民が感じる地域生活環境の安全度

**“安全である”が約3割 一方、“危険である”は約2割**



日常生活における生活環境の安全性について、「普通」(44.7%)とした答えが最も多くなっている。

また「安全である」、「おおむね安全である」とする回答の合計(=「安全である」)は31.3%であるのに対して、「やや危険である」、「危険である」の回答の合計(=「危険である」)の割合は22.6%となっている。

### 【居住地域別】

\* 上段...人数(単位：人) 下段...構成比(単位：%)

		全体	安全である	おおむね安全である	普通である	やや危険である	危険である	無回答
合計		1459 100.0	59 4.0	398 27.3	652 44.7	280 19.2	50 3.4	20 1.4
居住地域	本庁管内(中央地域)	331 100.0	16 4.8	106 32.0	134 40.5	64 19.3	8 2.4	3 0.9
	元八王子・恩方・川口(西部地域)	237 100.0	7 3.0	65 27.4	116 48.9	39 16.5	5 2.1	5 2.1
	浅川・横山・館(西南部地域)	288 100.0	14 4.9	77 26.7	131 45.5	54 18.8	10 3.5	2 0.7
	加住・石川(北部地域)	110 100.0	2 1.8	26 23.6	53 48.2	24 21.8	4 3.6	1 0.9
	由井・北野(東南部地域)	216 100.0	5 2.3	52 24.1	97 44.9	40 18.5	17 7.9	5 2.3
	由木・由木東・南大沢(東部地域)	242 100.0	14 5.8	70 28.9	100 41.3	49 20.2	6 2.5	3 1.2

“安全である”の割合は、全体平均と比較して、本庁管内(中央地域)と由木・由木東・南大沢(東部地域)で少し高くなっている。一方、加住・石川(北部地域)と由井・北野(東南部地域)でやや低くなっている。

## ( 9 ) 市の相談窓口の利用の有無

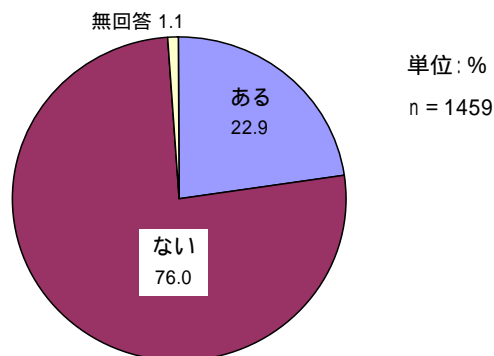
施策 12 暮らしの相談・支援：相談の機会が充実していると感じる市民の割合

**「ある」は2割強にとどまり、「ない」が7割台半ばと多数**

問 11 市では、様々な相談を行っています。あなたは、市の相談窓口を利用したことがありますか。

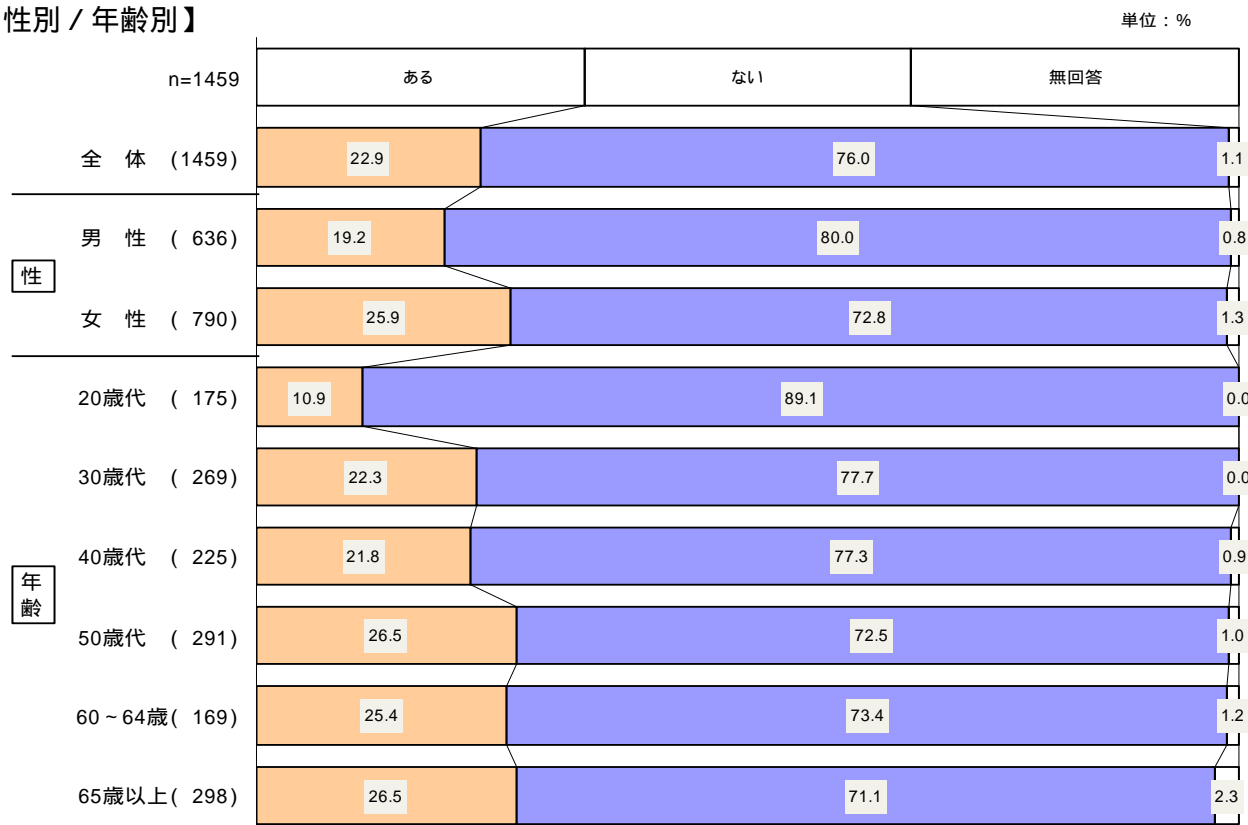
市で行っている相談は、健康・栄養・歯、母子・福祉、女性のための相談、法律、不動産、登記、税金、相続・遺言等暮らしの手続、年金・雇用保険・労働条件相談、行政、外国人生活相談、人権、交通事故、消費者、子育て、心の相談、総合教育相談、こども電話相談などです。

( は1つだけ)



利用したことが「ある」(22.9%)は2割を超えるにとどまり、4人に3人の人が「ない」と答えている。

### 【性別 / 年齢別】



男性より女性の方が相談窓口をよく利用している。

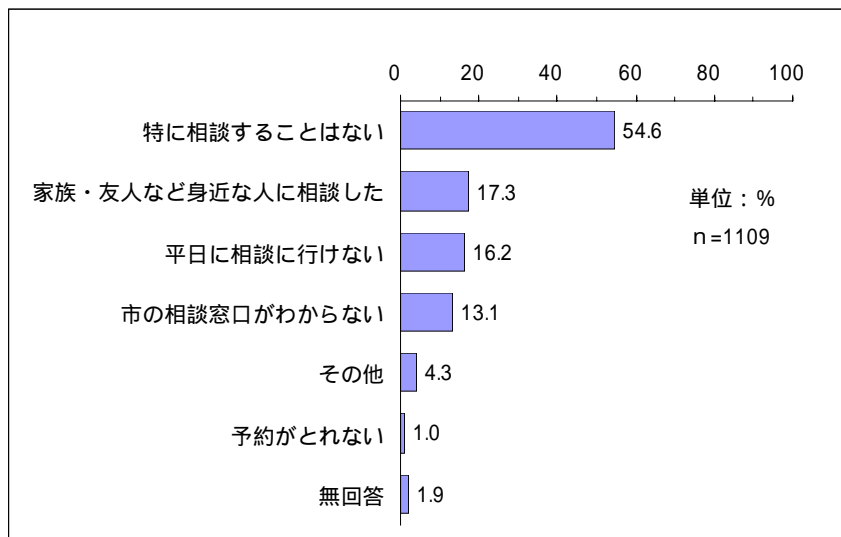
また年齢別では、20歳代の人の利用度が低くなっており、「ない」が約9割を占めている。

## (10) 相談窓口を利用しない理由

### 「特に相談することはない」が半数強で突出

(問11で「2 ない」と答えた方に)

問11-1 市の相談窓口を利用しないのはなぜですか。(○は2つまで)



問11で「ない」と答えた人に理由をきいたところ、「特に相談することはない」から(54.6%)が半数強を占めている。

第2、3位は「身近な人に相談した」から(17.3%)、「平日に相談に行けない」から(16.2%)という理由となっている。

#### 【性別】

\* 上段...人数(単位：人) 下段...構成比(単位：%)

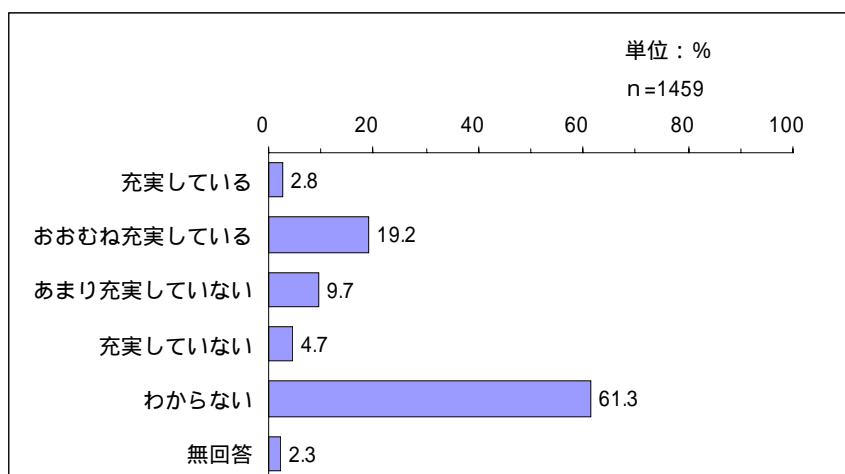
		全体	予約がとれない	平日に相談に行けない	家族・友人など身近な人に相談した	市の相談窓口がわからない	特に相談することはない	その他	無回答
合計		1109 100.0	11 1.0	180 16.2	192 17.3	145 13.1	605 54.6	48 4.3	21 1.9
性別	男性	509 100.0	7 1.4	106 20.8	60 11.8	69 13.6	286 56.2	22 4.3	4 0.8
	女性	575 100.0	4 0.7	69 12.0	128 22.3	74 12.9	307 53.4	26 4.5	15 2.6

男性で「平日に相談に行けない」から、女性では「身近な人に相談した」から、という回答の割合が大きくなっている。

## (11) 市の相談窓口の充実度

“充実している”が2割強 “充実していない”は1割台半ば近く

問 12 あなたは、市の相談窓口が充実していると思いますか。( は1つだけ)



「わからない」との回答がいちばん多く6割強を占め、市の相談窓口をそもそも利用したことのない人が多い事が見てとれる。

「充実している」(2.8%)との回答は少数にとどまるが、「おおむね充実している」(19.2%)を合算すると、“充実している”(22.0%)で2割を超える結果となる。他方、「あまり充実していない」(9.7%)・「充実していない」(4.7%)を合算した“充実していない”は14.4%と、1割台となっている。

利用したことがある人の中では、「充実している」と感じている人が多いことが分かる。

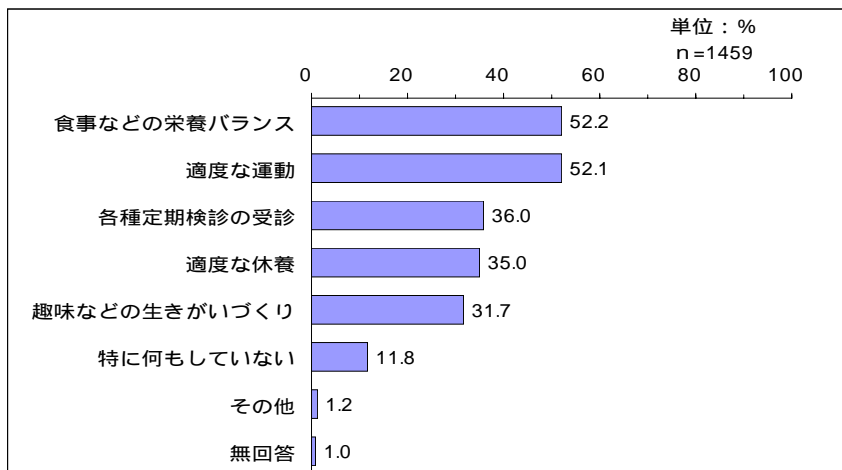
## (12) 健康のため心がけていること

施策 17 健康の維持・増進：健康維持・増進を心がけている市民の割合

### 「食事などの栄養バランス」と「適度な運動」が5割超

問 13 あなたが健康の維持・増進のために、自ら心がけて行動していることはどれですか。

(○はいくつでも)



自ら心がけて行動することは、「食事などの栄養バランス」(52.2%)、「適度な運動」(52.1%)とする回答が5割を超えていて多い。「特に何もしていない」という人は11.8%となっている。

【性別／年齢別】

\* 上段...人数(単位：人) 下段...構成比(単位：%)

		全体	適度な運動	適度な休養	食事などの栄養バランス	各種定期検診の受診	趣味などの生きがいづくり	その他	特に何もしていない	無回答
合計		1459	760	510	761	525	462	18	172	15
		100.0	52.1	35.0	52.2	36.0	31.7	1.2	11.8	1.0
性別	男性	636	349	217	282	210	191	11	84	4
		100.0	54.9	34.1	44.3	33.0	30.0	1.7	13.2	0.6
性別	女性	790	397	285	462	306	263	7	82	10
		100.0	50.3	36.1	58.5	38.7	33.3	0.9	10.4	1.3
年齢	20歳代	175	73	82	88	14	56	2	31	1
		100.0	41.7	46.9	50.3	8.0	32.0	1.1	17.7	0.6
	30歳代	269	122	109	129	61	72	6	47	1
		100.0	45.4	40.5	48.0	22.7	26.8	2.2	17.5	0.4
	40歳代	225	104	66	102	90	56	3	33	1
		100.0	46.2	29.3	45.3	40.0	24.9	1.3	14.7	0.4
	50歳代	291	146	101	152	113	102	1	27	4
	100.0	50.2	34.7	52.2	38.8	35.1	0.3	9.3	1.4	
60～64歳	169	109	51	101	79	53	1	11	2	
	100.0	64.5	30.2	59.8	46.7	31.4	0.6	6.5	1.2	
65歳以上	298	192	91	168	157	112	5	19	5	
	100.0	64.4	30.5	56.4	52.7	37.6	1.7	6.4	1.7	

性別では、「食事などの栄養バランス」については女性の方が男性より15ポイント近く高く、「適度な運動」では、反対に男性のポイントの方が5ポイント近く女性より高くなっている。

また、年齢が高くなるにつれて「適度な運動」のポイントが上がっていている。



## (13) かかりつけの医療機関の有無

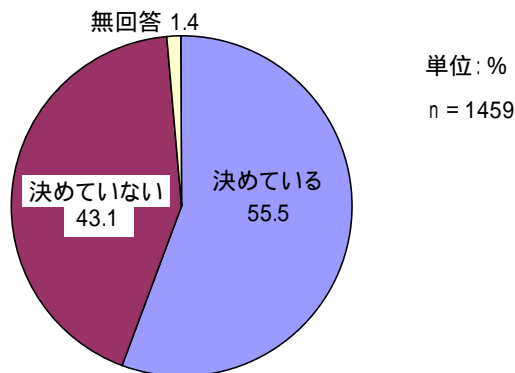
施策 18 医療体制づくり：かかりつけ医を決めている市民の割合

**「決めている」が55.5%で多く、「決めていない」を上回る**

問 14 あなたは、かかりつけの医療機関を決めていますか。

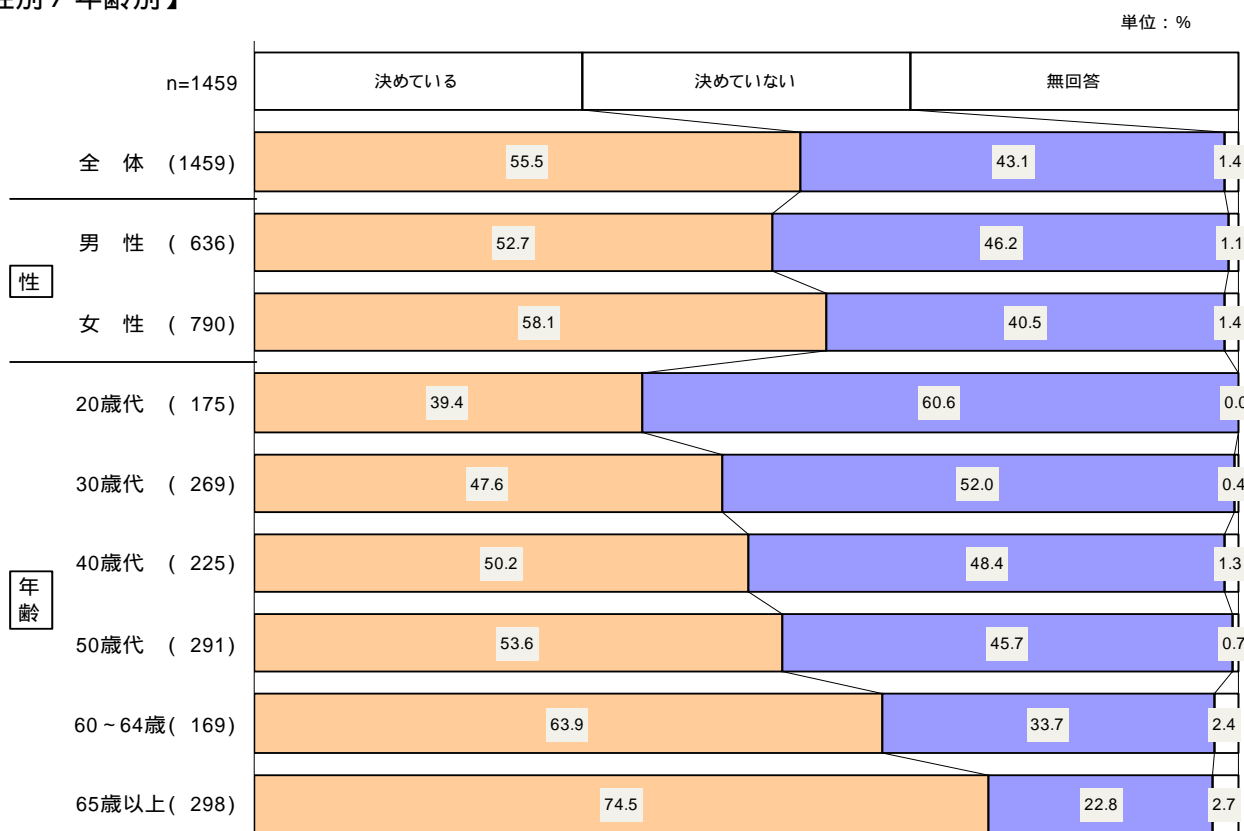
かかりつけ医とは、自分の体の状態を把握している身近な医者のごことで、普段の健康管理、病気の初期治療のほか、大病院での検査・治療を必要とするかどうかの判断、紹介などが期待されます。

( は1つだけ)



かかりつけの医療機関を「決めている」という人が55.5%と半数を超え、「決めていない」という人(43.1%)を10%程度上回っている。

### 【性別 / 年齢別】



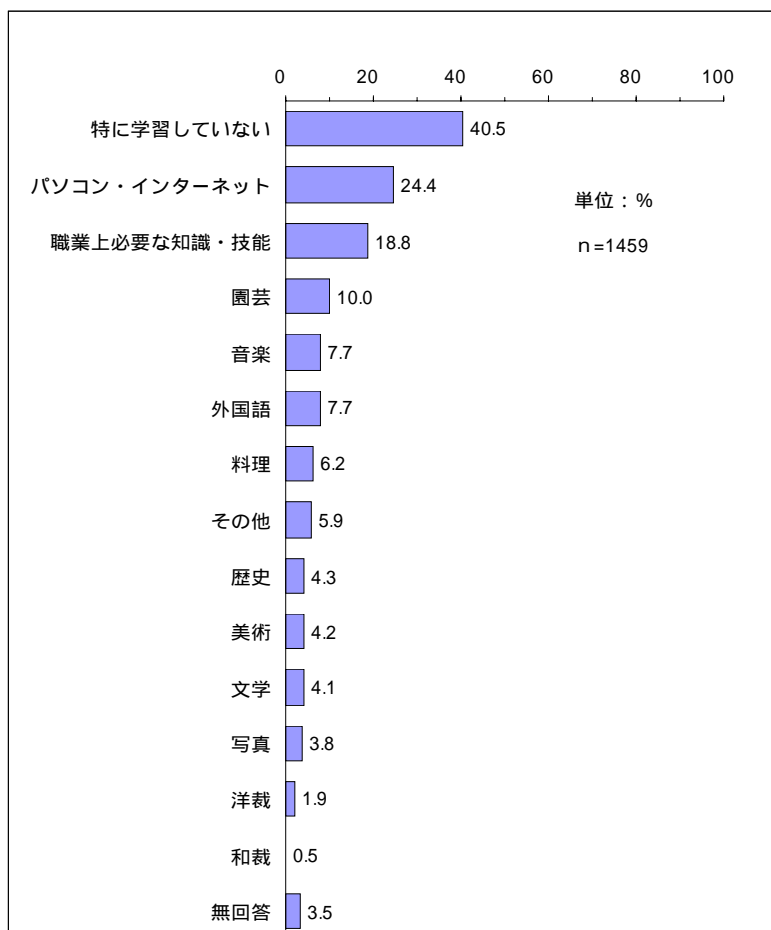
性別では、全体結果と比べ、男性は「決めていない」という人が、女性では「決めている」という人が多い。また、年齢別では、年齢が上がるにつれて「決めている」の割合が増加し、「決めていない」の割合は反対に減少していく傾向が見られる。

## (14) この1年間に取り組んだ学習活動

施策 22 生涯学習の推進：生涯学習活動をしている市民の割合

「パソコン・インターネット」がほぼ4人に1人で最も高いが、多くは「特に学習していない」

問 15 あなたがこの1年間に取り組んだ学習活動はどれですか。(○はいくつでも)



「特に学習していない」とした人が4割強(40.5%)で、いちばん多いが、取り組んだ学習活動としては、「パソコン・インターネット」(24.4%) 続いて「職業上必要な知識・技能」(18.8%)、「園芸」(10.0%)などが多く挙げられている。

### 【性別】

\* 上段...人数(単位：人) 下段...構成比(単位：%)

	全体	パソコン・インターネット	音楽	美術	写真	外国語	文学	歴史	料理	洋裁	和裁	園芸	職業上必要な知識・技能	その他	特に学習していない	無回答
合計	1459	356	113	61	56	113	60	63	90	28	7	146	274	86	591	51
	100.0	24.4	7.7	4.2	3.8	7.7	4.1	4.3	6.2	1.9	0.5	10.0	18.8	5.9	40.5	3.5
男性	636	192	44	20	39	49	31	40	19	0	0	53	158	25	241	15
	100.0	30.2	6.9	3.1	6.1	7.7	4.9	6.3	3.0	0.0	0.0	8.3	24.8	3.9	37.9	2.4
女性	790	159	68	39	15	62	28	22	69	27	6	85	109	59	338	36
	100.0	20.1	8.6	4.9	1.9	7.8	3.5	2.8	8.7	3.4	0.8	10.8	13.8	7.5	42.8	4.6

「パソコン・インターネット」及び「職業上必要な知識・技能」では、男性のポイントが女性より、それぞれ10.1、11.0ポイント上回っている。また、「料理」、「音楽」などでは女性の割合が男性より、それぞれ5.7、1.7ポイント上回っている。

## (15) この1年間に行ったスポーツの頻度

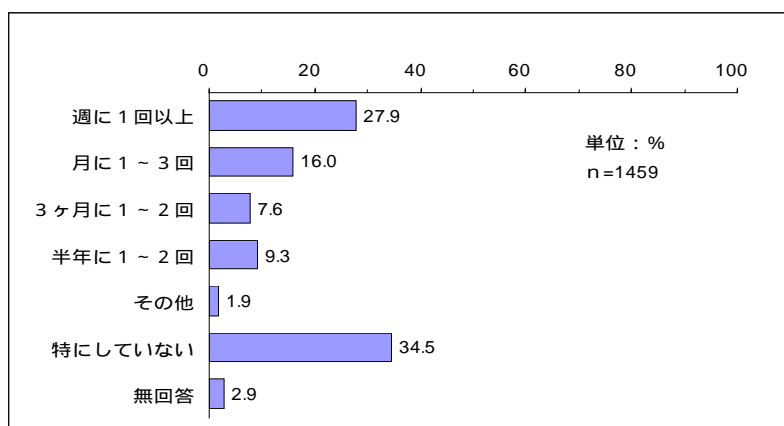
施策 23 生涯スポーツの推進：週1回以上スポーツをする成人の割合

### 「週に1回以上」が2割台半ばを超える

問 16 あなたがこの1年間にスポーツを行った回数はどのくらいですか。

スポーツの種類は、水泳、ジョギング、マラソン、テニス、スカッシュ、体操（ラジオ体操、健康体操など）、ハイキング、登山、ゴルフ、サイクリング、ウォーキング、サーフィン、ダイビング、スキー・スノーボード、トレーニング（器具を使うもの）、ストレッチ、なわとび、釣り、卓球、野球・ソフトボール、サッカー、バスケットボール、バレーボール、エアロビクス、バドミントン、武道（柔道、剣道、空手道、少林寺拳法など）、ダンス（社交ダンス、フォークダンスなど）、ラグビーなどです。

（は1つだけ）



「特にしていない」(34.5%)という人が最も多くなっているが、この1年間にスポーツを行った人の中では「週に1回以上」(27.9%)が最も多く、「月に1～3回」(16.0%)が続いている。

### 【性別】

\* 上段...人数（単位：人） 下段...構成比（単位：%）

		全体	週に1回以上	月に1～3回	3ヶ月に1～2回	半年に1～2回	その他	特にしていない	無回答
合計		1459	407	233	111	135	27	503	43
		100.0	27.9	16.0	7.6	9.3	1.9	34.5	2.9
性別	男性	636	182	114	58	65	14	188	15
	女性	790	216	112	51	69	13	304	25
		100.0	27.3	14.2	6.5	8.7	1.6	38.5	3.2

この1年間にスポーツを行った人の割合は男性 65.8%、女性 56.7%で、男性が 9.1 ポイント上回っている。「特にしていない」の割合では、女性が男性よりも 8.9 ポイント上回っている。

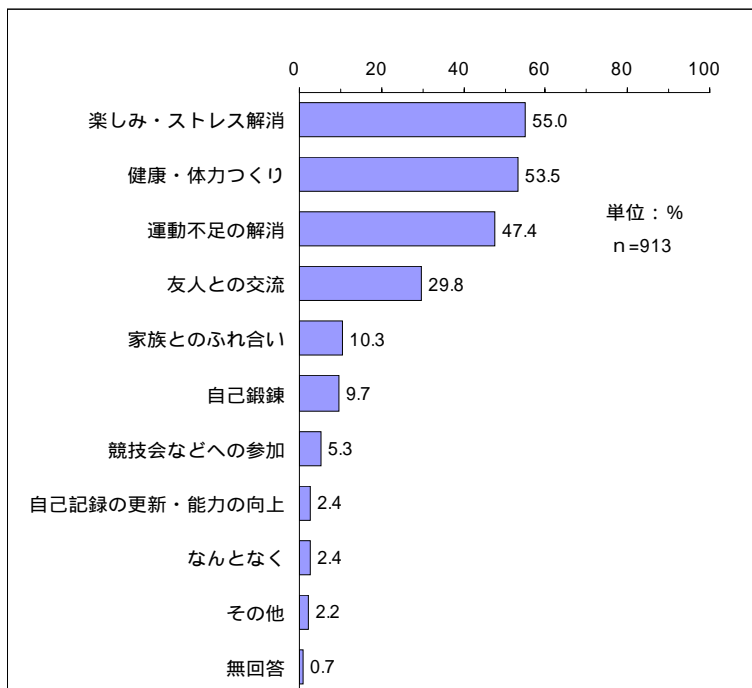
## (16) スポーツをした理由

### 「楽しみ・ストレス解消」と「健康・体力づくり」が半数を超える

(問16で「1」から「5」とお答えの方に)

問16-1 あなたがこの1年間にスポーツをしたのはどのような理由ですか。

(○は3つまで)



スポーツをした理由では、「楽しみ・ストレス解消」という回答が最も多く(55.0%)、「健康・体力づくり」(53.5%)と「運動不足の解消」(47.4%)が半数前後となっている。

#### 【年齢別】

\* 上段...人数(単位：人) 下段...構成比(単位：%)

	全体	健康・体力づくり	楽しみ・ストレス解消	運動不足の解消	友人との交流	家族とのふれ合い	自己鍛錬	自己記録の更新・能力の向上	競技会などへの参加	なんとなく	その他	無回答
合計	913 100.0	488 53.5	502 55.0	433 47.4	272 29.8	94 10.3	89 9.7	22 2.4	48 5.3	22 2.4	20 2.2	6 0.7
20歳代	122 100.0	42 34.4	77 63.1	48 39.3	51 41.8	9 7.4	17 13.9	8 6.6	13 10.7	3 2.5	5 4.1	0 0.0
30歳代	184 100.0	80 43.5	107 58.2	91 49.5	47 25.5	29 15.8	16 8.7	1 0.5	11 6.0	5 2.7	7 3.8	2 1.1
40歳代	144 100.0	74 51.4	78 54.2	62 43.1	37 25.7	31 21.5	8 5.6	1 0.7	3 2.1	4 2.8	4 2.8	0 0.0
50歳代	166 100.0	92 55.4	101 60.8	72 43.4	49 29.5	14 8.4	15 9.0	5 3.0	6 3.6	4 2.4	0 0.0	2 1.2
60~64歳	113 100.0	76 67.3	55 48.7	60 53.1	33 29.2	5 4.4	14 12.4	3 2.7	8 7.1	2 1.8	1 0.9	0 0.0
65歳以上	165 100.0	111 67.3	74 44.8	90 54.5	51 30.9	4 2.4	15 9.1	3 1.8	4 2.4	4 2.4	1 0.6	2 1.2

年齢が上昇するほど、「健康・体力づくり」と「運動不足の解消」のポイントが高くなる傾向が見てとれる。

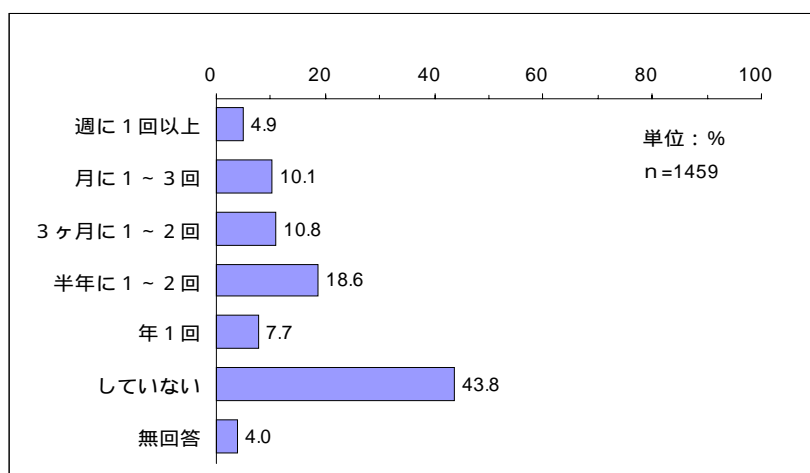
## (17) この1年間の芸術・文化活動の頻度

施策 24 市民文化活動：定期的に文化活動に参加している市民の割合

**「していない」という人が4割強で最も多い 参加した人では「半年に1～2回」が最も多い**

問 17 あなたは、この1年間にどのくらいの頻度で芸術・文化活動に参加しましたか。(鑑(観)賞も含まれます)( は1つだけ)

芸術・文化活動の分野は、文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊、映画、漫画、アニメーション・メディア芸術、伝統芸能(歌舞伎、落語など)、茶道、華道、書道、囲碁、将棋、歴史・文化財などです。



この1年間の芸術・文化活動については、「していない」という人が4割強と、最も多くなっている。2番目に多いのは「半年に1～2回」(18.6%)とした回答で、以下「3ヶ月に1～2回」、「月に1～3回」と続いている。

### 【性別】

\* 上段...人数(単位：人) 下段...構成比(単位：%)

		全体	週に1回以上	月に1～3回	3ヶ月に1～2回	半年に1～2回	年1回	していない	無回答
合計		1459	72	147	157	272	113	639	59
		100.0	4.9	10.1	10.8	18.6	7.7	43.8	4.0
性別	男性	636	26	50	62	106	47	323	22
		100.0	4.1	7.9	9.7	16.7	7.4	50.8	3.5
性別	女性	790	43	96	90	162	66	300	33
		100.0	5.4	12.2	11.4	20.5	8.4	38.0	4.2

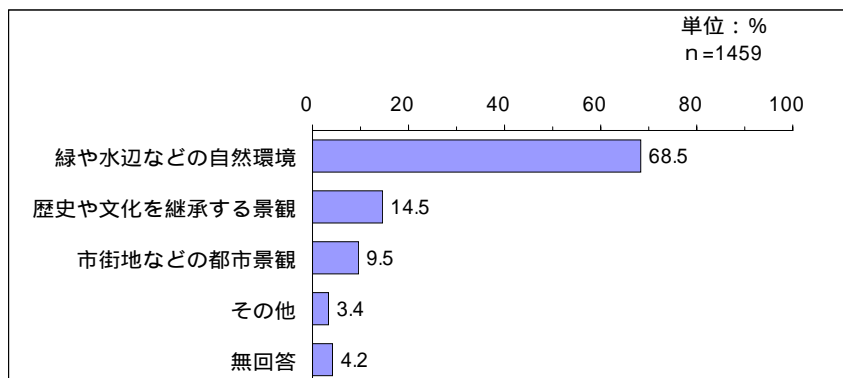
男性では「していない」が過半数に達し、女性を12.8ポイントも上回っている。それ以外の選択肢では、すべて女性のポイントが男性を上回っている。

## (18) 魅力的だと感じる景観

施策 27 計画的なまちづくり：八王子の景観への市民評価度

### 「緑や水辺などの自然環境(景観)」が7割弱で圧倒的に多い

問 18 あなたは、様々なまちの景観のうち、魅力的だと感じる景観はどのような景観ですか。( は1つだけ)

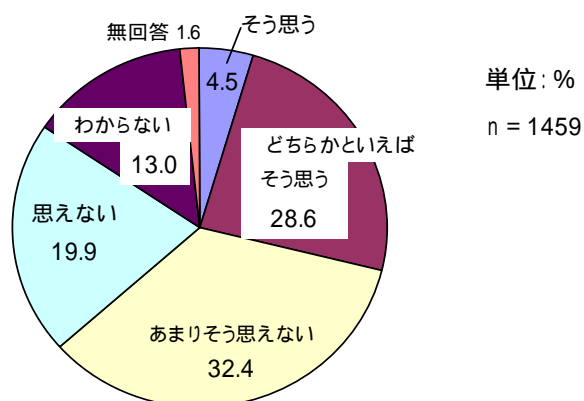


魅力的だと感じる景観として「緑や水辺などの自然環境」を挙げる回答が最も多く、7割近くに達している。次いで「歴史や文化を継承する景観」(14.5%)となっている。

## (19) 市は景観に配慮されたまちであるか

### “そう思えない”が過半数に達し、“そう思う”を上回っている

問 19 あなたは、市が景観に配慮されたまちであると思いますか。( は1つだけ)



市が景観に配慮されたまちであるか聞いたところ、「あまりそう思えない」・「思えない」の合計割合(52.3%)(= “そう思えない”)が、「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」の合計割合(33.1%)(= “そう思う”)を約20ポイント上回っている。

【居住地域別】

\* 上段...人数(単位:人) 下段...構成比(単位:%)

		全体	そう思う	どちらか といえば そう思う	あまりそ う思えな い	思えない	わからな い	無回答
合計		1459 100.0	65 4.5	418 28.6	473 32.4	291 19.9	189 13.0	23 1.6
F9 居住地域	本庁管内(中央地 域)	331 100.0	13 3.9	89 26.9	111 33.5	82 24.8	29 8.8	7 2.1
	元八王子・恩方・ 川口(西部地域)	237 100.0	6 2.5	54 22.8	83 35.0	53 22.4	36 15.2	5 2.1
	浅川・横山・館 (西南部地域)	288 100.0	12 4.2	90 31.3	88 30.6	53 18.4	42 14.6	3 1.0
	加住・石川(北部 地域)	110 100.0	3 2.7	28 25.5	45 40.9	22 20.0	10 9.1	2 1.8
	由井・北野(東南 部地域)	216 100.0	11 5.1	65 30.1	64 29.6	42 19.4	32 14.8	2 0.9
	由木・由木東・南 大沢(東部地域)	242 100.0	19 7.9	88 36.4	67 27.7	33 13.6	31 12.8	4 1.7

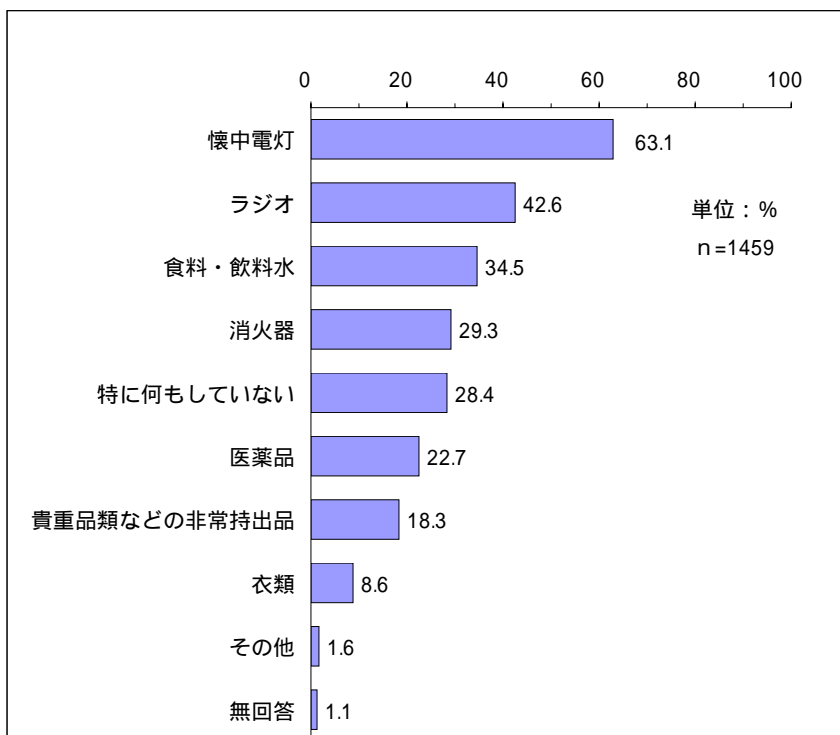
“そう思う”の割合は、市全体(33.1%)と比較して、由木・由木東・南大沢(東部地域)で44.3%とかなり高く、また、浅川・横山・館(西南部地域)と由井・北野(東南部地域)でもそれぞれ35.5、35.2%とやや高くなっている。

(20) 大地震に備えた準備状況

施策 28 安全で安心なまちづくり：災害に対して備えをしている市民の割合

「懐中電灯」が6割強でトップ 「何もしていない」は3割弱

問 20 あなたの家庭では大地震に備え何か準備をしていますか。(○はいくつでも)



大地震に備えての準備では、「懐中電灯」を準備しているとした回答が最も多い(63.1%)。「ラジオ」(42.6%)、「食料・飲料水」(34.5%)、「消火器」(29.3%)などが続いている。

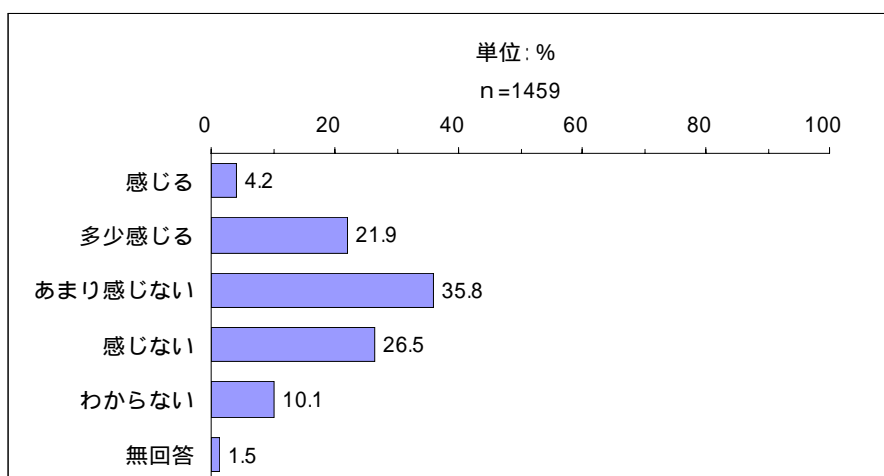
また「特に何もしていない」という人の割合は28.4%だった。

## (21) 市のにぎわいと活力の有無

施策 33 体制づくりと人材育成：にぎわいと活力があるまちと感じる市民の割合

**“感じる”は26.1%、“感じない”は62.3%**

問 21 あなたは、市がにぎわいと活力があるまちであると感じますか。( は1つだけ)



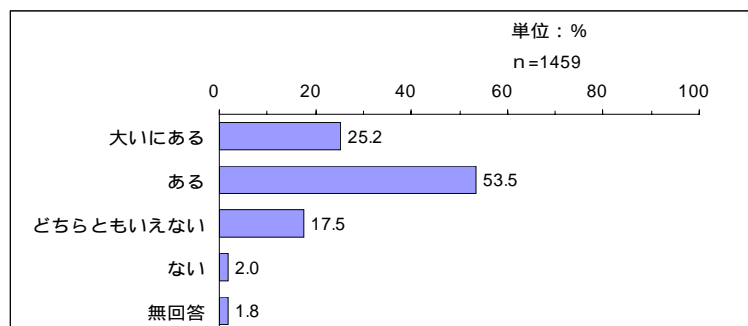
市がにぎわいと活力があるまちだと「感じる」と「多少感じる」の割合を合わせた( = “感じる”)値は 26.1%、「あまり感じない」と「感じない」の割合を合算した( = “感じない”)値は 62.3%で、“感じない”が“感じる”を上回っている。

## (22) 環境問題への関心度

施策 38 環境保全体制の確立：環境に関心がある市民の割合

**「ある」が8割近くで、大多数**

問 22 あなたは、環境問題に関心はありますか。( は1つだけ)



環境問題に関心が「ある」(53.5%)との回答が最も多く、「大いにある」という答えを合わせると78.7%と、8割近くに達する。

「ない」という答えは2.0%しかみられない。

【性別】 \* 上段...人数(単位:人) 下段...構成比(単位:%)

		全体	大いにある	ある	どちらともいえない	ない	無回答
合計		1459	368	781	255	29	26
		100.0	25.2	53.5	17.5	2.0	1.8
性別	男性	636	180	346	88	13	9
		100.0	28.3	54.4	13.8	2.0	1.4
性別	女性	790	179	417	164	16	14
		100.0	22.7	52.8	20.8	2.0	1.8

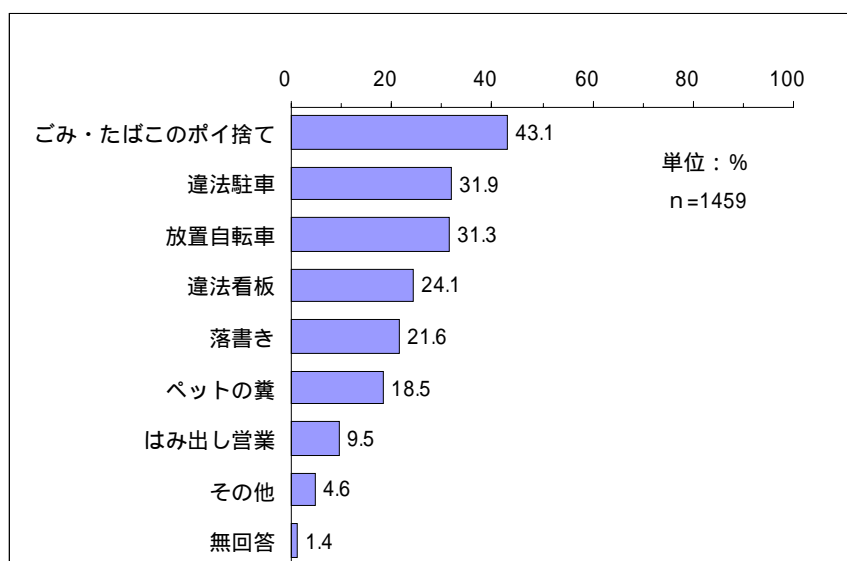
「大いにある」は男性が女性を5.6ポイント上回り、「ある」でも男性が上回る。一方、女性は「どちらともいえない」で7ポイント上回っている。



## (23) 都市の美観が損なわれる原因

### 「ごみ・たばこのポイ捨て」が最も多く挙げられている

問 23 都市の美観が損なわれる主な原因は、次のどれだと思いますか。(○は2つまで)



「ごみ・たばこのポイ捨て」を挙げた回答が 43.1% を占め、第 1 位となっている。第 2、3 位はそれぞれ「違法駐車」(31.9%)、「放置自転車」(31.3%)。

### 【性別】

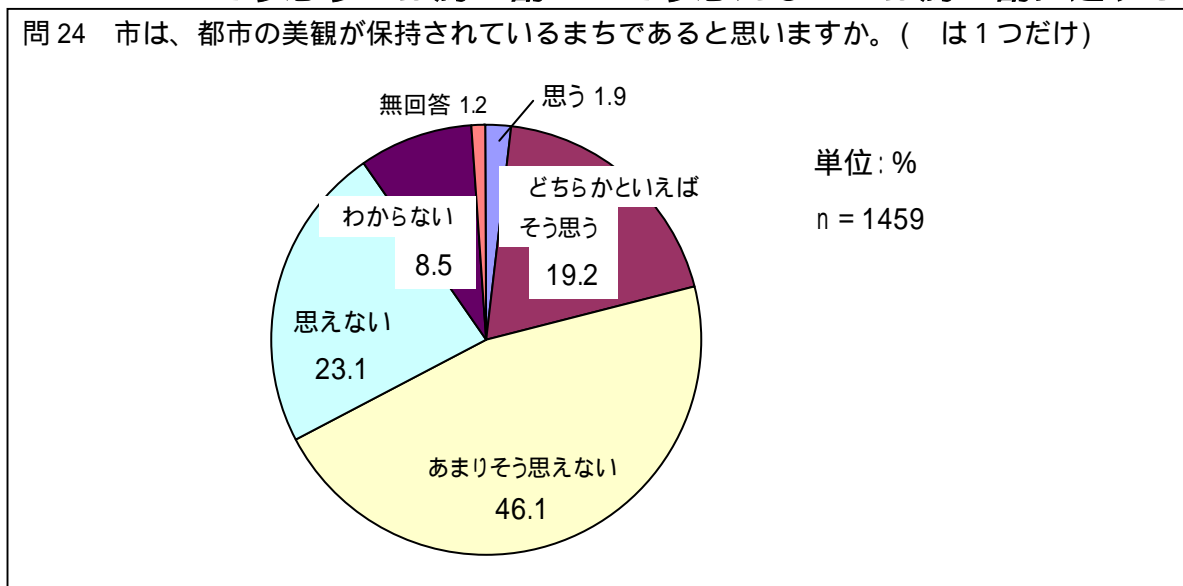
\* 上段...人数 (単位：人) 下段...構成比 (単位：%)

		全体	違法駐車	放置自転車	ペットの糞	ごみ・たばこのポイ捨て	落書き	違法看板	はみ出し営業	その他	無回答
合計		1459 100.0	465 31.9	457 31.3	270 18.5	629 43.1	315 21.6	352 24.1	139 9.5	67 4.6	20 1.4
性別	F1 男性	636 100.0	244 38.4	198 31.1	95 14.9	250 39.3	142 22.3	140 22.0	67 10.5	38 6.0	13 2.0
	女性	790 100.0	216 27.3	250 31.6	165 20.9	364 46.1	166 21.0	207 26.2	69 8.7	27 3.4	6 0.8

男性では女性に比べて「違法駐車」を挙げる人の割合が高く(女性と 11.1 ポイント差)、女性では男性に比べ「ごみ・たばこのポイ捨て」(男性と 6.8 ポイント差)、「ペットの糞」(6.0 ポイント差)、「違法看板」(4.2 ポイント差)を挙げる人の割合が高くなっている。

(24) 市は美観が保持されたまちだと思うか

“ と思う ” は約 2 割 “ そう思えない ” は約 7 割に達する



「思う」という回答と「どちらかといえば思う」という回答を合計した (= “ と思う ”) 割合は 21.1% である。他方、「あまりそう思えない」、「思えない」という回答を合算した (“ そう思えない”) 割合は 69.2% であり、ほぼ 7 割に達している。

また選択肢の中で最も多く選ばれているのは「あまりそう思えない」であり、46.1% を占めている。

【居住地域別】

\* 上段...人数 (単位: 人) 下段...構成比 (単位: %)

		全体	思う	どちらか といえば 思う	あまりそ う思えな い	思えない	わから ない	無回答
合計		1459	28	280	673	337	124	17
		100.0	1.9	19.2	46.1	23.1	8.5	1.2
居住 地域	F9 本庁管内 (中央地 域)	331	10	70	159	72	15	5
		100.0	3.0	21.1	48.0	21.8	4.5	1.5
	元八王子・恩方・ 川口 (西部地域)	237	3	37	123	58	15	1
		100.0	1.3	15.6	51.9	24.5	6.3	0.4
	浅川・横山・館 (西南部地域)	288	3	57	130	63	33	2
		100.0	1.0	19.8	45.1	21.9	11.5	0.7
	加住・石川 (北部 地域)	110	1	17	55	32	3	2
	100.0	0.9	15.5	50.0	29.1	2.7	1.8	
由井・北野 (東南 部地域)	216	3	36	93	58	24	2	
	100.0	1.4	16.7	43.1	26.9	11.1	0.9	
由木・由木東・南 大沢 (東部地域)	242	8	57	96	48	28	5	
	100.0	3.3	23.6	39.7	19.8	11.6	2.1	

加住・石川 (北部地域) では “ と思う ” が 16.4%、 “ そう思えない ” が 79.1% で、市全体と比べて美観の保持に関する評価がかなり厳しい地域となっている。

由木・由木東・南大沢 (東部地域) は、反対に “ と思う ” が 26.9%、 “ そう思えない ” が 59.5% で、比較的、美観の保持が評価されている地域である。

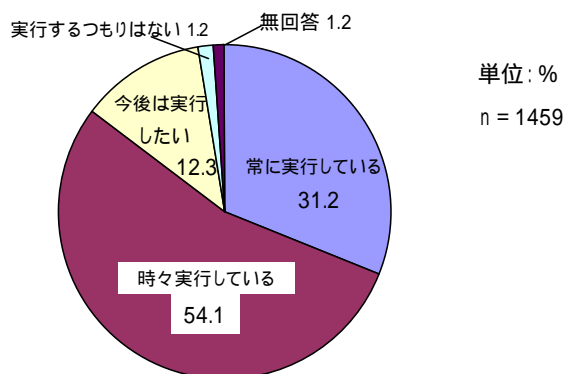
## (25) 省エネ・省資源を実行しているか

施策 42 資源・エネルギーの有効活用：省エネ・省資源を意識した暮らしを送っている市民の割合

### “実行している”人が8割5分を占める

問 25 省エネ・省資源のためには、冷暖房を控える、電気をこまめに消す、冷蔵庫の開閉に気を遣う、ごみ減量のためのリサイクルを心がける、マイカーの使用を控える、省エネ製品を利用する、買物用のバッグを持参して買い物に行くなどがありますが、あなたは、省エネ・省資源を意識して実行していますか。

( は1つだけ)



「常に」と「時々」を合わせ“実行している”人が85.3%と8割5分を超えている。「実行するつもりはない」という人は1.2%にとどまっている。

#### 【性別 / 年齢別】

\* 上段...人数 (単位：人) 下段...構成比 (単位：%)

		全体	常に行っている	時々実行している	今後は実行したい	実行するつもりはない	無回答
合計		1459 100.0	455 31.2	790 54.1	180 12.3	17 1.2	17 1.2
性別	F1 男性	636 100.0	158 24.8	357 56.1	100 15.7	13 2.0	8 1.3
	女性	790 100.0	284 35.9	417 52.8	79 10.0	4 0.5	6 0.8
年齢	F2 20歳代	175 100.0	36 20.6	102 58.3	33 18.9	4 2.3	0 0.0
	30歳代	269 100.0	83 30.9	155 57.6	27 10.0	4 1.5	0 0.0
	40歳代	225 100.0	63 28.0	143 63.6	13 5.8	5 2.2	1 0.4
	50歳代	291 100.0	78 26.8	169 58.1	39 13.4	1 0.3	4 1.4
	60～64歳	169 100.0	60 35.5	88 52.1	19 11.2	1 0.6	1 0.6
	65歳以上	298 100.0	124 41.6	117 39.3	47 15.8	2 0.7	8 2.7

性別にみると、女性の方が男性より「常に行っている」のポイントが11.1ポイントも高くなっている。逆に「今後は実行したい」、「実行するつもりはない」などは男性のポイントが女性より高い(ポイント差はそれぞれ5.7、1.5ポイント)。

年齢別では、65歳以上で「常に行っている」のポイントが全体の平均より10ポイント以上高くなっている。40歳代では、「常に」と「時々」を合わせると91.6%に達し、“実行している”人の割合が特に大きい。また、「今後は実行したい」では20歳代と65歳以上の層で、全体平均よりもやや高いポイントを示している。

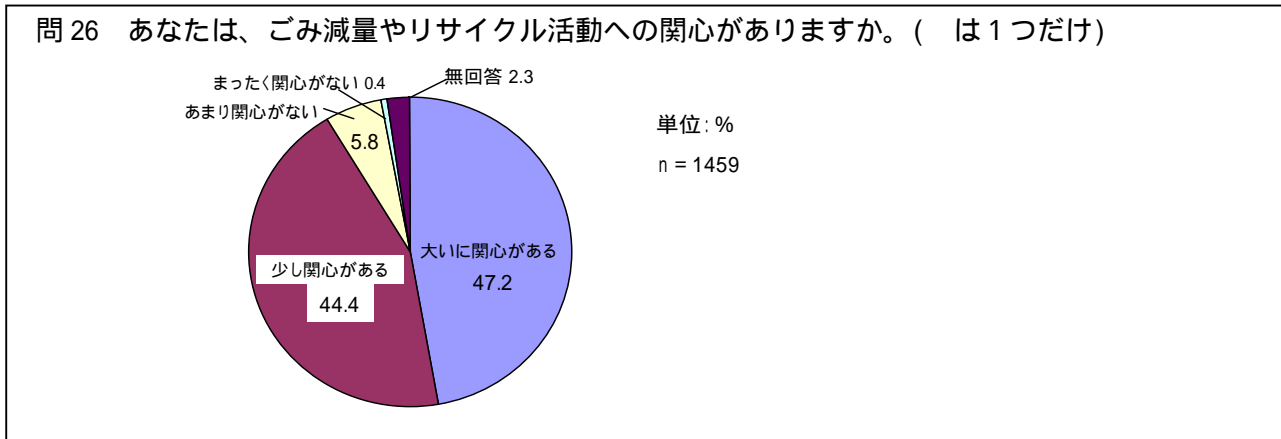
## 第 3 章

## 5 循環型社会の形成に向けて

### (1) ごみに対する基本的な意識について

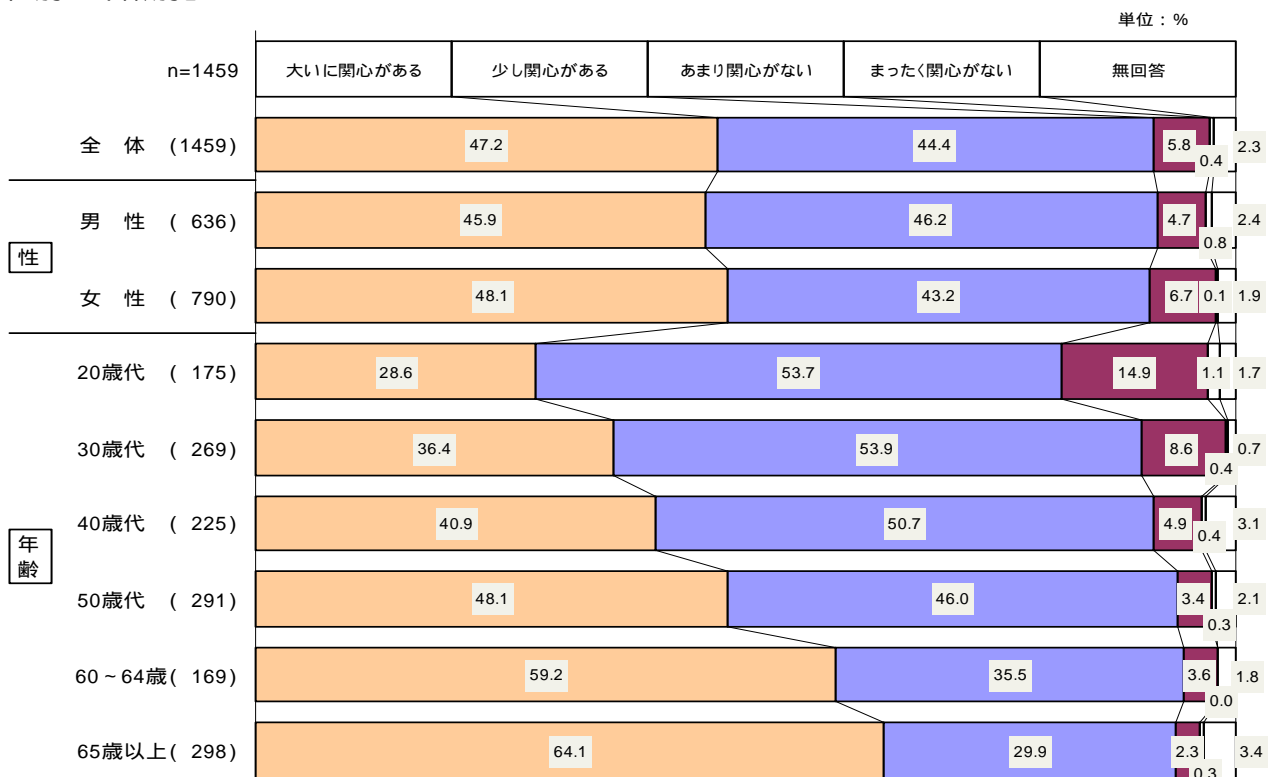
#### (1) - 1 ごみ減量やリサイクル活動への関心

「大いに関心がある」という人が最も多い



ごみ減量やリサイクル活動への関心では、「大いに関心がある」(47.2%)という答えが最も多く、「少し関心がある」(44.4%)という人も合わせると、90%超を占める。他方、「あまり関心がない」は5.8%となっている。

#### 【性別 / 年齢別】



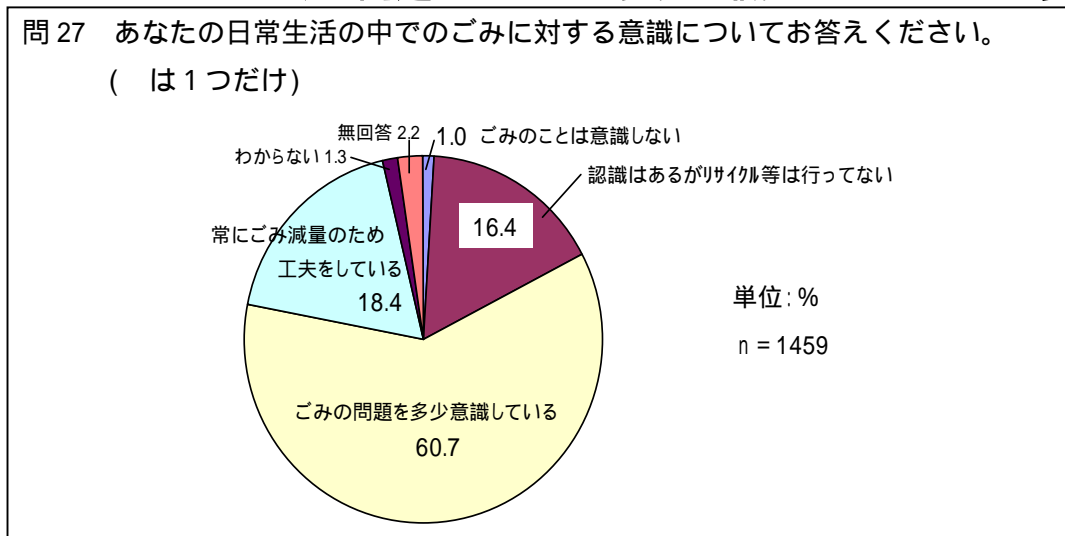
「大いに関心がある」は、年齢が高くなるほど割合も高くなっている。逆に「あまり関心がない」は、年齢が低いほど割合が高くなっている。年齢による関心の違いがうかがえる。

性別による大きな違いは見られない。

## (2) ごみの発生抑制・循環型社会に関する意識について

### (2) - 1 日頃のごみに対する意識

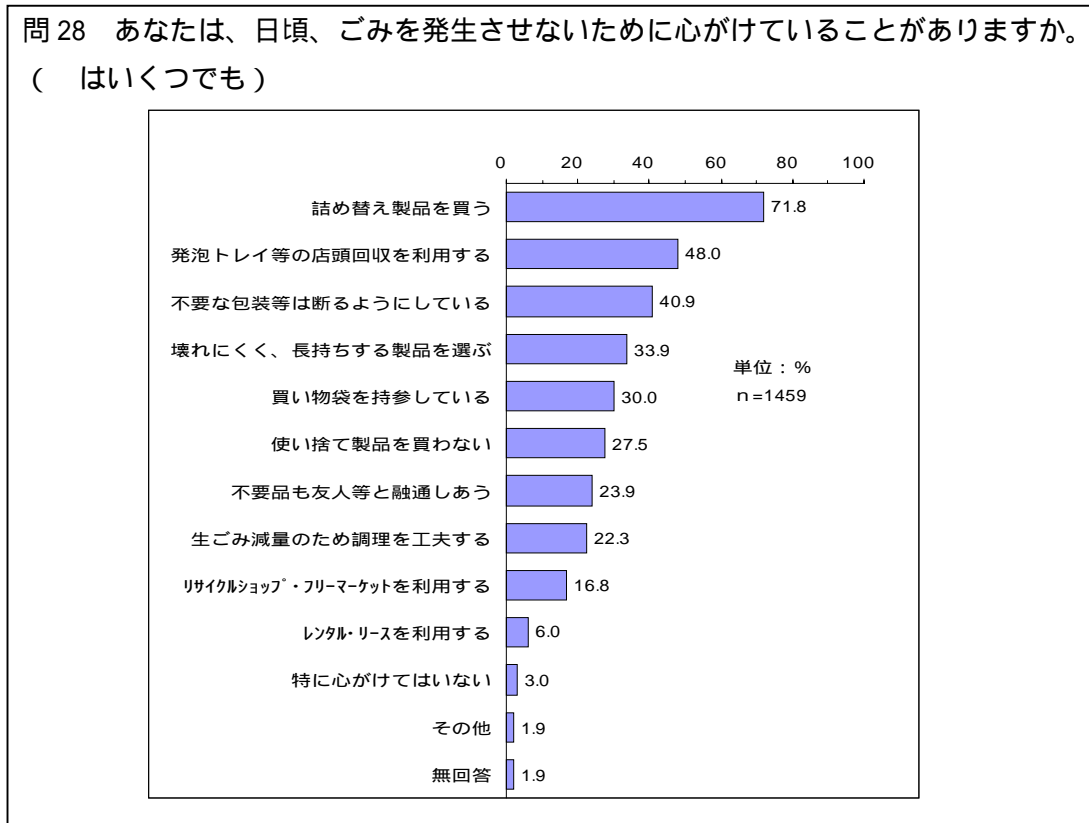
**ごみの問題について「多少意識」しているという人が最も多い**



日頃のごみに対する意識では、「ごみの問題を多少意識」している、という回答が最も多く、6割強を占める。「常に」ごみ減量のための工夫をしている、という人を合わせ、約8割がごみに対して何らかの意識・工夫をしていることが分かる。「ごみのことは意識しない」という人は、1.0%。

### (2) - 2 ごみを発生させない心がけ

**「詰め替え製品を買う」という答えが最も多く、7割を超える**

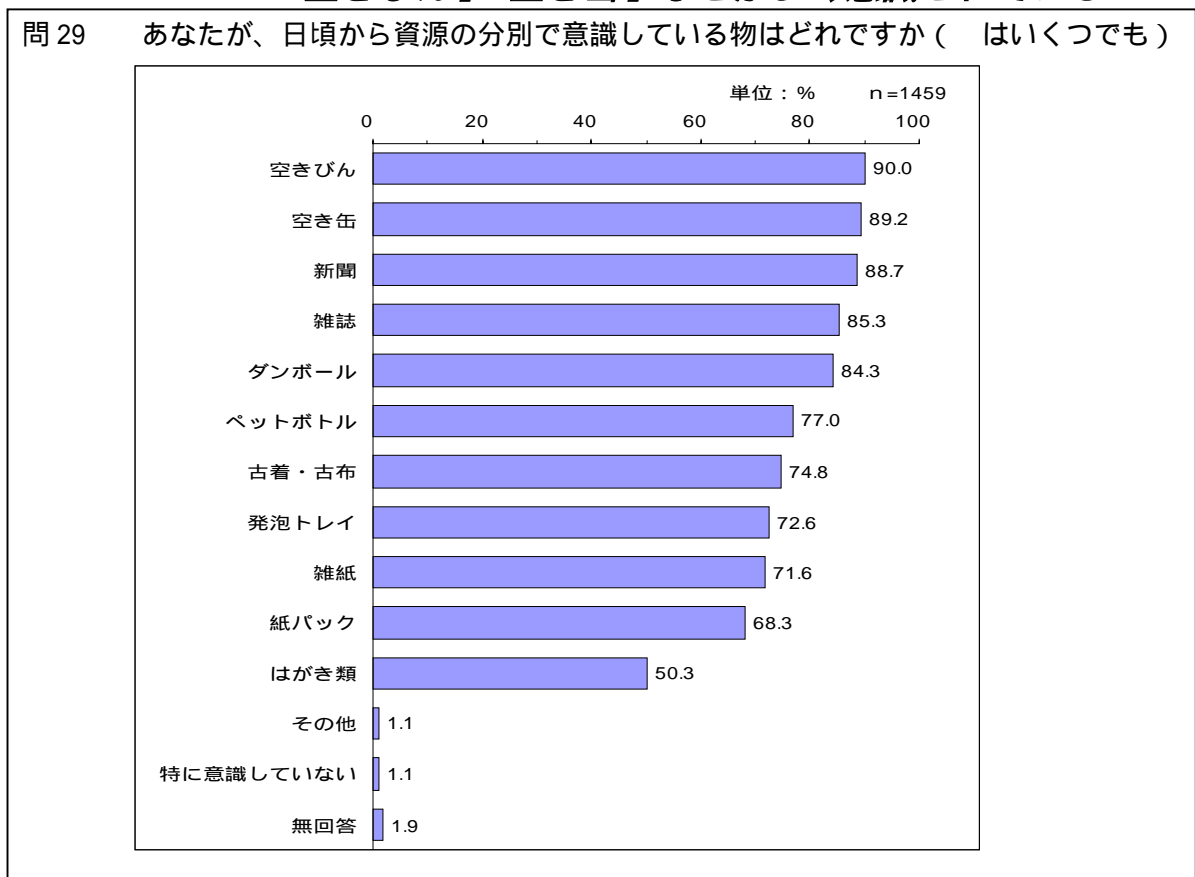


「詰め替え製品を買う」と答えた人が最も多く、70%超を占めている。以下「発泡トレイ等の店頭回収を利用する」(48.0%)、「不要な包装等は断るようにしている」(40.9%)等が続く。

### (3) ごみの分別について

#### (3) - 1 資源の分別で意識している物

「空きびん」「空き缶」などがよく意識されている

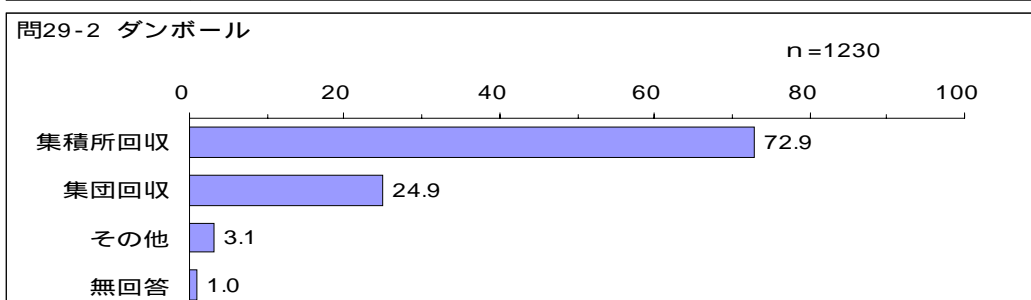
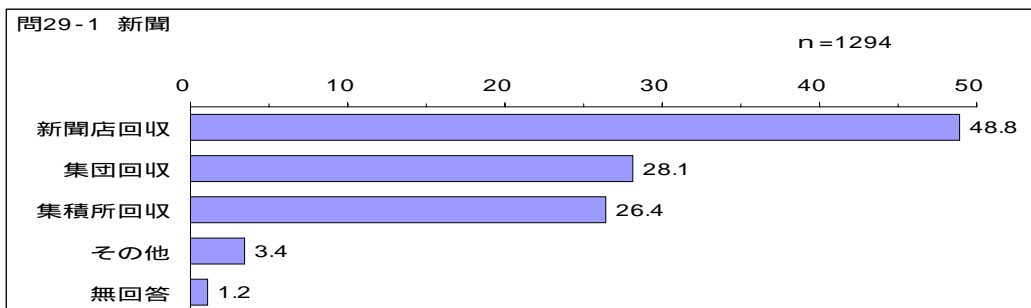


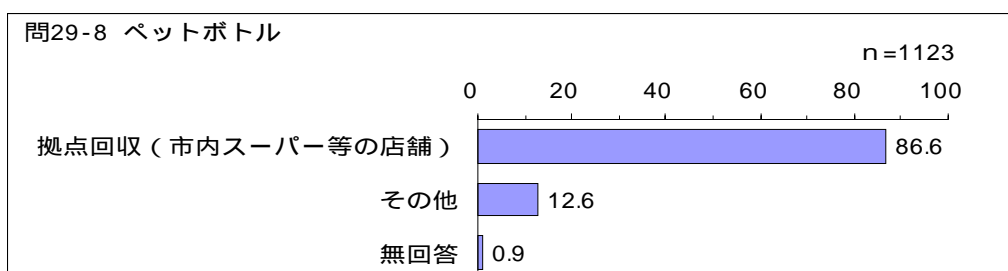
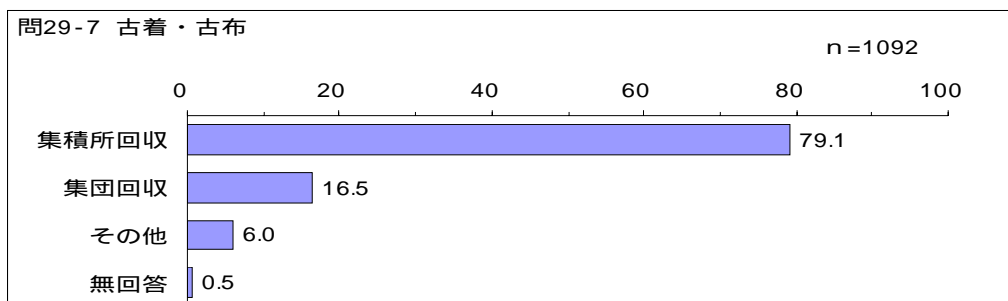
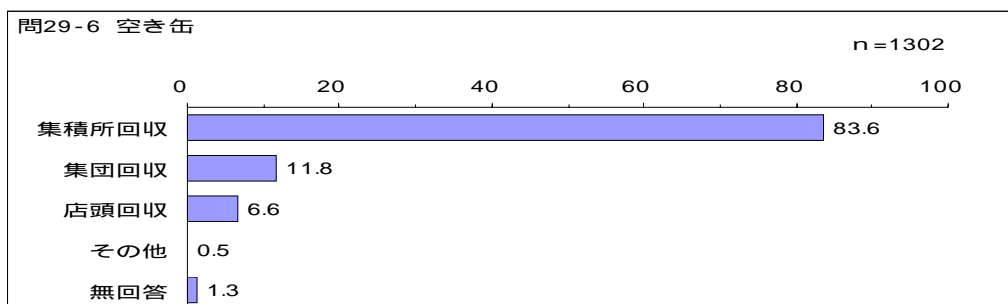
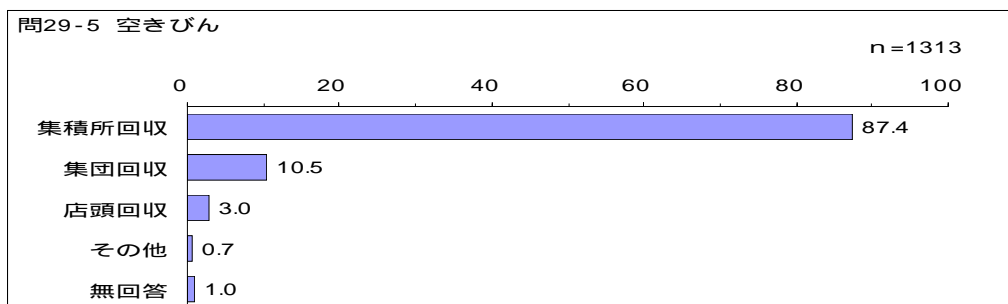
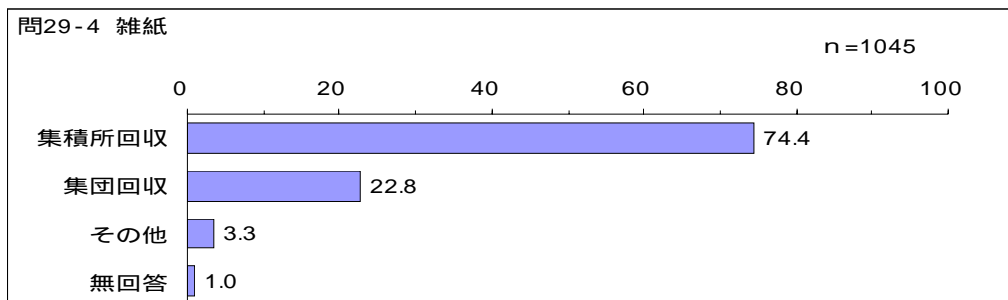
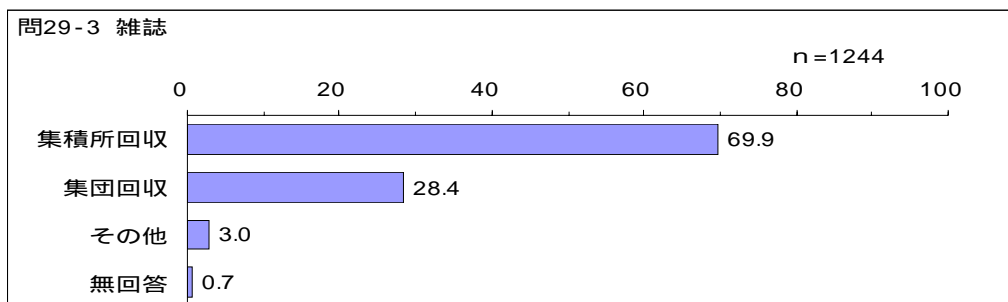
ほとんどの品物で分別が意識されており、最も多い「空きびん」で9割、少なめの「はがき類」でも半数が意識していることが分かる。

「特に意識していない」という回答は、1.1%。

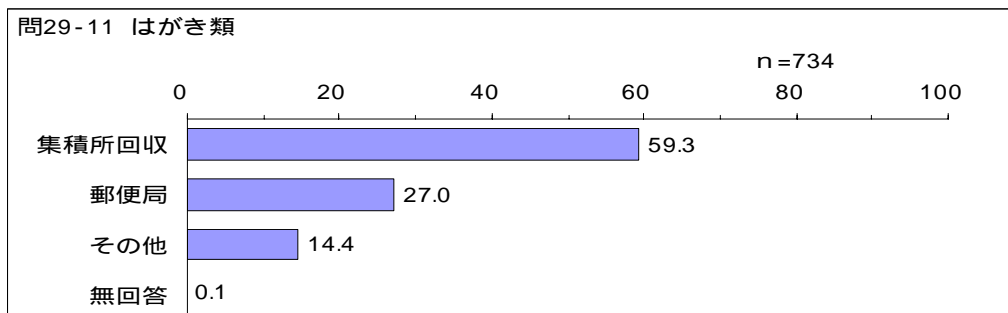
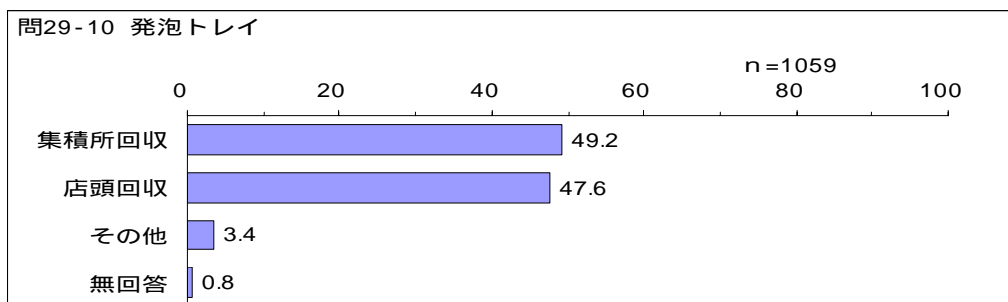
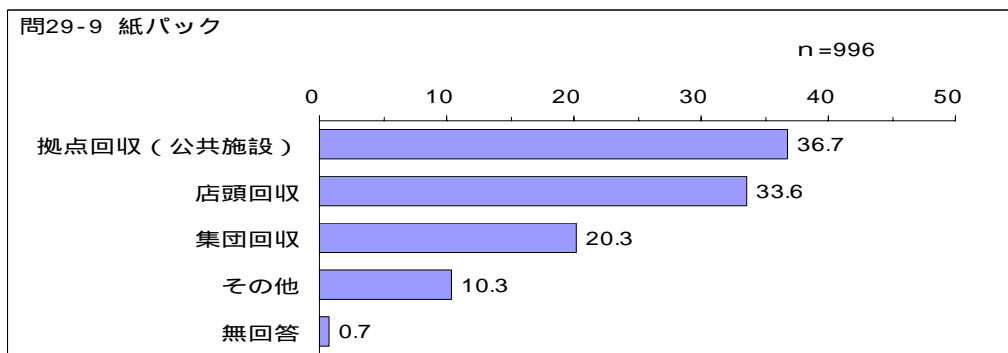
また、 を付けた資源物を主にどこへ出していますか。〔 〕内から主なものを選んで下さい。

[ \*以下の各グラフ中、単位：% ]









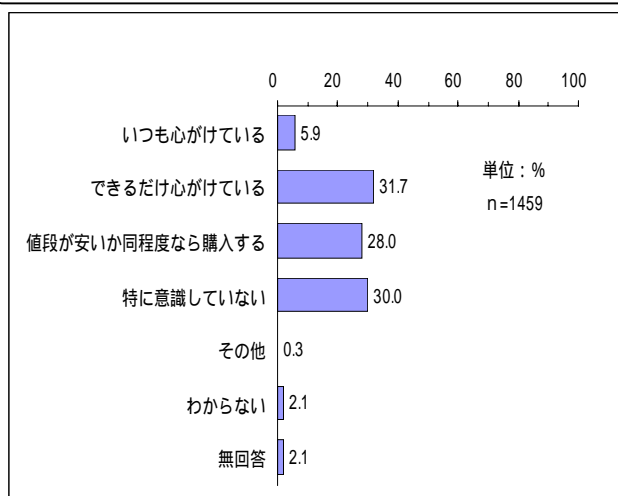
#### (4) グリーン購入に対する意識について

グリーン購入とは、製品やサービスを購入する際に、環境を考慮して、再生された素材で作られているものやリサイクルがしやすい素材のものなど、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入することです。

( 質問は次のページ )

#### (4) - 1 グリーン購入への心がけ “励行度”が大きく3つに分かれている

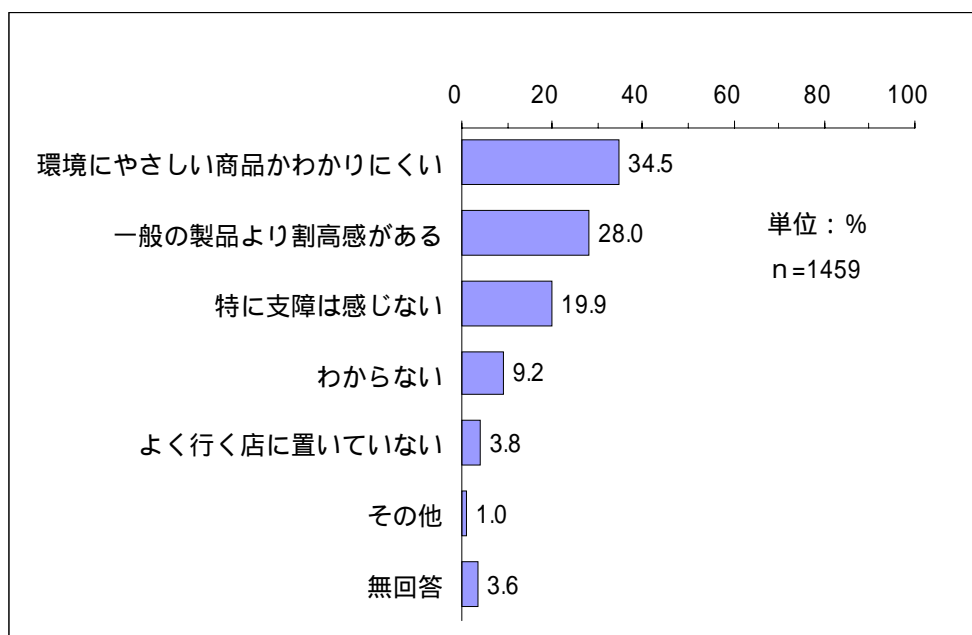
問 30 あなたは、商品を購入する際に、環境にやさしいものを買うようにしていますか。  
( は1つだけ)



結果がはっきりと分かれ、「できるだけ心がけている」、「値段が安いと同程度なら購入する」、「特に意識していない」がそれぞれ30%前後ずつとなっている。  
「いつも心がけている」とした回答は6%弱に止まっている。

#### (4) - 2 グリーン購入で支障を感じること 「環境にやさしい商品かわかりにくい」、「一般の製品より割高感がある」など

問 31 あなたは、環境にやさしい製品を買おうとすると、何か支障を感じることはありませんか。  
( は1つだけ)



「環境にやさしい商品かわかりにくい」が34.5%で第1位となっている。

次いで「一般の製品より割高感がある」(28.0%)が多く、「特に支障は感じない」という回答は20%弱で第3位となっている。

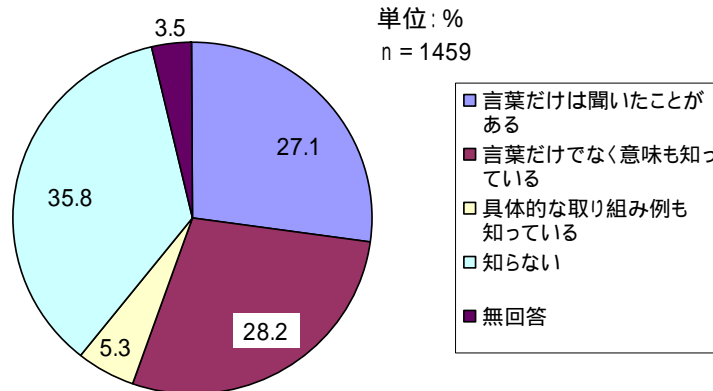
## 6 地産地消の推進

### (1) 地産地消について

#### (1) - 1 用語「地産地消」の認知度

##### 「地産地消」を何らかの形で“知っている”人が約6割

問 32 「地産地消」とは、地元でとれた生産物を地元で消費するということですが、あなたは、この言葉の意味をどの程度知っていますか。( は1つだけ)

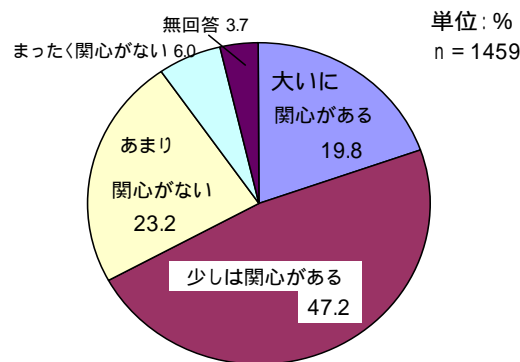


「意味まで知っている」(28.2%)と「言葉だけ知っている」(27.1%)及び「具体的な取り組み例も知っている」(5.3%)を合わせ、“知っている”という回答が60.6%。他方「知らない」という人は35.8%。

#### (1) - 2 「地産地消」への関心度

##### 7割弱の人が“関心がある”

問 33 あなたは、「地産地消」に対してどの程度関心がありますか。( は1つだけ)



「少しは関心がある」と答えた人が半数弱と最も多く、「大いに関心がある」と合わせる( = “関心がある”)と67%に達する。

一方、「あまり関心がない」・「まったく関心がない」の合計( = “関心がない”)の割合は29.2%。

#### 【性別 / 年齢別】

男性よりも女性で“関心がある”人の割合が大きくなっている。また、若年層よりも高年齢層で“関心がある”人の割合が大きくなっている。( 集計表は次のページ)

問33 「地産地消」への関心度

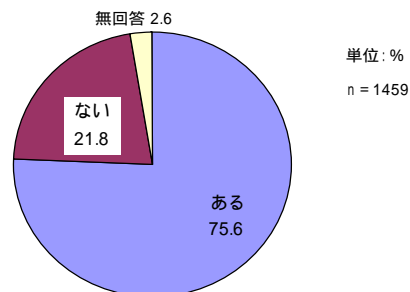
		全体	大いに関心がある	少しは関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	無回答
合計		1459	289	689	339	88	54
		100.0	19.8	47.2	23.2	6.0	3.7
F1 性別	男性	636	110	285	172	47	22
		100.0	17.3	44.8	27.0	7.4	3.5
	女性	790	170	388	161	41	30
		100.0	21.5	49.1	20.4	5.2	3.8
F2 年齢	20歳代	175	13	64	69	25	4
		100.0	7.4	36.6	39.4	14.3	2.3
	30歳代	269	29	129	76	29	6
		100.0	10.8	48.0	28.3	10.8	2.2
	40歳代	225	45	116	48	11	5
		100.0	20.0	51.6	21.3	4.9	2.2
	50歳代	291	42	146	78	11	14
	100.0	14.4	50.2	26.8	3.8	4.8	
	60～64歳	169	60	82	21	1	5
		100.0	35.5	48.5	12.4	0.6	3.0
	65歳以上	298	90	137	42	11	18
		100.0	30.2	46.0	14.1	3.7	6.0

\* 上段...人数(単位:人) 下段...構成比(単位:%)

(1) - 3 市内産農畜産物購入の有無

**市内産のものの購入経験は「ある」という人が多い**

問34 あなたは、市内産の農畜産物(野菜、果物、花など)を購入(消費)したことがありますか。  
(は1つだけ)



「ある」という回答(75.6%)が「ない」という回答の3倍以上を占め、圧倒的に多くなっている。

【居住地域別】\* 上段...人数(単位:人) 下段...構成比(単位:%)

		全体	ある	ない	無回答
合計		1459	1103	318	38
		100.0	75.6	21.8	2.6
F9 居住地域	本庁管内(中央地域)	331	232	91	8
		100.0	70.1	27.5	2.4
	元八王子・恩方・川口(西部地域)	237	198	31	8
		100.0	83.5	13.1	3.4
	浅川・横山・館(西南部地域)	288	221	63	4
		100.0	76.7	21.9	1.4
	加住・石川(北部地域)	110	83	24	3
	100.0	75.5	21.8	2.7	
	由井・北野(東南部地域)	216	175	35	6
		100.0	81.0	16.2	2.8
	由木・由木東・南大沢(東部地域)	242	171	64	7
		100.0	70.7	26.4	2.9

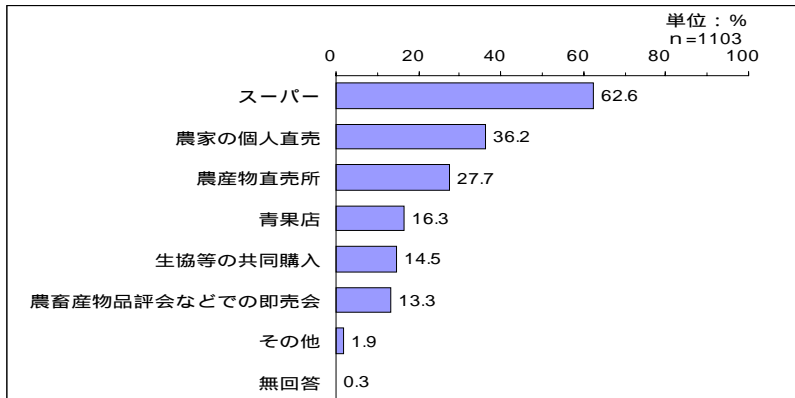
「ある」という人の割合は、元八王子・恩方・川口(西部地域)、由井・北野(東南部地域)などで、全体よりも大きくなっている。反対に本庁管内(中央地域)、由木・由木東・南大沢(東部地域)等では、全体より小さい。

(1) - 4 農畜産物を購入した場所

「スーパー」、「農家の個人直売」、「農産物直売所」など

(問 34 で「1 ある」とお答えの方に)

問 34 - 1 市内産の農畜産物を購入した場所はどこですか。( はいくつでも)



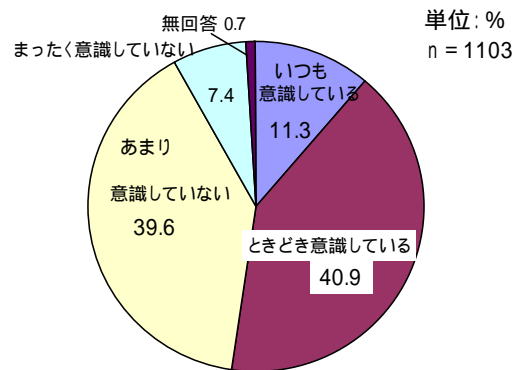
「スーパー」という回答が最も多く、6割超を占める。

次いで多い回答は「農家の個人直売」で、30%台の後半を占めている。第3位は「農産物直売所」。

(1) - 5 意識して購入しているか

“意識している”という人は52.2%、男性より女性が多い

問 34 - 2 あなたは、市内の農畜産物を意識して購入(消費)していますか。( は1つだけ)



「時々意識している」(40.9%)と「あまり意識していない」(39.6%)が僅差で多くなっている。「いつも」と「時々」を合わせて“意識している”という人が52.2%、他方、「あまり」と「まったく」を合算して“意識していない”という人は47.0%となっている。

【性別/年齢別】\*上段...人数(単位:人) 下段...構成比(単位:%)

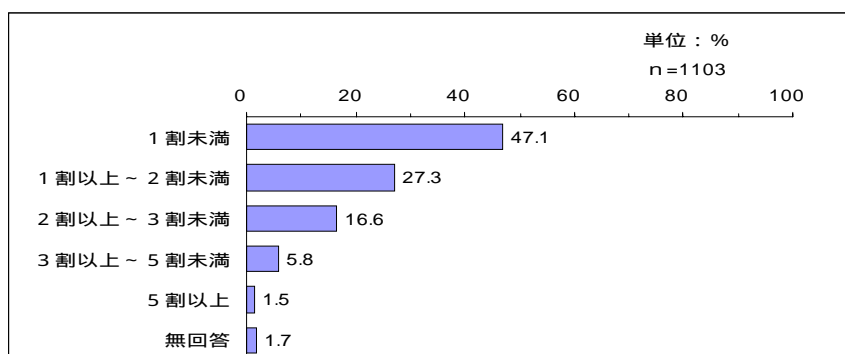
	全体	いつも意識している	時々意識している	あまり意識していない	まったく意識していない	無回答	
合計	1103	125	451	437	82	8	
	100.0	11.3	40.9	39.6	7.4	0.7	
性別	男性	437	40	159	198	38	2
		100.0	9.2	36.4	45.3	8.7	0.5
性別	女性	640	82	280	229	43	6
		100.0	12.8	43.8	35.8	6.7	0.9
年齢	20歳代	87	3	25	42	17	0
		100.0	3.4	28.7	48.3	19.5	0.0
	30歳代	194	8	65	95	25	1
		100.0	4.1	33.5	49.0	12.9	0.5
	40歳代	168	13	69	70	15	1
		100.0	7.7	41.1	41.7	8.9	0.6
	50歳代	230	19	100	97	14	0
	100.0	8.3	43.5	42.2	6.1	0.0	
60~64歳	151	27	79	42	2	1	
	100.0	17.9	52.3	27.8	1.3	0.7	
65歳以上	248	52	102	81	8	5	
	100.0	21.0	41.1	32.7	3.2	2.0	

男性よりも女性で、また、年齢が高くなるにつれて、“意識している”の割合が大きくなっている傾向が見てとれる。

(1) - 6 市内産の農畜産物の購入割合  
**約75%の人は“2割未満”**

問 34 - 3 あなたがこの1年間に購入した農畜産物のうち、市内産の割合はどのくらいですか。

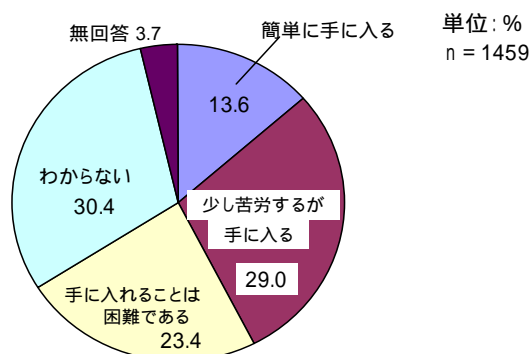
( は1つだけ)



「1割未満」という回答が47.1%でいちばん多く、「1割以上～2割未満」が27.3%でそれに続いている。「5割以上」という回答はわずか1.5%しか見られない。

(1) - 7 市内産農畜産物は手に入るか  
**“手に入る”...約43%、「わからない」...約30%、「困難」...約23%**

問 35 あなたは、市内産農畜産物を欲しいと思ったときに、簡単に手に入れたり、食べたりすることができますか。( は1つだけ)



「わからない」との回答が最も多くなっており(30.4%)、「少し苦労するが手に入る」が僅差でそれに続いている(29.0%)、「簡単に」と「少し苦労するが」を合わせ“手に入る”とする回答は42.6%である。

【居住地域別】 \* 上段...人数(単位:人) 下段...構成比(単位:%)

		全体	簡単に手に入る	少し苦労するが手に入る	手に入れることは困難である	わからない	無回答
合計		1459	198	423	341	443	54
		100.0	13.6	29.0	23.4	30.4	3.7
居住地域	本庁管内(中央地域)	331	35	82	81	122	11
		100.0	10.6	24.8	24.5	36.9	3.3
	元八王子・恩方・川口(西部地域)	237	49	92	36	50	10
		100.0	20.7	38.8	15.2	21.1	4.2
	浅川・横山・館(西南部地域)	288	34	82	76	84	12
		100.0	11.8	28.5	26.4	29.2	4.2
	加住・石川(北部地域)	110	26	31	19	30	4
	100.0	23.6	28.2	17.3	27.3	3.6	
由井・北野(東南部地域)	216	28	65	57	59	7	
	100.0	13.0	30.1	26.4	27.3	3.2	
由木・由木東・南大沢(東部地域)	242	20	63	64	87	8	
	100.0	8.3	26.0	26.4	36.0	3.3	

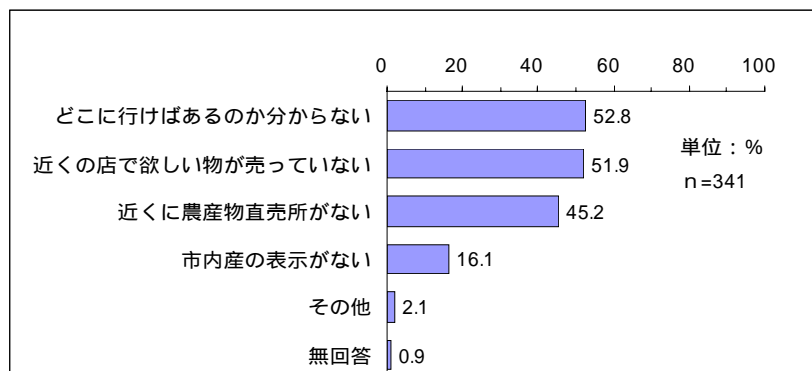
元八王子・恩方・川口(西部地域)と加住・石川(北部地域)において、“手に入る”のポイントが高くなっている。

(1) - 8 手に入りにくい理由

「どこに行けばあるのか分からない」、「近くの店で欲しい物が売っていない」が多い

(問 35 で「3 手に入れることは困難である」と答えた方に)

問 35 - 1 どのような理由で、手に入りにくいですか。( はいくつでも)



「どこに行けばあるのか分からない」という理由 (52.8%) が最も多く、僅差で「近くの店で欲しい物が売っていない」という理由 (51.9%) が続いている。第3位は「近くに農産物直売所がない」(45.2%)。

【居住地域別】

\* 上段...人数 (単位：人) 下段...構成比 (単位：%)

		全体	近くの店で欲しい物が売っていない	近くに農産物直売所がない	どこに行けばあるのか分からない	市内産の表示がない	その他	無回答
合計		341 100.0	177 51.9	154 45.2	180 52.8	55 16.1	7 2.1	3 0.9
居住地域	本庁管内 (中央地域)	81 100.0	47 58.0	40 49.4	46 56.8	19 23.5	0 0.0	0 0.0
	元八王子・恩方・川口 (西部地域)	36 100.0	16 44.4	12 33.3	17 47.2	4 11.1	1 2.8	0 0.0
	浅川・横山・館 (西南部地域)	76 100.0	43 56.6	36 47.4	38 50.0	14 18.4	0 0.0	2 2.6
	加住・石川 (北部地域)	19 100.0	7 36.8	11 57.9	7 36.8	0 0.0	1 5.3	0 0.0
	由井・北野 (東南部地域)	57 100.0	30 52.6	24 42.1	28 49.1	6 10.5	3 5.3	1 1.8
	由木・由木東・南大沢 (東部地域)	64 100.0	32 50.0	26 40.6	38 59.4	12 18.8	2 3.1	0 0.0

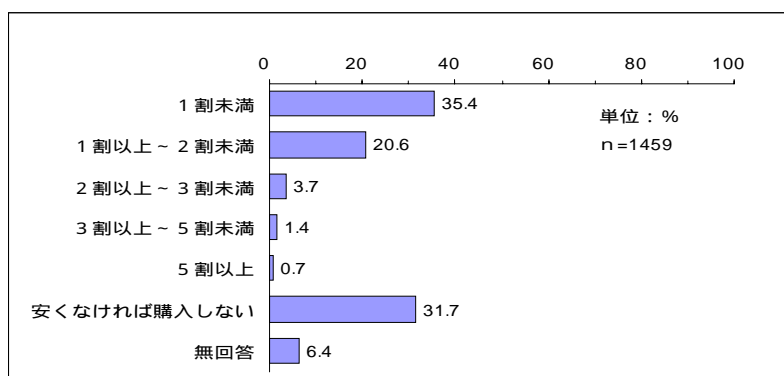
本庁管内 (中央地域) 及び由木・由木東・南大沢 (東部地域) では「どこに行けばあるのか分からない」という選択肢のポイントが高く、加住・石川 (北部地域) では「近くに農産物直売所がない」のポイントが高くなっている。また本庁管内 (中央地域) では、「市内産の表示がない」の選択肢のポイントも、市全体よりもかなり高くなっている。

浅川・横山・館 (西南部地域) で市全体と比べてポイントが高くなっているのは、「近くの店で欲しい物が売っていない」。

### (1) - 9 購入する農畜産物の他産地との価格差

**「安くなければ購入しない」から「2割未満」までで、9割近くを占める**

問 36 あなたは、市内産の農畜産物が高産地より価格が高い場合、価格差がいくらであれば購入しますか。( は1つだけ)



「1割未満」とする回答が最も多く(35.4%)、第2位は「安くなければ購入しない」が僅差で続いている(31.7%)

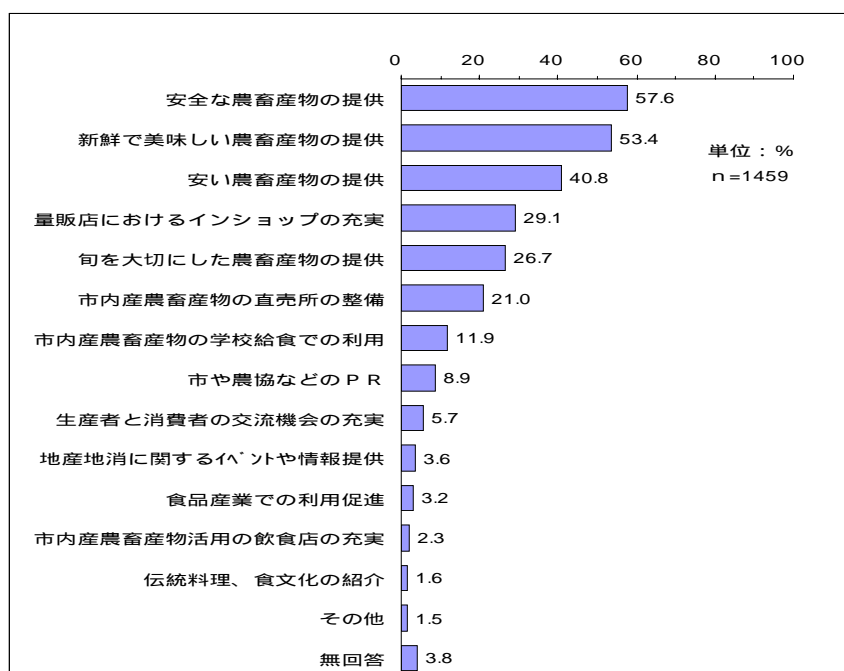
「1割以上～2割未満」(20.6%)も合わせると、「安くなければ購入しない」から、価格差があっても“2割未満”ならば購入するという人までで87.7%を占めていることが分かる。

### (1) - 10 地産地消推進の取り組み

**「安全」、「新鮮で美味しい」、「安い」農畜産物の提供が重要**

問 37 「地産地消」を推進していくために、今後どのような取り組みが重要であると思いますか。

( は3つまで)



重要と思う取り組みとして、「安全な農畜産物の提供」(57.6%)、「新鮮で美味しい農畜産物の提供」(53.4%)、「安い農畜産物の提供」(40.8%)などが挙げられている。

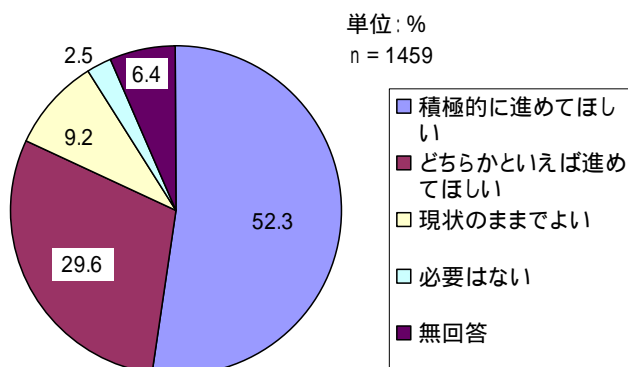


## (2) 学校給食について

### (2) - 1 給食への地元生産物の利用

#### “進めてほしい”という意見が8割超に達する

問 38 地産地消の推進策の一つとして「学校給食への地元生産物の利用促進」がありますが、これについてあなたはどのように思いますか。( は1つだけ)



「積極的に進めてほしい」とする意見が最も多く、過半数を占めている。

なお、「どちらかといえば進めてほしい」も合わせると( = “進めてほしい” )、8割超に達する。

#### 【居住地域別】

\* 上段...人数(単位：人) 下段...構成比(単位：%)

		全体	積極的に進めてほしい	どちらかといえば進めてほしい	現状のままでよい	必要はない	無回答
合計		1459	763	432	134	36	94
		100.0	52.3	29.6	9.2	2.5	6.4
居住地域	本庁管内(中央地域)	331	169	105	36	7	14
		100.0	51.1	31.7	10.9	2.1	4.2
	元八王子・恩方・川口(西部地域)	237	130	71	14	7	15
		100.0	54.9	30.0	5.9	3.0	6.3
	浅川・横山・館(西南部地域)	288	151	90	24	5	18
		100.0	52.4	31.3	8.3	1.7	6.3
	加住・石川(北部地域)	110	63	26	11	1	9
	100.0	57.3	23.6	10.0	0.9	8.2	
	216	112	68	15	8	13	
	100.0	51.9	31.5	6.9	3.7	6.0	
	242	125	60	31	7	19	
	100.0	51.7	24.8	12.8	2.9	7.9	

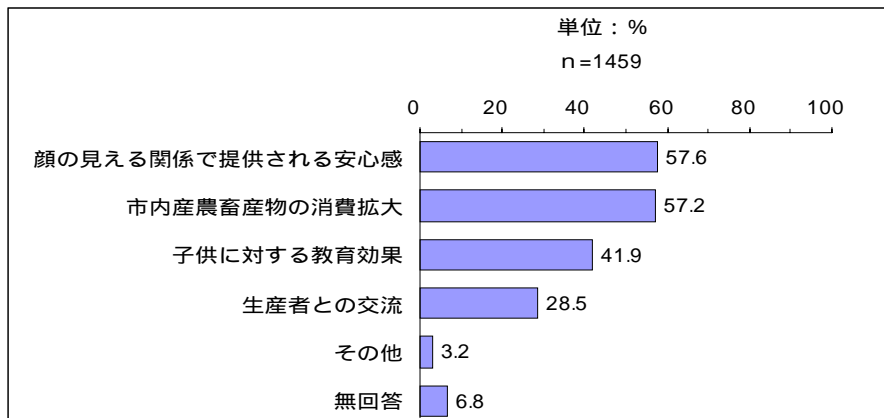
由木・由木東・南大沢(東部地域)では、「積極的に進めてほしい」の割合は他地域とあまり変わりがなく、「どちらかといえば進めてほしい」の割合が比較的小さいため、その結果、両方を合わせた“進めてほしい”のポイントが他の地域や市全体と比べて低くなっている。また「現状のままでよい」のポイントが他の地域や市全体より高くなっている。

## (2) - 2 市内産農畜産物の利用で期待すること

### 「顔の見える関係で提供される安心感」と「市内産農畜産物の消費拡大」に期待

問 39 本市の学校給食において、市内産農畜産物を利用することにより何を期待しますか。

( は3つまで)



「顔の見える関係で提供される（ことによる）安心感」(57.6%)と「市内産農畜産物の消費拡大」(57.2%)が多く挙げられている。

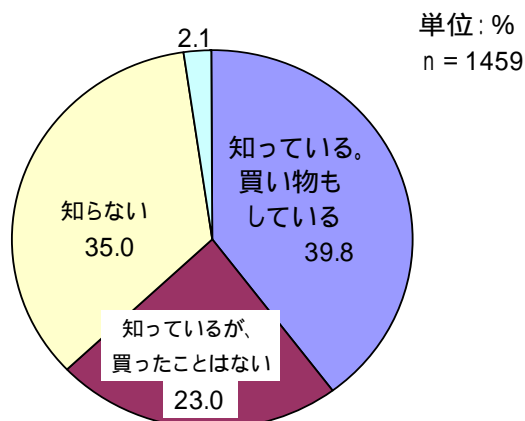
「子供に対する教育効果」は41.9%。

## (3) 農産物直売所について

### (3) - 1 農産物直売所の認知度

#### 「知っている買い物もしている」が約4割で、最も多い

問 40 市内には、農家の方々が生産した新鮮な野菜などを販売している農産物の直売所がありますが、あなたは農産物直売所を知っていますか。( は1つだけ)



「知っている。買い物もしている」が約4割と最も多いが、「知らない」(35.0%)も僅差で続いている。

また、60%超の人が農産物直売所のことを「知っている」ことが分かる。

【居住地域別】

\* 上段...人数（単位：人） 下段...構成比（単位：%）

		全体	知っている。買い物もしている	知らない	知っているが、買ったことはない	無回答
合計		1459 100.0	581 39.8	511 35.0	336 23.0	31 2.1
F9 居住地域	本庁管内（中央地域）	331 100.0	106 32.0	146 44.1	70 21.1	9 2.7
	元八王子・恩方・川口（西部地域）	237 100.0	146 61.6	38 16.0	45 19.0	8 3.4
	浅川・横山・館（西南部地域）	288 100.0	96 33.3	130 45.1	58 20.1	4 1.4
	加住・石川（北部地域）	110 100.0	61 55.5	24 21.8	23 20.9	2 1.8
	由井・北野（東南部地域）	216 100.0	83 38.4	64 29.6	65 30.1	4 1.9
	由木・由木東・南大沢（東部地域）	242 100.0	74 30.6	98 40.5	67 27.7	3 1.2

元八王子・恩方・川口（西部地域）及び加住・石川（北部地域）において、「知っている。買い物もしている」のポイントが高くなっており、市全体を15ポイント以上上回っている。

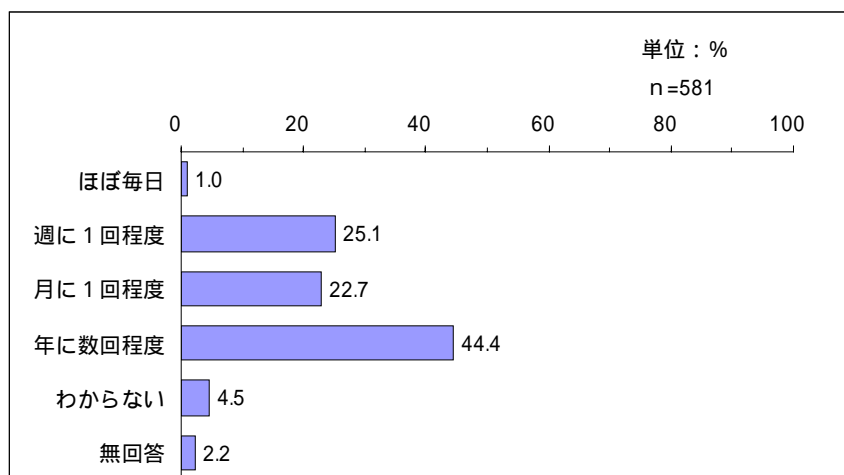
「知らない」は浅川・横山・館（西南部地域）及び本庁管内（中央地域）で多くっており、市全体を約10ポイント上回っている。

(3) - 2 直売所で購入する頻度

**「年に数回程度」という人が最も多い**

（問40で、「1 知っている。買い物もしている」とお答えの方に）

問40 - 1 農産物直売所で購入する頻度はどのくらいですか。（ は1つだけ）



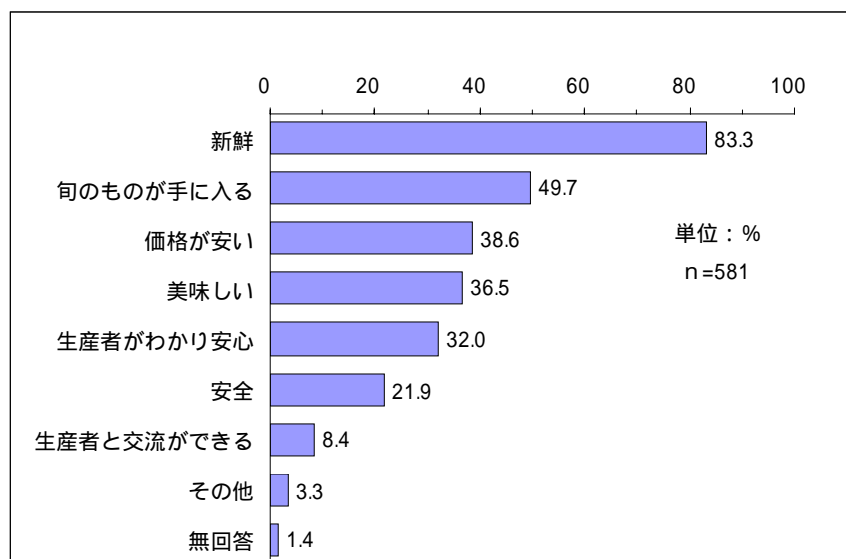
「年に数回程度」という回答が最も多く（44.4%）半数近くを占めている。

次いで多いのは「週に1回程度」（25.1%）で、第3位は「月に1回程度」（22.7%）。

### (3) - 3 直売所で購入する理由

#### 「新鮮」、「旬のものが手に入る」から

問 40 - 2 農産物直売所で購入する理由は何ですか。(はいいくつでも)

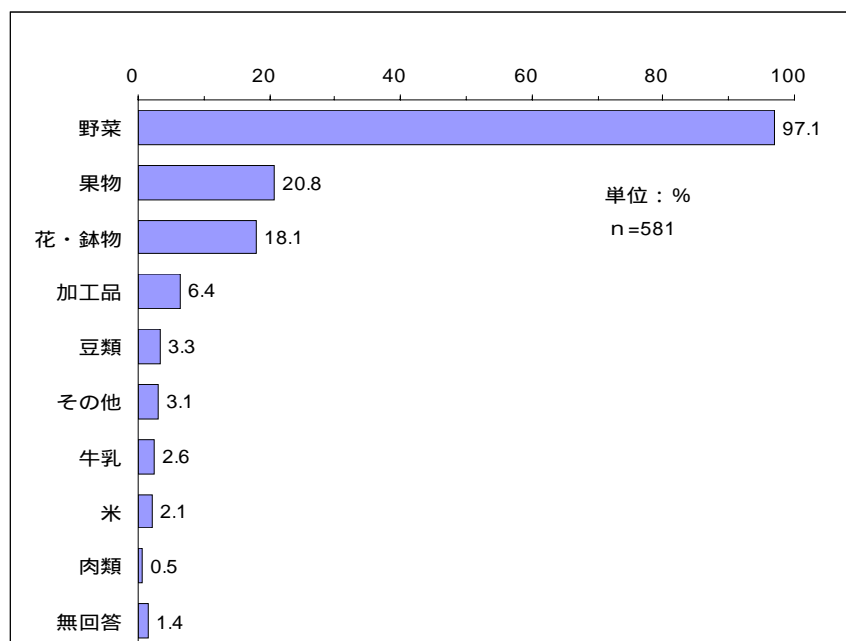


「新鮮」だから、とした回答が最も多く、8割超を占めている。  
次いで多い回答は、半数近くを占める「旬のものが手に入る」(49.7%)、  
第3位は「価格が安い」(38.6%)。

### (3) - 4 直売所で購入する品目

#### 「野菜」が圧倒的に多い 第2位は「果物」

問 40 - 3 農産物直売所で購入する品目は何か。(はいいくつでも)



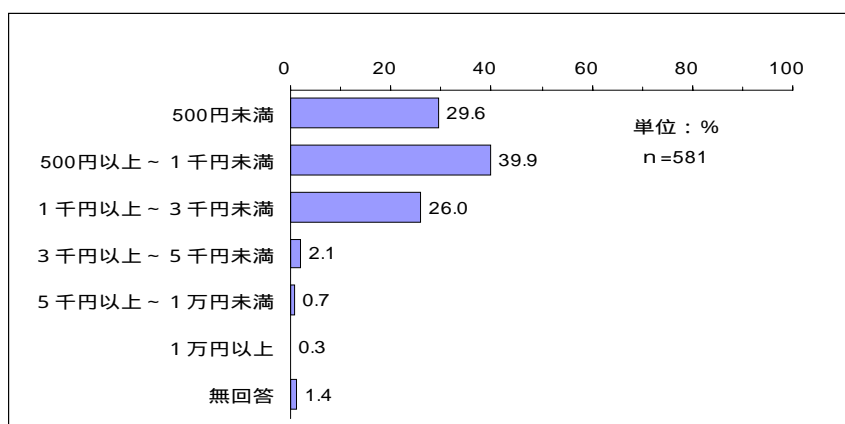
「野菜」という答えが圧倒的に多く、97.1%を占めている。  
第2位は「果物」(20.8%)で、第3位は「花・鉢物」(18.1%)となっている。

### (3) - 5 直売所で購入する金額

**「500円以上～1千円未満」の購入金額が最も多い**

問 40 - 4 農産物直売所で購入する1回あたりの購入金額はどのくらいですか。

( は1つだけ )



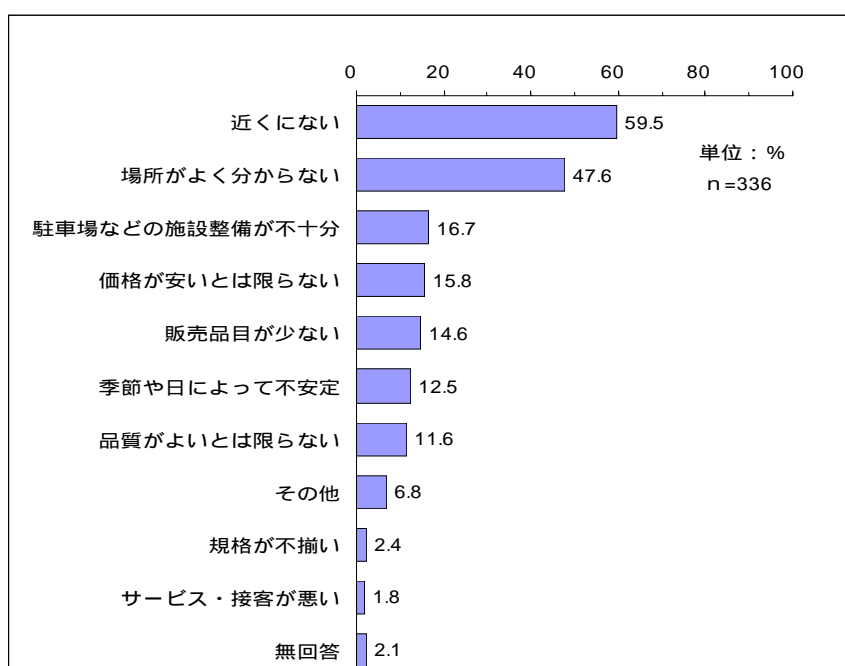
「500円以上～1千円未満」との回答がいちばん多く(39.9%)、「500円未満」(29.6%)がそれに続いている。「1千円以上～3千円未満」も合算し、「3千円未満」までの選択肢で、全体の95.5%を占める。

### (3) - 6 直売所を利用しない理由

**「近くにない」「場所がよく分からない」から**

(問 40 で「3 名称は知っているが、買い物はしたことがない」とお答えの方に)

問 40 - 5 農産物直売所を利用しない理由は何ですか。( はいくつでも )



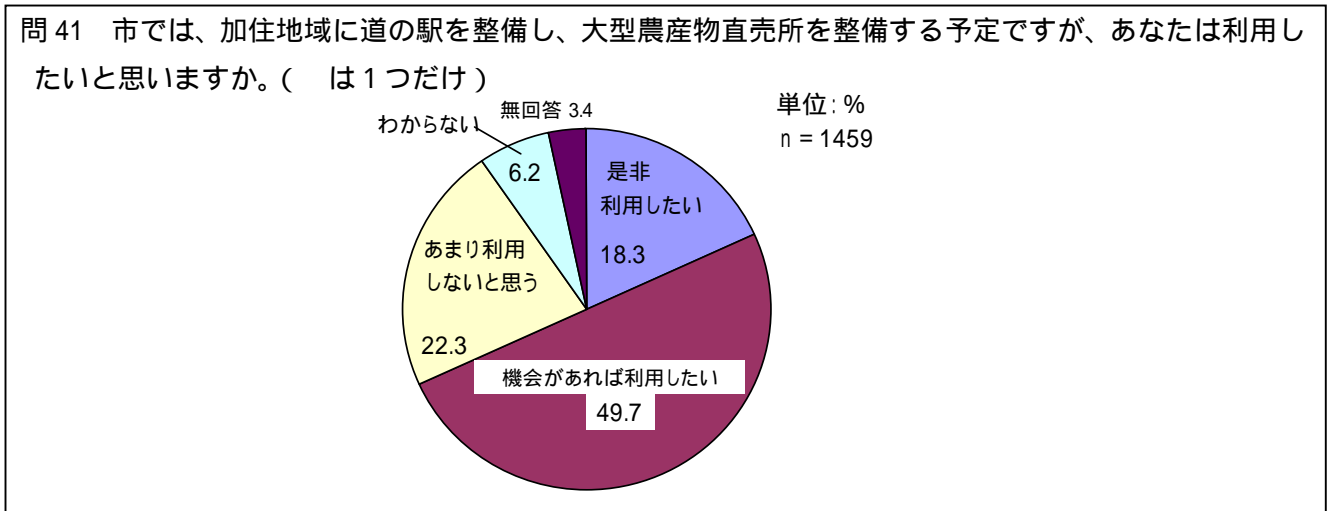
「近くにない」からという回答が最も多く6割弱を占めている。次いで多いのが半数弱の「場所がよく分からない」。

#### (4) 道の駅に併設する大型農産物直売所について

「道の駅」とは、道路を快適に利用できるよという発想から生まれ、休憩のためのパーキングエリアとして、また、地域の文化や歴史、名所や特産物などの魅力を紹介する情報発信基地として、地域住民と道路を利用する人々をつなぐ地域に根ざしたふれあいの場所です。

##### (4) - 1 道の駅の利用意向

##### “利用したい”人が7割弱



「機会があれば利用したい」という人が半数弱(49.7%)で、最も多くなっている。次いで多いのは「あまり利用しないと思う」(22.3%)で、「是非利用したい」は18.3%である。「是非」と「機会があれば」を合わせ“利用したい”と答えた人の割合は68.0%。

##### 【居住地域別】

\* 上段...人数(単位:人) 下段...構成比(単位:%)

		全体	是非利用 したい	機会があ れば利用 したい	あまり利 用しない と思う	わから ない	無回答
合計		1459 100.0	267 18.3	725 49.7	326 22.3	91 6.2	50 3.4
居住 地域	F9 本庁管内(中央地 域)	331 100.0	63 19.0	152 45.9	85 25.7	20 6.0	11 3.3
	元八王子・恩方・ 川口(西部地域)	237 100.0	48 20.3	113 47.7	46 19.4	16 6.8	14 5.9
	浅川・横山・館 (西南部地域)	288 100.0	43 14.9	156 54.2	58 20.1	21 7.3	10 3.5
	加住・石川(北部 地域)	110 100.0	37 33.6	50 45.5	18 16.4	3 2.7	2 1.8
	由井・北野(東南 部地域)	216 100.0	33 15.3	109 50.5	54 25.0	13 6.0	7 3.2
	由木・由木東・南 大沢(東部地域)	242 100.0	39 16.1	127 52.5	58 24.0	13 5.4	5 2.1

「是非利用したい」のポイントは加住・石川(北部地域)で圧倒的に高く、また、元八王子・恩方・川口(西部地域)や本庁管内(中央地域)でもやや高くなっている。

「機会があれば利用したい」は浅川・横山・館(西南部地域)でポイントが高く、市全体を4.5ポイント上回っている。

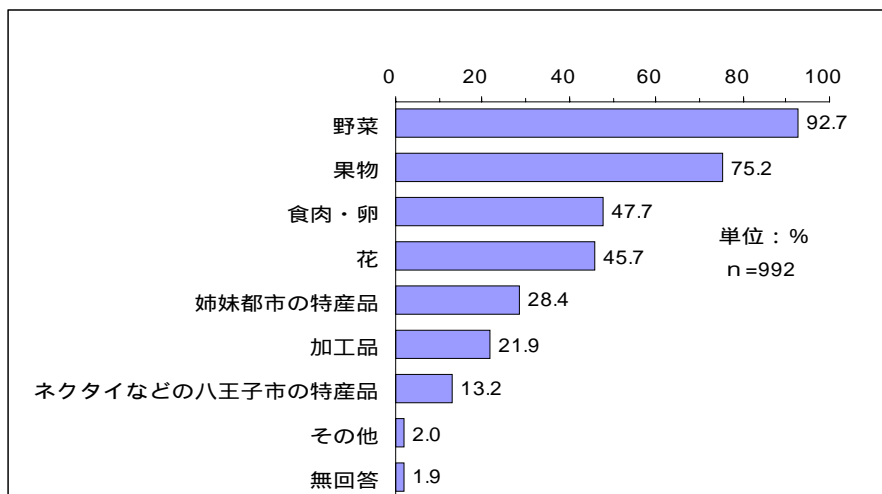
#### (4) - 2 直売所に期待する品目

##### 「野菜」(9割超)「果物」(7割5分)の答えが多い

(問41で「1 是非利用したい」または「2 機会があれば利用したい」とお答えの方に)

問41-1 あなたは、道の駅に併設する大型農産物直売所にどんな品物があれば買いに行きますか。

(はいくつでも)



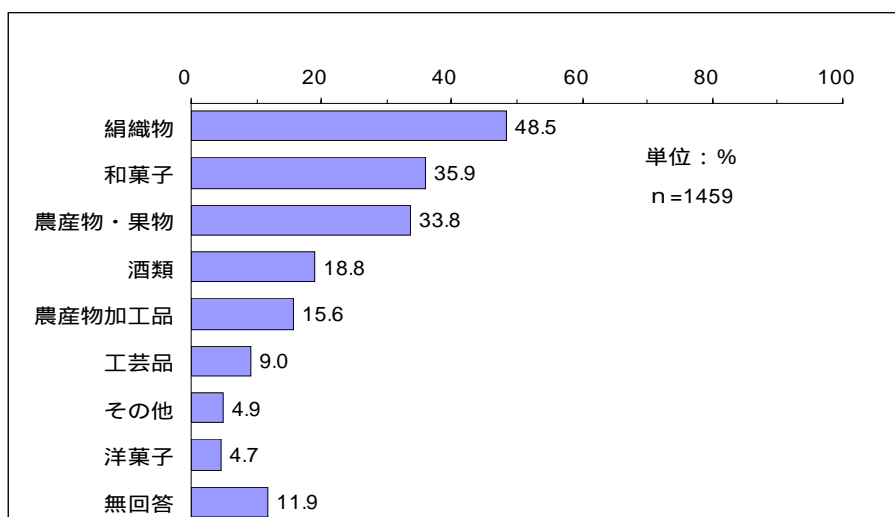
「野菜」という回答が圧倒的に多く90%超を占めている。

次いで「果物」という答えが多く(75.2%)、「食肉・卵」、「花」などがそれに続いている。

#### (4) - 3 八王子のイメージの品物

##### 八王子のお土産 = 「絹織物」、「和菓子」、「農産物・果物」等のイメージ

問42 道の駅に併設する大型農産物直売所で八王子関連の特産品を販売することも検討しているところですが、あなたが八王子のお土産としてイメージするのはどんな品物ですか。(はいくつでも)



半分弱が「絹織物」を回答している。

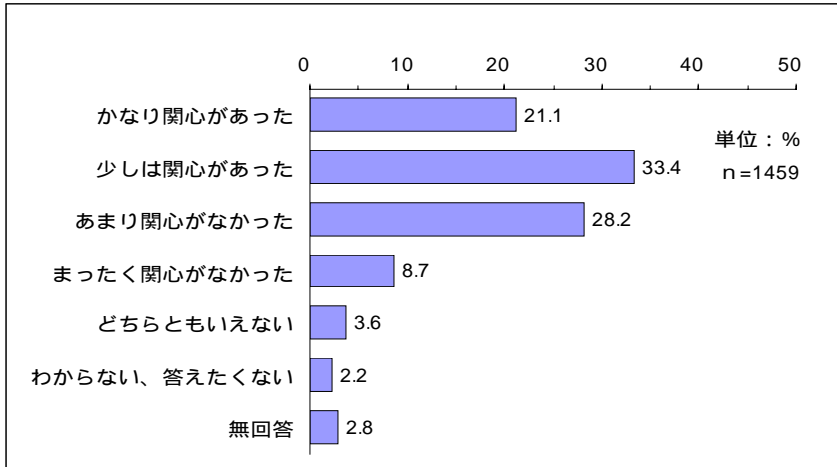
次いで「和菓子」(35.9%)、「農産物・果物」(33.8%)が多く挙げられ、さらに「酒類」(18.8%)等がそれらに続いている。

## 7 市政選挙

### (1) 市政選挙への関心の有無

“関心があった”という人約55%、“関心がなかった”人約37%

問43 平成15年4月に市議会議員選挙が、16年1月に市長選挙がありました。あなたはこの選挙に関心がありましたか。(は1つだけ)



「少しは関心があった」(33.4%)との回答が最も多いが、第2位には「あまり関心がなかった」(28.2%)が入っている。

「かなり」と「少しは」を合わせて“関心があった”とする人の割合は54.5%、「あまり」と「まったく」を合算して“関心がなかった”とする人の割合は36.9%となっている。

#### 【性別/年齢別】

\* 上段...人数(単位:人) 下段...構成比(単位:%)

		全体	かなり関心があった	少しは関心があった	あまり関心がなかった	まったく関心がなかった	どちらともいえない	わからない、答えたくない	無回答
合計		1459	308	487	411	127	53	32	41
		100.0	21.1	33.4	28.2	8.7	3.6	2.2	2.8
性別	F1 男性	636	147	211	177	57	11	11	22
		100.0	23.1	33.2	27.8	9.0	1.7	1.7	3.5
性別	女性	790	152	266	227	67	39	21	18
		100.0	19.2	33.7	28.7	8.5	4.9	2.7	2.3
年齢	F2 20歳代	175	18	48	66	27	10	6	0
		100.0	10.3	27.4	37.7	15.4	5.7	3.4	0.0
	30歳代	269	33	87	84	41	10	11	3
		100.0	12.3	32.3	31.2	15.2	3.7	4.1	1.1
	40歳代	225	30	82	70	23	11	2	7
		100.0	13.3	36.4	31.1	10.2	4.9	0.9	3.1
	50歳代	291	53	106	94	15	8	6	9
	100.0	18.2	36.4	32.3	5.2	2.7	2.1	3.1	
年齢	60~64歳	169	52	55	43	7	7	0	5
		100.0	30.8	32.5	25.4	4.1	4.1	0.0	3.0
	65歳以上	298	111	102	46	11	5	7	16
	100.0	37.2	34.2	15.4	3.7	1.7	2.3	5.4	

「かなり関心があった」という回答は女性より男性のポイントが高く、また年齢が上昇するほど割合が大きくなっている。「どちらともいえない」は女性が男性より3.2ポイント高い。

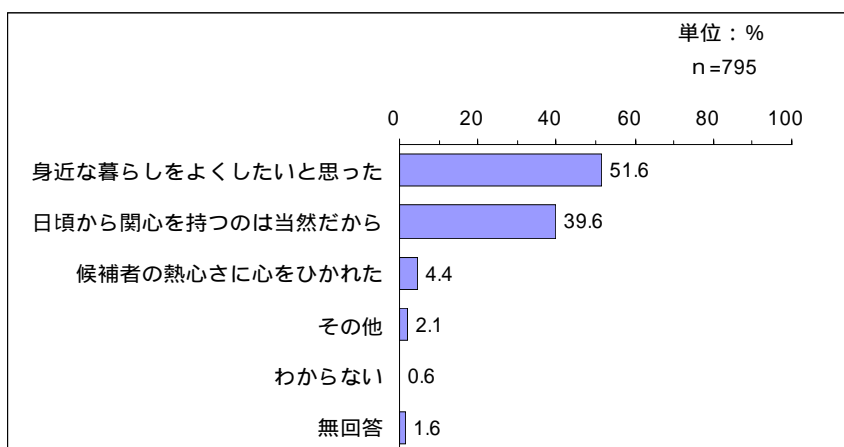


## (2) 選挙に関心を持った理由

**「身近な暮らしをよくしたい」から・「関心を持つのが当然だから」**

(問43で、「1 かなり関心があった」または「2 少しは関心があった」とお答えの方に)

問43-1 あなたがこれらの選挙に関心を持った主な理由は何ですか。( は1つだけ)



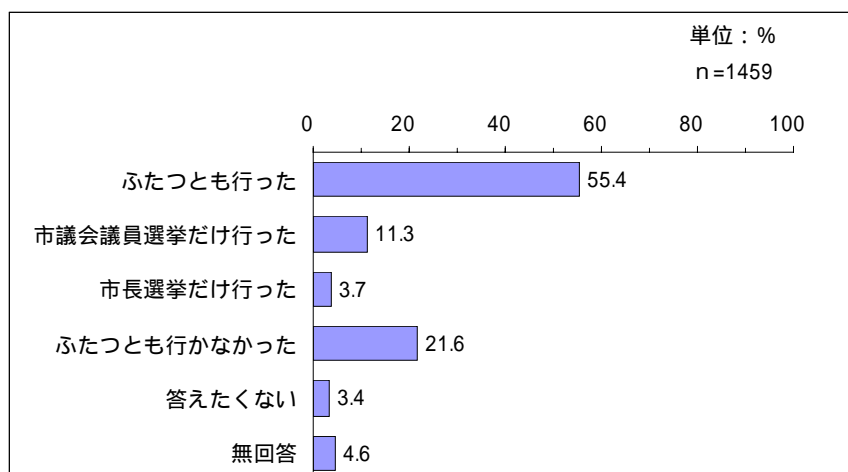
「身近な暮らしをよくしたいと思った」から(第1位・51.6%)、「日頃から関心を持つのは当然だから」(第2位・39.6%)という答えが多くなっている。

## (3) 選挙で実際に投票に行ったか

**「ふたつとも行った」という回答が過半数**

問44 あなたは、その市議会議員選挙や市長選挙で投票に行きましたか。

( は1つだけ)



「ふたつとも行った」との回答が55.4%と最も多いが、2番目に多いのは「ふたつとも行かなかった」(21.6%)となっている。

いずれか一方だけ行ったという人の中では、「市議会議員選挙だけ」という人(11.3%)の方が、「市長選挙だけ」という人(3.7%)よりも多い。

【性別 / 年齢別 / 居住地域別】

\* 上段...人数 (単位:人) 下段...構成比 (単位:%)

		全体	ふたつとも行った	市議会議員選挙だけ行った	市長選挙だけ行った	ふたつとも行かなかった	答えたくない	無回答
合計		1459 100.0	808 55.4	165 11.3	54 3.7	315 21.6	50 3.4	67 4.6
F1 性別	男性	636 100.0	370 58.2	64 10.1	23 3.6	140 22.0	16 2.5	23 3.6
	女性	790 100.0	421 53.3	100 12.7	30 3.8	170 21.5	31 3.9	38 4.8
F2 年齢	20歳代	175 100.0	63 36.0	20 11.4	12 6.9	69 39.4	8 4.6	3 1.7
	30歳代	269 100.0	118 43.9	34 12.6	8 3.0	84 31.2	10 3.7	15 5.6
	40歳代	225 100.0	118 52.4	31 13.8	10 4.4	48 21.3	11 4.9	7 3.1
	50歳代	291 100.0	158 54.3	46 15.8	9 3.1	56 19.2	11 3.8	11 3.8
	60～64歳	169 100.0	119 70.4	13 7.7	5 3.0	24 14.2	3 1.8	5 3.0
	65歳以上	298 100.0	217 72.8	20 6.7	9 3.0	28 9.4	4 1.3	20 6.7
	F9 居住地域	本庁管内(中央地域)	331 100.0	178 53.8	42 12.7	11 3.3	65 19.6	18 5.4
元八王子・恩方・川口(西部地域)		237 100.0	134 56.5	36 15.2	11 4.6	43 18.1	6 2.5	7 3.0
浅川・横山・館(西南部地域)		288 100.0	160 55.6	26 9.0	13 4.5	67 23.3	6 2.1	16 5.6
加住・石川(北部地域)		110 100.0	65 59.1	11 10.0	3 2.7	23 20.9	2 1.8	6 5.5
由井・北野(東南部地域)		216 100.0	133 61.6	21 9.7	8 3.7	40 18.5	7 3.2	7 3.2
由木・由木東・南大沢(東部地域)		242 100.0	120 49.6	26 10.7	7 2.9	68 28.1	9 3.7	12 5.0

「ふたつとも行った」の割合が、男性で女性よりも大きく、約5ポイントの差がみられる。

年齢別でみると、20歳代では「ふたつとも行かなかった」の割合が最も大きく(39.4%)、「ふたつとも行った」(36.0%)を上回るが、「ふたつとも行った」は年齢の上昇とともに割合を増し、60～64歳と65歳以上では70%を超えている。

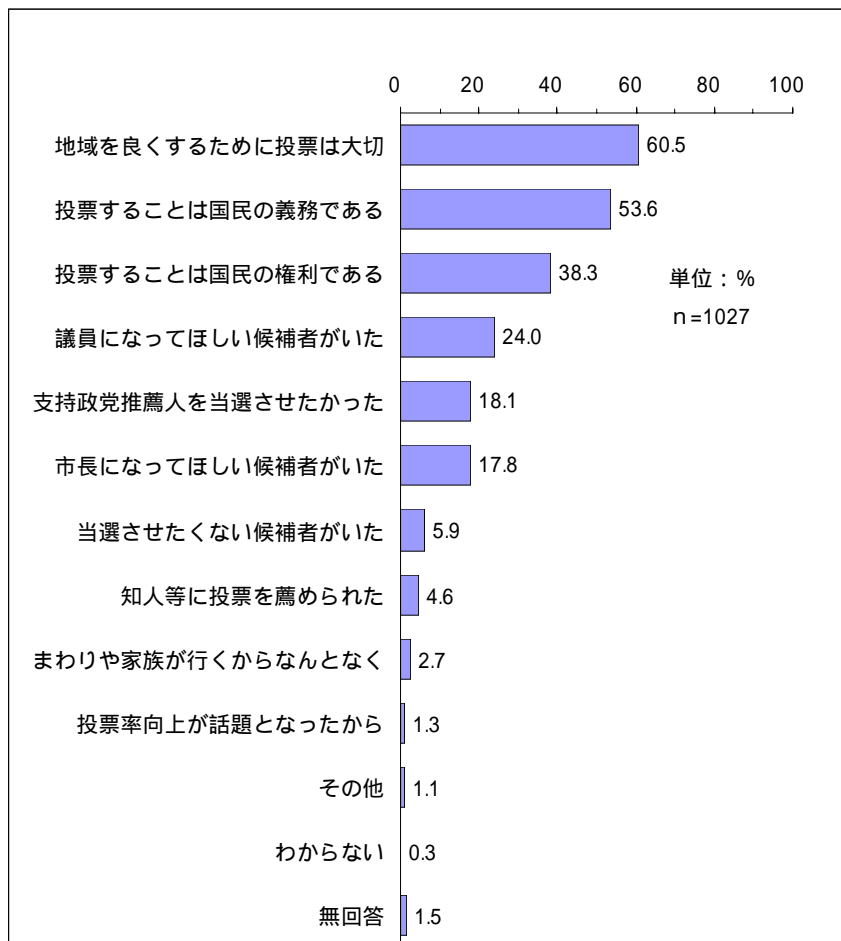
居住地域別では、由木・由木東・南大沢(東部地域)で「ふたつとも行った」のポイントが他の地域や市全体より低く、「ふたつとも行かなかった」のポイントが高くなっている。

#### (4) 投票に行った主な理由

**「地域を良くするために投票は大切」だと思っから、が最多**

(問 44 で、「1 ふたつとも行った」「2 市議会議員選挙だけ行った」「3 市長選挙だけ行った」とお答えの方に)

問 44 - 1 あなたが投票に行かれた主な理由は、次のどれですか。(はいいくつでも)



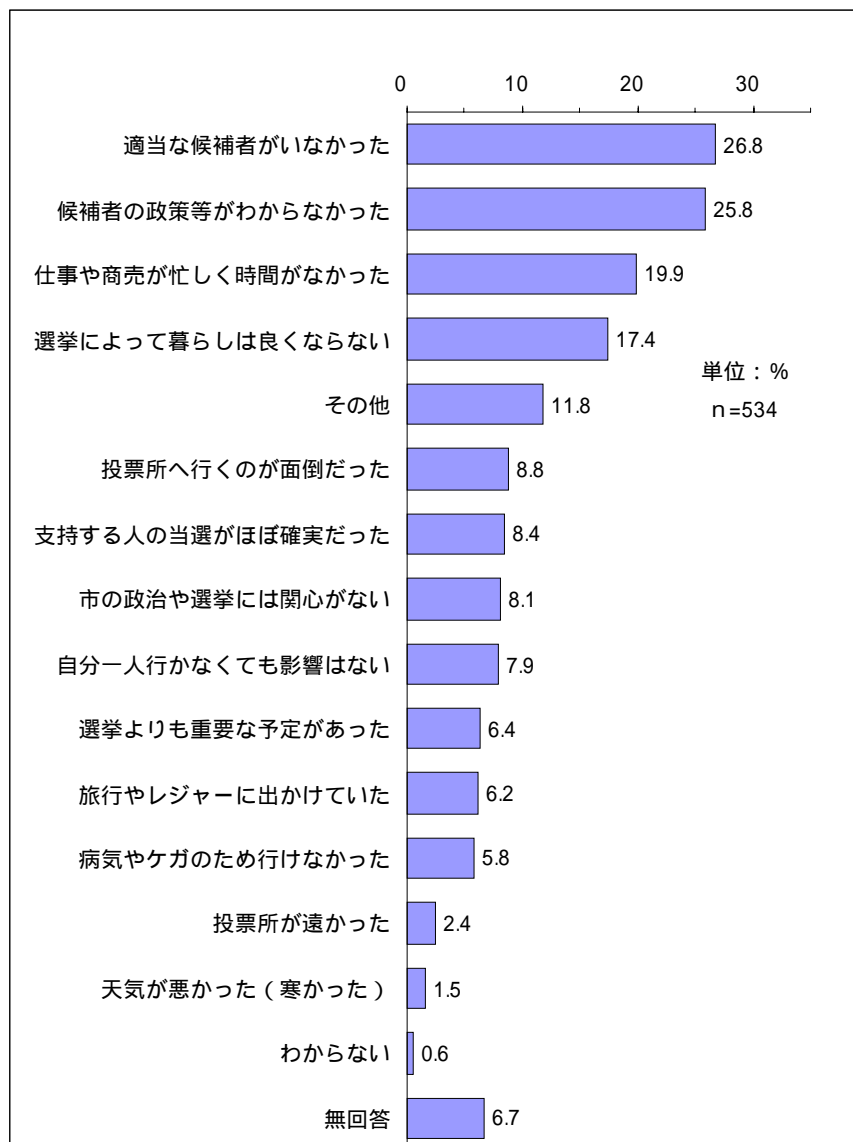
「地域を良くするために投票は大切」だと思っから、との回答が最も多くなっている(60.5%)、第2位は「投票することは国民の義務である」と思っから(53.6%)。

### (5) 投票に行かなかった主な理由

「**適当な候補者がいなかった**」、「**候補者の政策等がわからなかった**」  
など

(問44で、「2 市議会議員選挙だけ行った」「3 市長選挙だけ行った」「4 ふたつとも行かなかった」とお答えの方に)

問44-2 あなたがふたつとも、またはどちらか、投票に行かなかった主な理由は次のどれですか。(はいいくつでも)

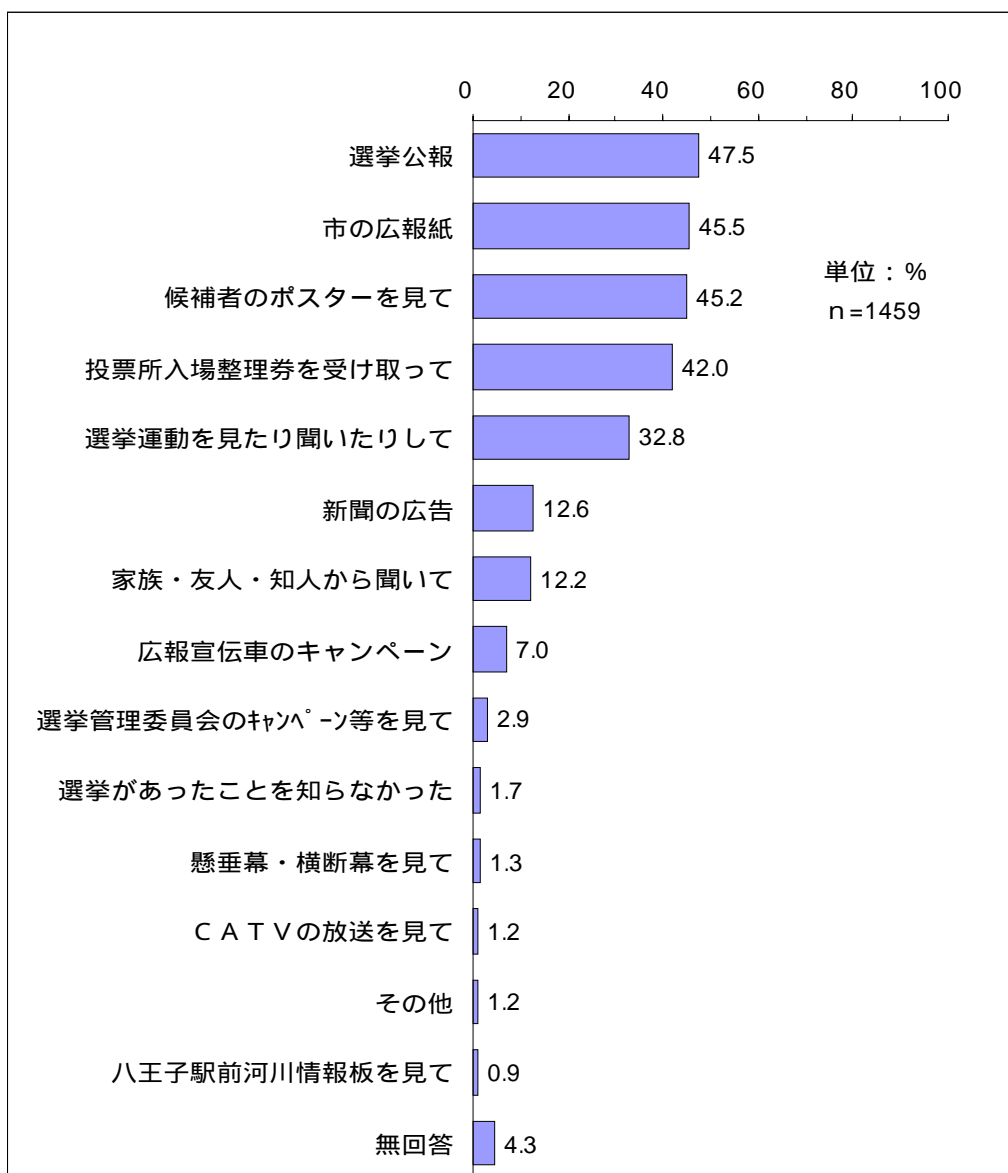


「**適当な候補者がいなかった**」こと(26.8%)、「**候補者の政策等がわからなかった**」こと(25.8%)、「**仕事や商売が忙しく時間がなかった**」こと(19.9%)などが多く挙げられている。

(6) 選挙のことをどこで知ったか

「選挙公報」、「市の広報紙(選挙特集号)」、「候補者のポスター」を通じて、が多い

問 45 あなたは、市議会議員選挙や市長選挙が行われることをどこで知りましたか。(はいいくつでも)

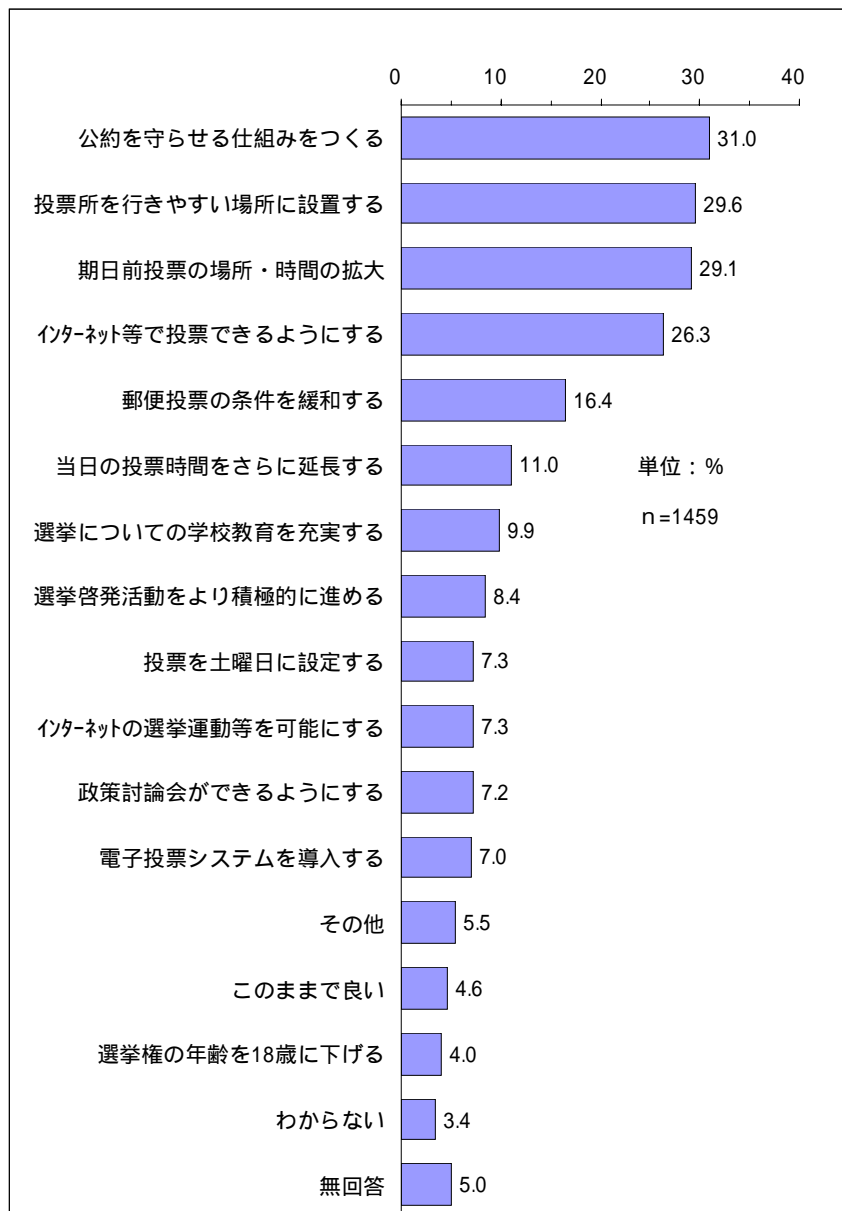


「選挙公報」という答えが40%台後半(47.5%)で最も多く、第2、3位には45%台の「市の広報紙(選挙特集号)」(45.5%)、「候補者のポスターを見て」(45.2%)がそれぞれ入っている。

## (7) 投票率を上げるための改善策

### 「候補者に公約を守らせるような仕組みをつくる」との回答が最多

問 46 投票率を上げるために、これまで投票時間の延長や不在者投票をやすくするなど改善が行われてきましたが、さらに投票率を上げるための改善策として、あなたの考えに最も近いものはどれですか。( は3つまで)



「候補者に公約を守らせる仕組みをつくる」という回答がいちばん多くみられる(31.0%)。以下、「投票所を駅やコンビニエンスストアなど行きやすい場所に設置する」(29.6%)、「期日前投票の場所・時間の拡大」(29.1%)、「インターネット等で投票できるようにする」(26.3%)などの答えが多く挙げられている。

【性別／年齢別／居住地域別】

\* 上段...人数(単位:人) 下段...構成比(単位:%)

「わからない」・無回答を除く

		全体	当日の投票時間をさらに延長する	投票を土曜日に設定する	期日前投票の場所・時間の拡大	電子投票システムを導入する	投票所を行きやすい場所に設置する	インターネット等で投票できるようにする	郵便投票の条件を緩和する	政策討論会ができるようにする	インターネットの選挙運動等を可能にする	公約を守らせる仕組みをつくる	選挙についての学校教育を充実する	選挙啓発活動をより積極的に進める	選挙権の年齢を18歳に下げ	その他	このままで良い
合計		1459 100.0	161 11.0	106 7.3	425 29.1	102 7.0	432 29.6	383 26.3	240 16.4	105 7.2	106 7.3	453 31.0	145 9.9	122 8.4	59 4.0	80 5.5	67 4.6
性別	男性	636 100.0	70 11.0	50 7.9	191 30.0	55 8.6	177 27.8	165 25.9	96 15.1	67 10.5	51 8.0	218 34.3	60 9.4	60 9.4	31 4.9	49 7.7	33 5.2
	女性	790 100.0	87 11.0	53 6.7	226 28.6	43 5.4	244 30.9	210 26.6	141 17.8	35 4.4	55 7.0	226 28.6	85 10.8	62 7.8	24 3.0	30 3.8	33 4.2
年齢	20歳代	175 100.0	28 16.0	14 8.0	49 28.0	10 5.7	67 38.3	69 39.4	26 14.9	8 4.6	20 11.4	57 32.6	23 13.1	7 4.0	5 2.9	11 6.3	2 1.1
	30歳代	269 100.0	20 7.4	22 8.2	79 29.4	21 7.8	109 40.5	118 43.9	48 17.8	11 4.1	36 13.4	78 29.0	19 7.1	11 4.1	7 2.6	13 4.8	5 1.9
	40歳代	225 100.0	23 10.2	10 4.4	64 28.4	14 6.2	75 33.3	85 37.8	33 14.7	16 7.1	25 11.1	73 32.4	24 10.7	12 5.3	11 4.9	14 6.2	7 3.1
	50歳代	291 100.0	30 10.3	19 6.5	99 34.0	14 4.8	89 30.6	51 17.5	50 17.2	23 7.9	18 6.2	94 32.3	20 6.9	33 11.3	10 3.4	17 5.8	10 3.4
	60~64歳	169 100.0	22 13.0	10 5.9	52 30.8	14 8.3	33 19.5	21 12.4	31 18.3	15 8.9	3 1.8	51 30.2	23 13.6	22 13.0	7 4.1	12 7.1	13 7.7
	65歳以上	298 100.0	33 11.1	30 10.1	75 25.2	23 7.7	48 16.1	31 10.4	49 16.4	28 9.4	4 1.3	92 30.9	35 11.7	37 12.4	18 6.0	12 4.0	29 9.7
居住地域	本庁管内(中央地域)	331 100.0	37 11.2	21 6.3	108 32.6	23 6.9	105 31.7	85 25.7	51 15.4	28 8.5	23 6.9	104 31.4	29 8.8	35 10.6	16 4.8	15 4.5	12 3.6
	元八王子・恩方・川口(西部地域)	237 100.0	32 13.5	13 5.5	66 27.8	18 7.6	60 25.3	39 16.5	41 17.3	14 5.9	15 6.3	73 30.8	28 11.8	22 9.3	11 4.6	19 8.0	12 5.1
	浅川・横山・館(西南部地域)	288 100.0	32 11.1	24 8.3	83 28.8	17 5.9	79 27.4	57 19.8	42 14.6	25 8.7	12 4.2	95 33.0	33 11.5	25 8.7	6 2.1	16 5.6	18 6.3
	加住・石川(北部地域)	110 100.0	16 14.5	10 9.1	31 28.2	6 5.5	31 28.2	31 28.2	27 24.5	3 2.7	4 3.6	34 30.9	8 7.3	8 7.3	4 3.6	3 2.7	5 4.5
	由井・北野(東南部地域)	216 100.0	23 10.6	15 6.9	64 29.6	21 9.7	77 35.6	74 34.3	30 13.9	14 6.5	15 6.9	58 26.9	21 9.7	19 8.8	6 2.8	11 5.1	11 5.1
	由木・由木東・南大沢(東部地域)	242 100.0	19 7.9	21 8.7	68 28.1	14 5.8	72 29.8	87 36.0	42 17.4	19 7.9	35 14.5	78 32.2	24 9.9	12 5.0	14 5.8	15 6.2	6 2.5

「電子投票システムを導入する」、「政策討論会ができるようにする」などの選択肢は、女性よりも男性で多くの支持を得ている。他方、「投票所を行きやすい場所に設置する」、「郵便投票の条件を緩和する」等の選択肢については、男性よりも女性に多くの支持を得ている。

「候補者に公約を守らせる仕組みをつくる」は、すべての年代層でまんべんなく支持されていることが分かる。

20歳代から40歳代までの人では、「投票所を行きやすい場所に設置する」や「インターネット等で投票できるようにする」のポイントが、全体や他の年齢層と比べてかなり高くなっている。

加住・石川(北部地域)では、「郵便投票の条件を緩和する」、「当日の投票時間をさらに延長する」のポイントが、市全体や他の地域と比べて高くなっている。

由井・北野(東南部地域)では、「投票所を行きやすい場所に設置する」、「インターネット等で投票できるようにする」のポイントが高くなっている。

由木・由木東・南大沢(東部地域)では「インターネットの選挙運動等を可能にする」のポイントが、市全体のほぼ2倍近くと、高くなっている。

## 8 スポーツ振興の推進

### (1) 運動・スポーツを行う場所や機会

「個人で自由に運動している」、「全く運動していない」が多い

問 47 あなたは、どのような場所や機会で、どのくらい運動・スポーツを行っていますか。

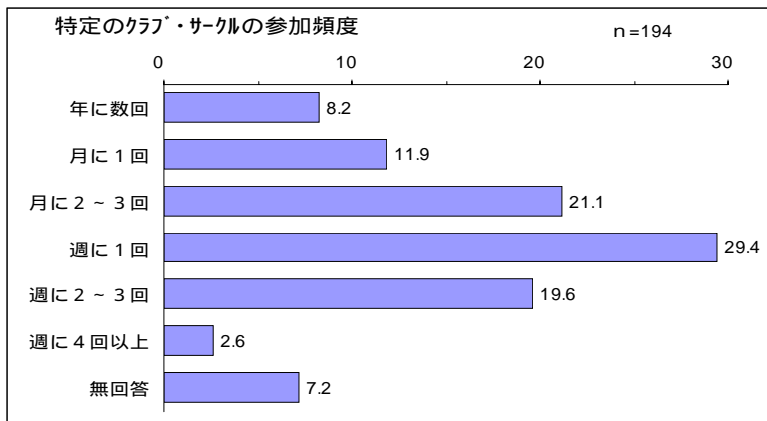
あてはまる番号に全て をつけ、実施回数を下の欄から選び、その数字を記入してください。

No.	カテゴリー名	基数(人)	構成比(%)
1	特定のクラブ・サークルに参加	194	13.3
2	複数のクラブ・サークルに参加	21	1.4
3	大会や競技会に参加	62	4.2
4	教室に参加	58	4.0
5	個人で自由に行っている	670	45.9
6	民間スポーツクラブ等に参加	82	5.6
7	全く運動していない	414	28.4
	無回答	119	8.2
	全体	1459	100.0

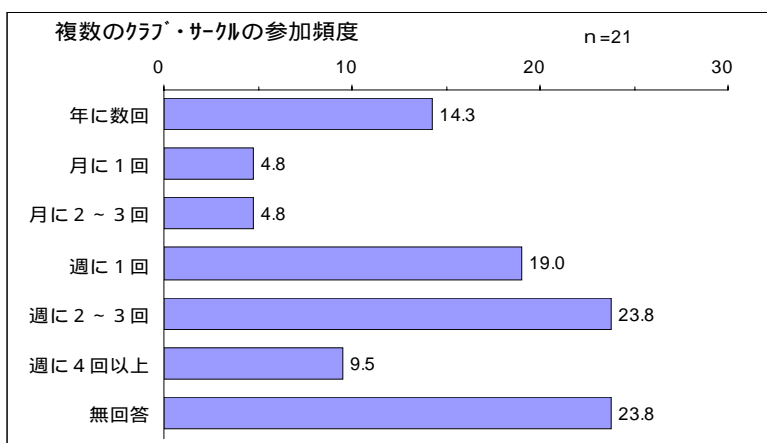
場所や機会としては、「個人で自由に運動している」という人が圧倒的に多く、45.9%を占めている。

次いで多いのは「全く運動していない」の28.4%となっている。

#### 【頻度】[ \* 単位 : % ]

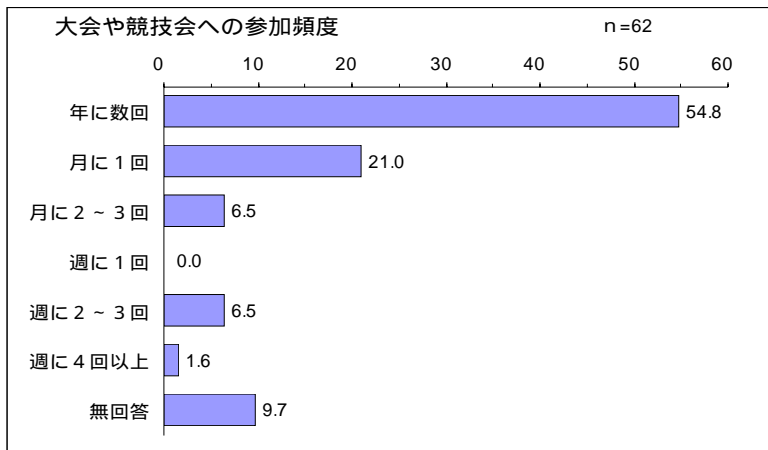


「週に1回」が29.4%と、最も多くなっている。

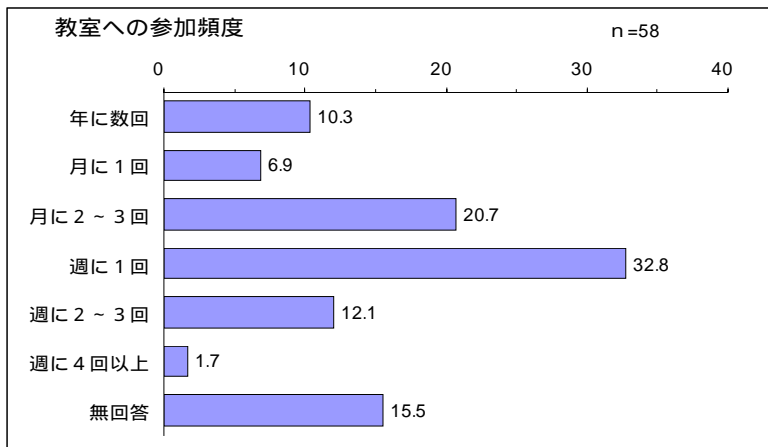


無回答のほか、「週に2~3回」との答えが最も多くなっている。

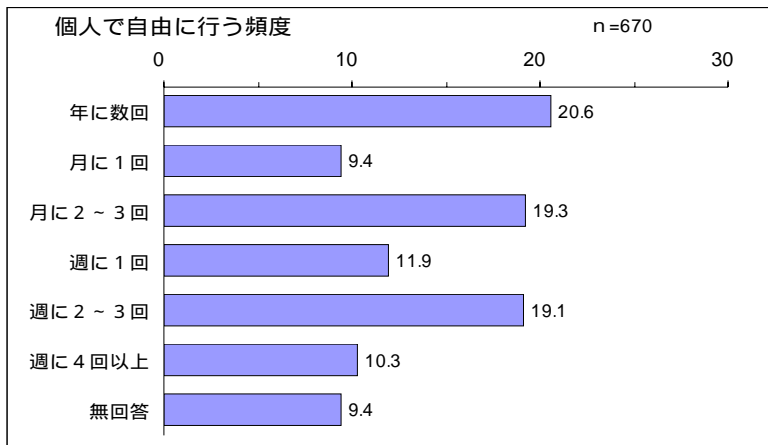




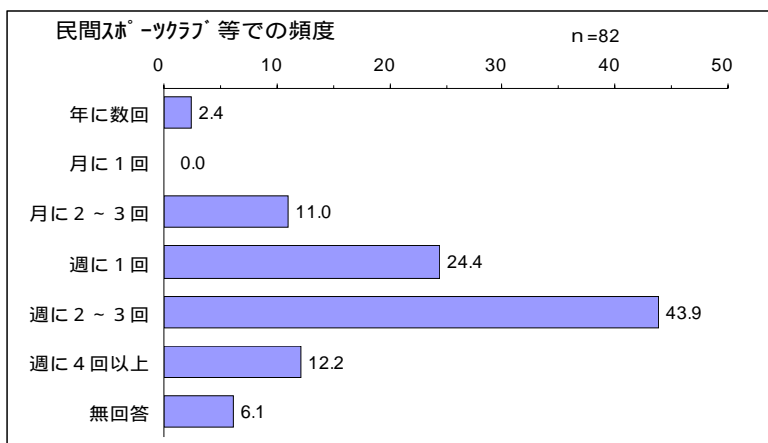
「年に数回」が過半数で、最も多くなっている。



「週に1回」がいちばん多く、次いで「月に2~3回」の順になっている。



「年に数回」が20.6%と最も多いが、「月に2~3回」(19.3%)、「週に2~3回」(19.1%)の答えも僅差で続いている。



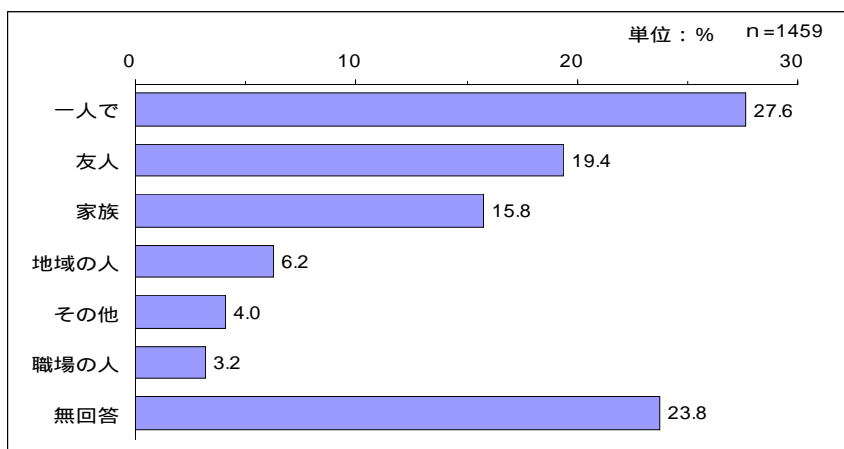
「週に2~3回」とする回答が最も多い。第2位は「週に1回」。

## (2) 運動・スポーツを一緒にする人

### 運動・スポーツは「一人で」しているという人が多い

問 48 あなたは、運動・スポーツを主にどのような人と一緒にしていますか。

( は1つだけ)



「一人で」している、という回答が最も多い(30%弱)が、無回答を挟んで、「友人」と、という回答も20%弱に達している。

【性別/年齢別】

\* 上段...人数(単位:人) 下段...構成比(単位:%)

		全体	家族	職場の人	友人	地域の人	一人で	その他	無回答
合計		1459	230	46	283	91	403	59	347
		100.0	15.8	3.2	19.4	6.2	27.6	4.0	23.8
性別	F1 男性	636	81	38	123	36	209	22	127
		100.0	12.7	6.0	19.3	5.7	32.9	3.5	20.0
	女性	790	144	8	156	53	185	36	208
		100.0	18.2	1.0	19.7	6.7	23.4	4.6	26.3
年齢	F2 20歳代	175	19	7	69	3	41	9	27
		100.0	10.9	4.0	39.4	1.7	23.4	5.1	15.4
	30歳代	269	71	17	47	9	71	16	38
		100.0	26.4	6.3	17.5	3.3	26.4	5.9	14.1
	40歳代	225	46	11	38	17	59	9	45
		100.0	20.4	4.9	16.9	7.6	26.2	4.0	20.0
	50歳代	291	41	7	52	15	78	11	87
	100.0	14.1	2.4	17.9	5.2	26.8	3.8	29.9	
	60~64歳	169	14	4	36	17	50	6	42
		100.0	8.3	2.4	21.3	10.1	29.6	3.6	24.9
	65歳以上	298	34	0	36	29	94	7	98
		100.0	11.4	0.0	12.1	9.7	31.5	2.3	32.9

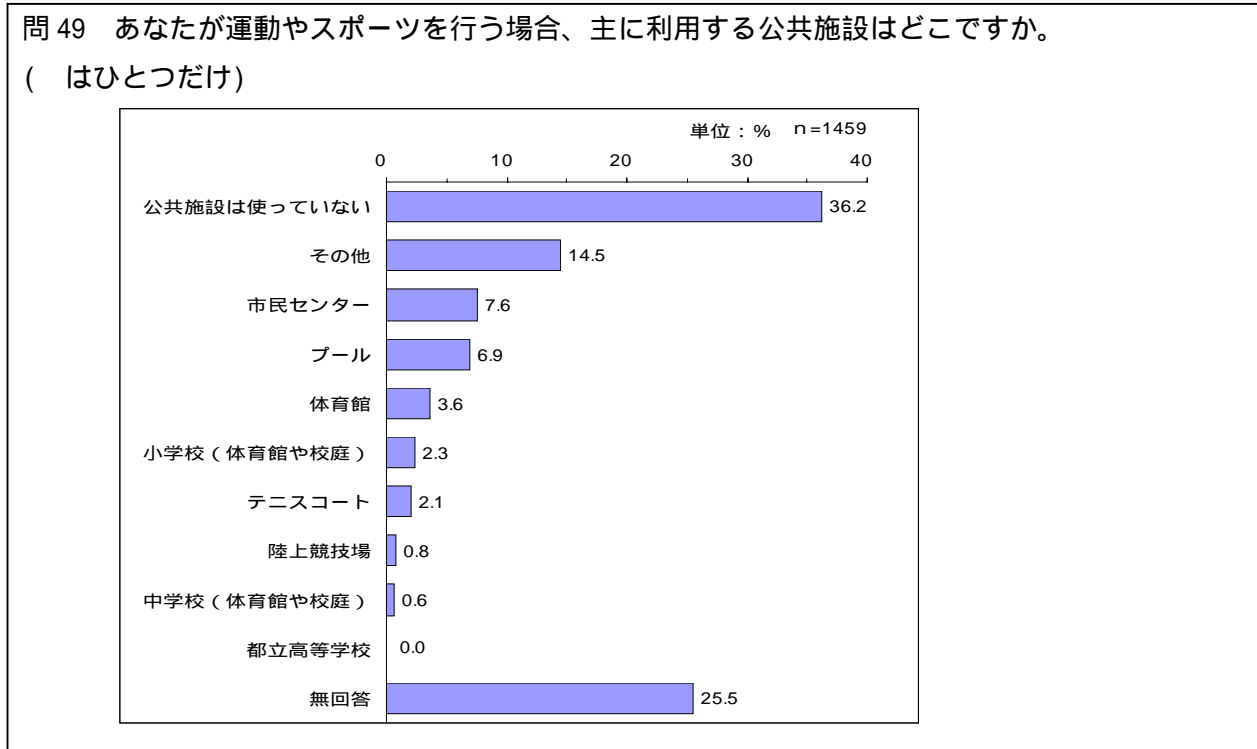
男性では全体や女性に比べ「一人で」のポイントが高く、女性とは10ポイント近い差がついている。また男性では「職場の人」のポイントも女性より5ポイントも高くなっている。

女性では逆に、全体や男性よりも「家族」のポイントが高くなっている(男性とは5.5ポイント差)。

年齢が高くなるほど「一人で」運動・スポーツをするという人のポイントが高くなる傾向が見てとれる。また、20歳代では「友人」のポイントが全体や他の年代と比べてきわめて高く、65歳以上では反対にかなり低めになっていることが分かる。

### (3) 運動・スポーツを行う公共施設

利用されているものの中では「市民センター」、「プール」、「体育館」など



「公共施設は使っていない」という回答が最も多い(36.2%)が、利用されている公共施設の中では「市民センター」、「プール」、「体育館」などが多く使われていることが分かる。

#### 【居住地域別】

\* 上段...人数(単位:人) 下段...構成比(単位:%)

	全体	体育館	陸上競技場	テニスコート	小学校 (体育館 や校庭)	中学校 (体育館 や校庭)	都立高等 学校	市民セン ター	プール	公共施設 は使って いない	その他	無回答	
合計	1459	52	11	31	34	9	0	111	100	528	211	372	
	100.0	3.6	0.8	2.1	2.3	0.6	0.0	7.6	6.9	36.2	14.5	25.5	
居住 地域	本庁管内(中央地 域)	331	15	4	7	9	1	0	23	21	122	46	83
		100.0	4.5	1.2	2.1	2.7	0.3	0.0	6.9	6.3	36.9	13.9	25.1
	元八王子・恩方・ 川口(西部地域)	237	11	1	2	4	1	0	26	16	77	31	68
		100.0	4.6	0.4	0.8	1.7	0.4	0.0	11.0	6.8	32.5	13.1	28.7
	浅川・横山・館 (西南部地域)	288	3	3	7	5	1	0	17	14	102	53	83
		100.0	1.0	1.0	2.4	1.7	0.3	0.0	5.9	4.9	35.4	18.4	28.8
	加住・石川(北部 地域)	110	1	0	3	3	1	0	11	7	46	9	29
	100.0	0.9	0.0	2.7	2.7	0.9	0.0	10.0	6.4	41.8	8.2	26.4	
由井・北野(東南 部地域)	216	9	1	6	3	2	0	20	22	84	33	36	
	100.0	4.2	0.5	2.8	1.4	0.9	0.0	9.3	10.2	38.9	15.3	16.7	
由木・由木東・南 大沢(東部地域)	242	13	2	6	10	3	0	14	18	84	35	57	
	100.0	5.4	0.8	2.5	4.1	1.2	0.0	5.8	7.4	34.7	14.5	23.6	

元八王子・恩方・川口(西部地域)と加住・石川(北部地域)において、「市民センター」のポイントが高くなっている。また「プール」のポイントは由井・北野(東南部地域)で高い。

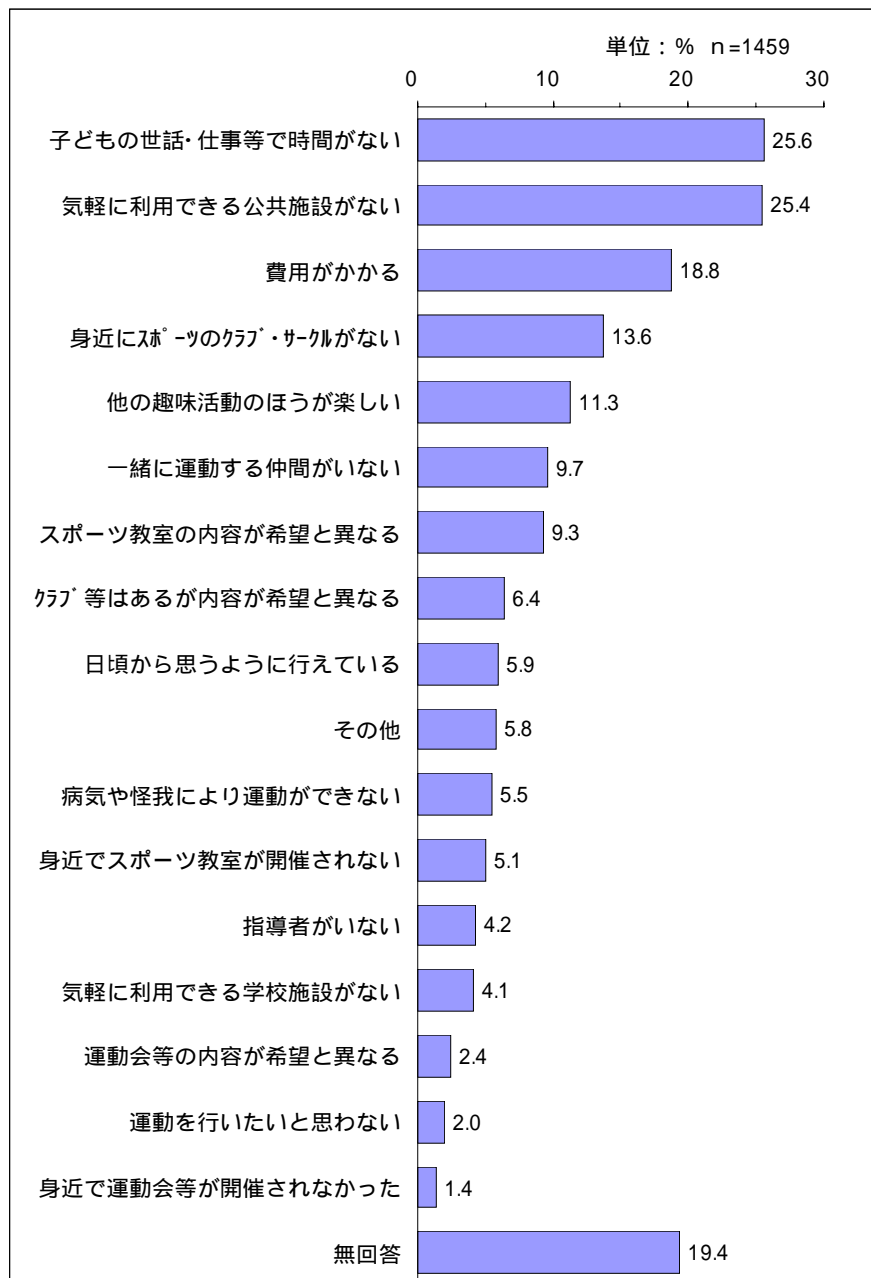
加住・石川と由井・北野では、「公共施設は使っていない」の割合が周辺より大きくなっている。

#### (4) 運動をしない・できない理由

「子どもの世話・仕事や通勤で時間がない」、「身近に気軽に利用できる公共施設がない」などが多い

問 50 日頃、運動を行わなかったり、運動をしたくても思うように行えない主な理由は何ですか。

(はいくつでも)



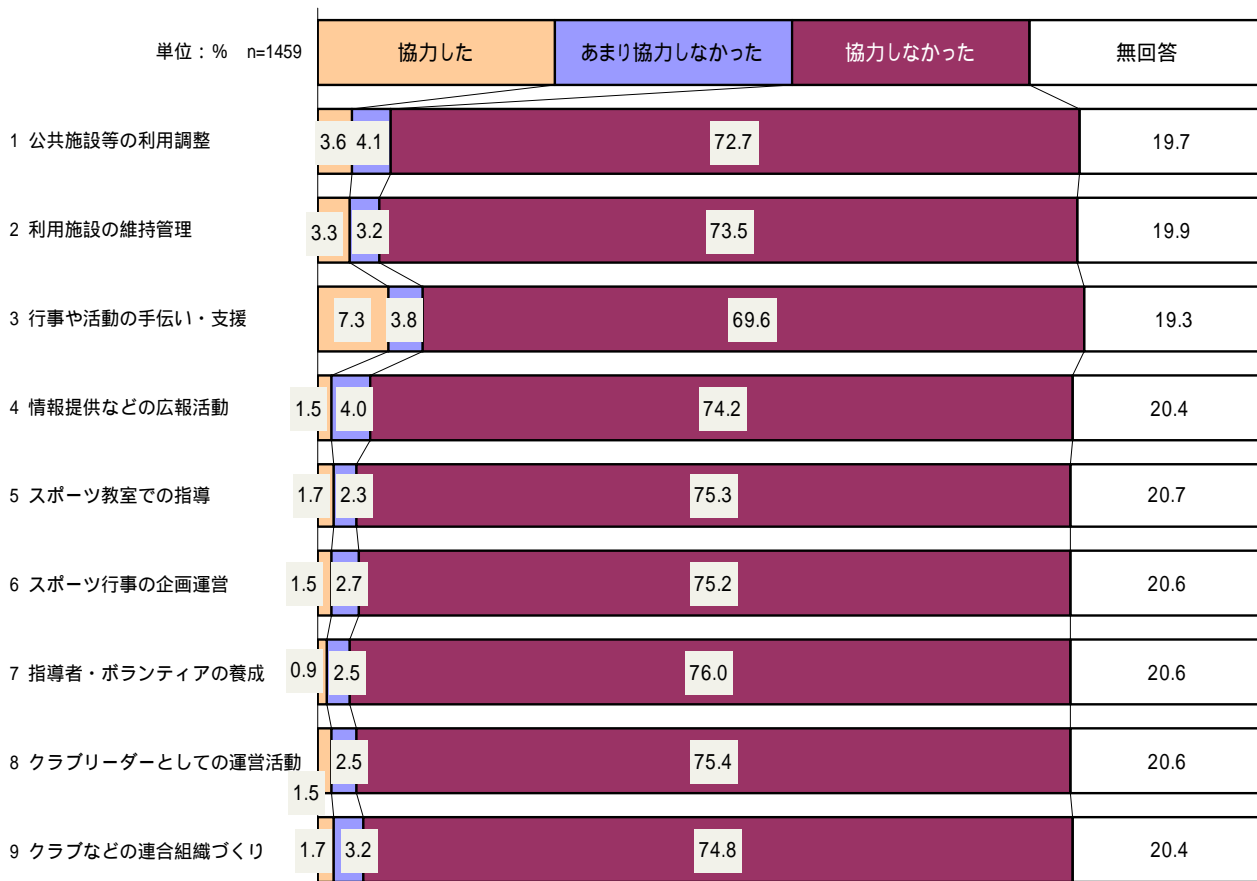
「子どもの世話・仕事や通勤で、運動する時間が作れない」(25.6%)、「身近なところに気軽に自由に利用できる公共施設がない」(25.4%)の選択肢が多く選ばれている。

第3位は「費用がかかる」(18.8%)

( 5 ) 地域のスポーツ・レクリエーション活動への協力

「協力しなかった」との答えが多く、ほとんどの項目で7割を超える

問 51 あなたは、地域のスポーツ・レクリエーション活動について、過去1年間にどのくらい協力しましたか。1～9の各項目それぞれについてお答えください。( はそれぞれ1つずつ)



どの項目についても「協力しなかった」という回答が最も多くなっているが、比較的「協力した」が多くみられる項目としては「3 スポーツ行事や活動の手伝い・支援」(7.3%)、「1 公共スポーツ施設や学校開放施設の利用調整」(3.6%)、「2 利用施設の維持管理」(3.3%)などが挙げられる。

## (6) 総合型地域スポーツクラブの認知度

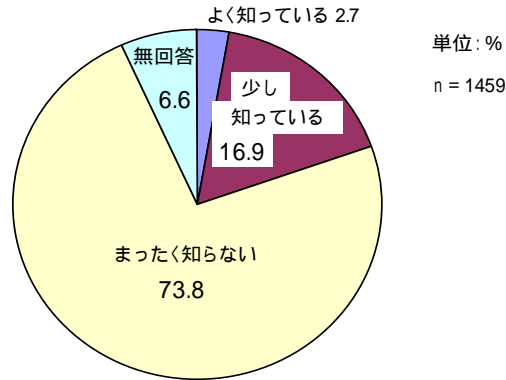
「まったく知らない」という回答が7割5分近い

問 52 あなたは、『総合型地域スポーツクラブ』という言葉を知っていましたか。

『総合型地域スポーツクラブ』

もともとヨーロッパを中心に発展したもので、地域住民が主体となり、運営するスポーツクラブの形態をいう。特徴としては、すべての世代が参加できる。多くの種目が用意され、様々なレベルの教室がある。質の高い指導者が配置されている。スポーツ活動を行う拠点となるスポーツ施設やクラブハウスがある。自主運営（会費制）がなされている。などが挙げられ、会員一人ひとりが『クラブ』の運営に関わりながら経営される組織をいいます。

( は1つだけ)



「まったく知らない」とした答えが圧倒的に多く、75%近くを占めている。

【性別 / 年齢別 / 居住地域別】 \* 上段...人数 (単位: 人) 下段...構成比 (単位: %)

		全体	よく知っ ている	少し知っ ている	まったく 知らない	無回答	
合計		1459	39	246	1077	97	
		100.0	2.7	16.9	73.8	6.6	
性別	男性	636	21	117	459	39	
	女性	790	18	124	596	52	
		100.0	2.3	15.7	75.4	6.6	
年齢	20歳代	175	4	20	145	6	
	30歳代	269	9	28	228	4	
	40歳代	225	7	37	176	5	
	50歳代	291	3	51	222	15	
	60～64歳	169	5	46	106	12	
	65歳以上	298	10	60	177	51	
			100.0	3.0	27.2	62.7	7.1
居住地域	本庁管内(中央地域)	331	7	63	240	21	
	元八王子・恩方・川口(西部地域)	237	6	40	173	18	
	浅川・横山・館(西南部地域)	288	8	44	211	25	
	加住・石川(北部地域)	110	2	18	83	7	
	由井・北野(東南部地域)	216	8	36	165	7	
	由木・由木東・南大沢(東部地域)	242	7	39	184	12	
			100.0	2.9	16.1	76.0	5.0

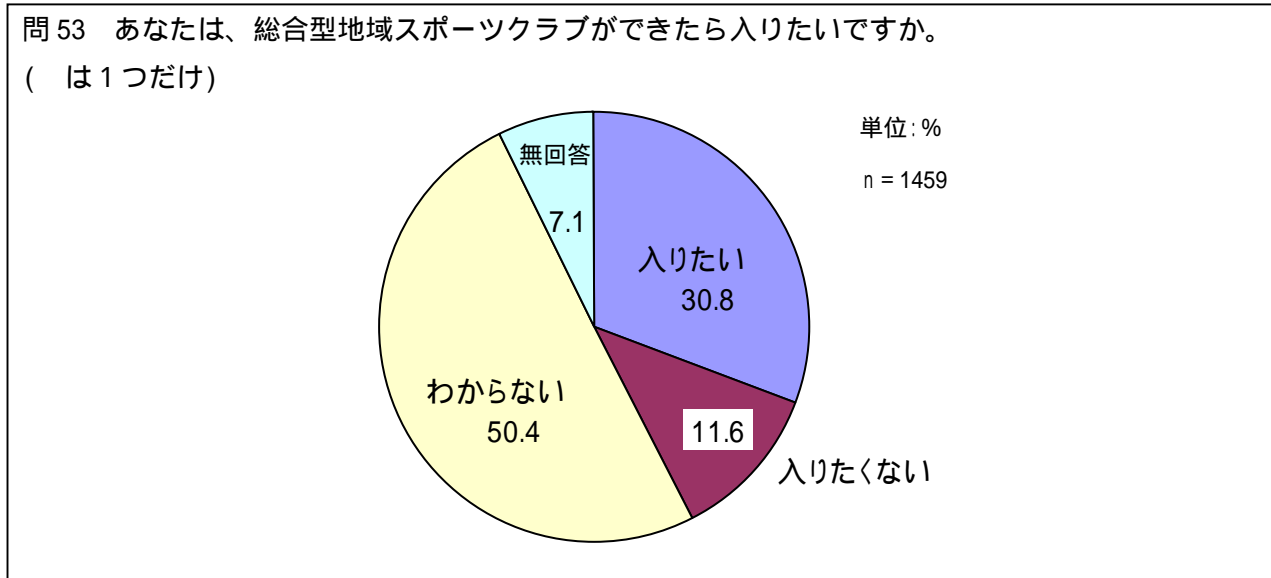
女性より男性でやや“知っている”割合が大きくなっている。

20歳代や30歳代では「まったく知らない」の割合が大きく80%を超えているが、年齢の上昇とともに「まったく知らない」の割合は減少する傾向がみられ、60～64歳では「少し知っている」が3割近くに達している。

本庁管内(中央地域)では、「少し知っている」の割合が周辺地域よりもやや大きくなっている。

(7) 総合型地域スポーツクラブ利用意向

約3割が「入りたい」と回答 若い人ほど関心を持っている



「わからない」とした人が最も多く過半数に達したが、「入りたい」と「入りたくない」では「入りたい」という人の方が多く、3倍近くのポイント差がついている。

【性別 / 年齢別】

\* 上段...人数 (単位: 人) 下段...構成比 (単位: %)

		全体	入りたい	入りたくない	わからない	無回答
合計		1459	450	169	736	104
		100.0	30.8	11.6	50.4	7.1
性別	F1 男性	636	196	72	330	38
		100.0	30.8	11.3	51.9	6.0
性別	女性	790	249	94	386	61
		100.0	31.5	11.9	48.9	7.7
年齢	F2 20歳代	175	63	17	91	4
		100.0	36.0	9.7	52.0	2.3
	30歳代	269	96	25	146	2
		100.0	35.7	9.3	54.3	0.7
	40歳代	225	70	25	119	11
		100.0	31.1	11.1	52.9	4.9
	50歳代	291	85	39	153	14
	100.0	29.2	13.4	52.6	4.8	
年齢	60~64歳	169	51	19	85	14
		100.0	30.2	11.2	50.3	8.3
	65歳以上	298	79	42	122	55
	100.0	26.5	14.1	40.9	18.5	

性別による傾向の大きな違いはみられない。

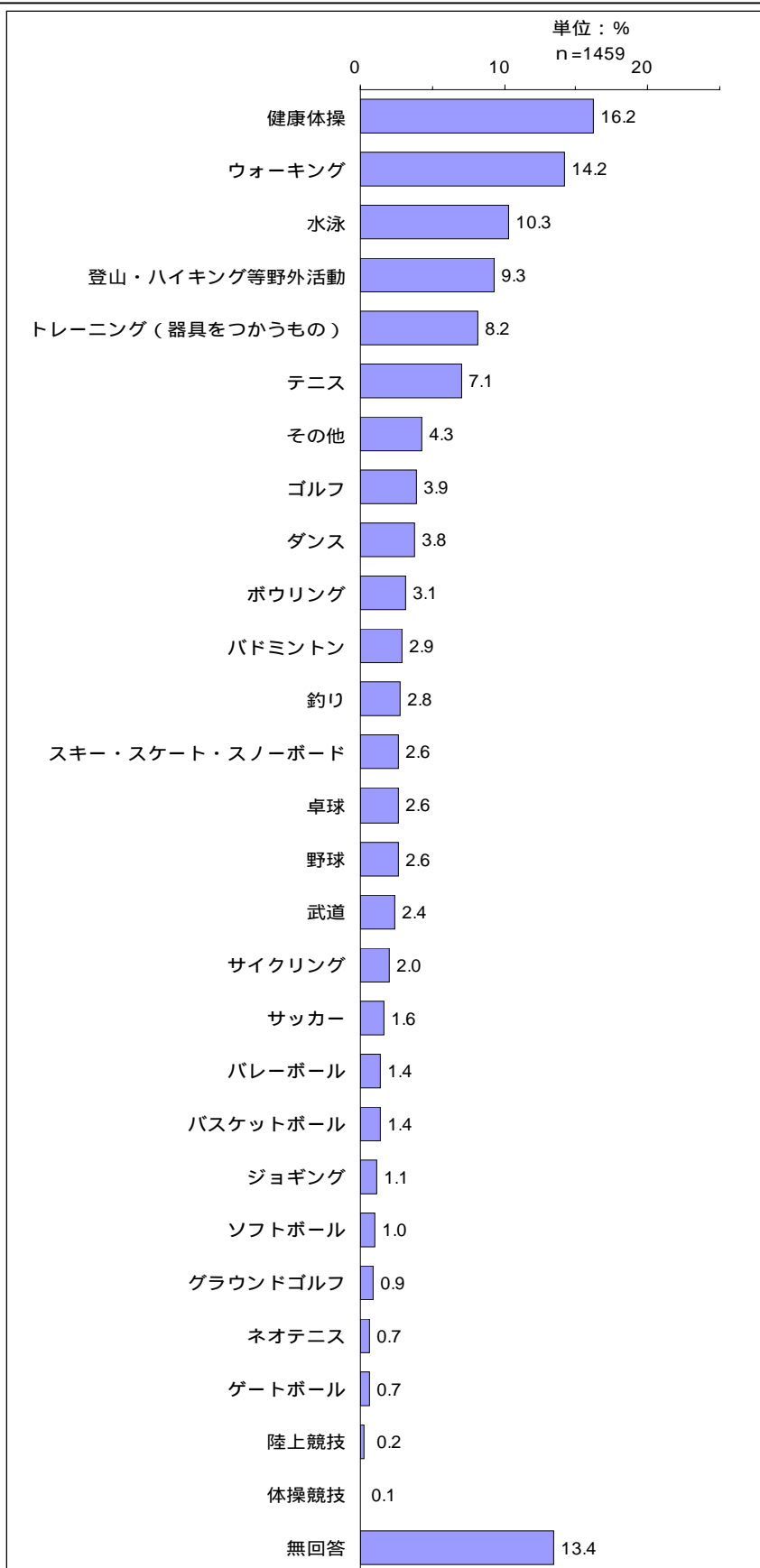
年齢別では、若年層ほど「入りたい」のポイントが高い傾向がみとめられ、逆に高年齢層ほど「入りたくない」のポイントが高くなる傾向がある。

( 8 ) クラブで行いたいスポーツ

「健康体操」、「ウォーキング」、「水泳」などが人気

問 54 あなたは、総合型地域スポーツクラブに入るとしたら、どのようなスポーツを行いたいですか。

( は1つだけ)



「健康体操」が最も多く選ばれている種目である(16.2%)。

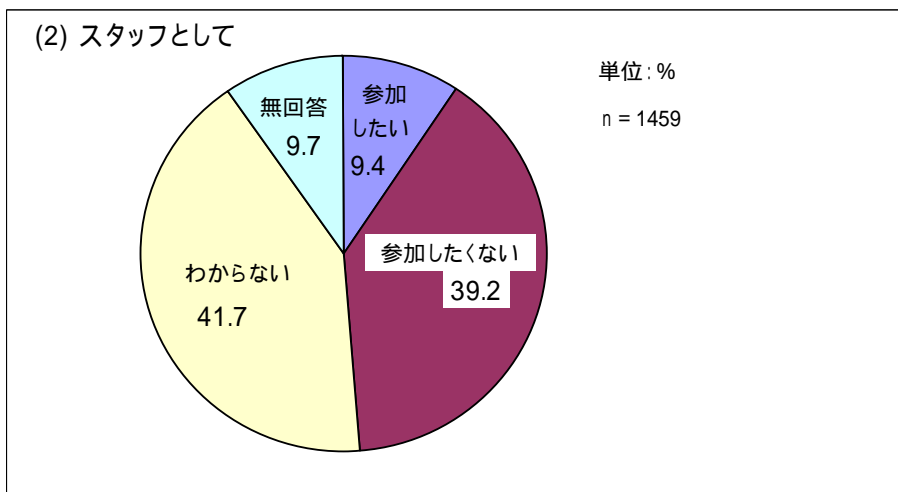
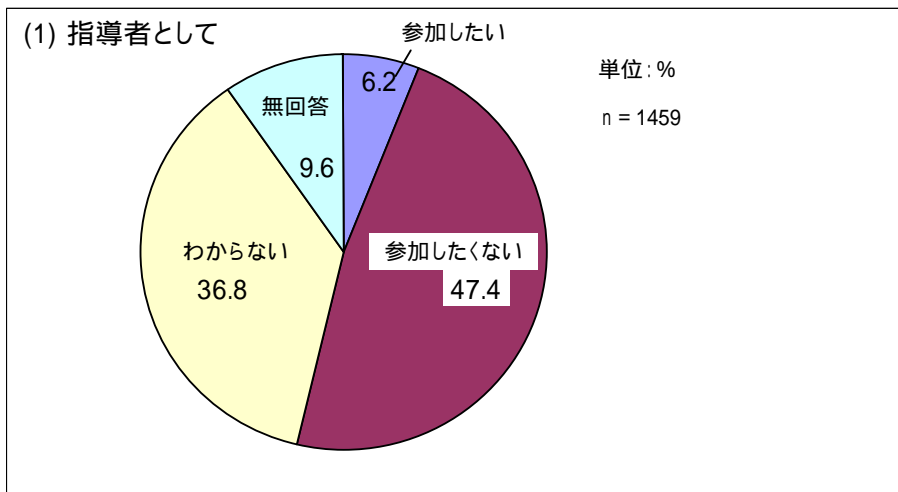
それに「ウォーキング」(14.2%)、「水泳」(10.3%)などが続いている。

選択者ゼロの種目はなかった。



(9) クラブに指導者やスタッフとして参加したいか  
**いずれも「参加したくない」が「参加したい」の数倍 「参加したい」は1割未満**

問 55 あなたは、総合型地域スポーツクラブができればスポーツの指導者や運営スタッフとして参加  
 したいですか。(それぞれ は1つだけ)



スポーツ指導者としても運営スタッフとしても、「参加したい」に比べて「参加したくない」の  
 ポイントが数倍になっており、圧倒的に多くなっている。

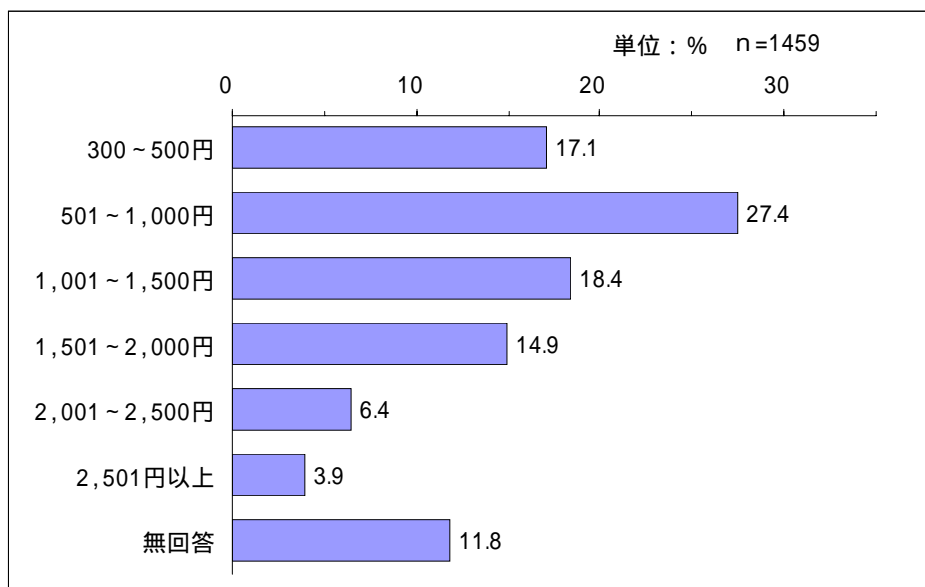
いずれにおいても「参加したくない」と「わからない」の合計は80%超となっている。

(10) 適当と考える会費

**8割弱の人が月額“2,000円まで”が適当と考えている 最も多い答えは「501～1,000円」**

問 56 総合型地域スポーツクラブは会費制となりますが、あなたは月額会費はどのくらいが適当と考えますか。

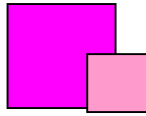
( は1つだけ)



最も多い回答は月額「501～1,000円」で、3割弱を占めている(27.4%)。

2番目に多い答えは「1,001～1,500円」(18.4%)、3番目は「300～500円」(17.1%)となっている。

比較的低価格帯に回答が集中する傾向があり、「1,501～2,000円」も合わせて、“2,000円まで”の選択肢を77.8%の人が選んでいる。



調查票

---

# 平成 16 年度（第 36 回）八王子市市政世論調査

## 【市政世論調査へのご協力をお願い】

市政につきましては、日頃よりご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

市では、市民の皆さんの生活環境への意識、市の施策等に対する評価及び市政への意見・要望を把握し、まちづくりに有効に活用していくために、毎年市政世論調査を実施しています。また、この調査を通じて市民の皆さんの市政への参加を図り、市民の皆さんと市との協働によるまちづくりを推進していきます。

この調査の対象者は、市内にお住まいの 20 歳以上の方々から無作為に 3,000 名を選ばせていただきました。また、調査は無記名で、調査結果につきましては統計的な処理をいたしますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いいたします。

平成 16 年 6 月

八王子市長 黒須 隆一

## 【ご記入にあたってのお願い】

1. ご回答は、必ず**あて名**のご本人がご記入ください。  
(無記名ですので、氏名・住所の記入の必要はありません。)
2. ご回答は、**濃いえんぴつ**か、**黒または青のボールペン**などをご使用ください。
3. ご回答は、次の要領で行ってください。  
あらかじめ設けてある**選択肢**の中から**選んで 印をつけて**ください。  
**回答の 数は、( は1つだけ) ( は3つまで) ( はいくつでも) など**と指定していますので、それに合わせてください。  
**ご自分の答えが選択肢の中にない場合は、「その他 ( )」を選び、( )**  
**内にその内容を具体的に記入してください。**  
**質問は、1 ページから順に最後までお答えください。**なお、問 - 1 のように、  
**一部の方だけにお答えいただく質問もありますが、その場合は矢印や説明文に**  
**従ってお答えください。**

## 《 調査票の返送について 》

ご記入いただいた調査票は、本市が調査委託した株式会社アイ アール エスまでご返送をお願いします。調査票を同封の返信用封筒に入れて、  
**平成 16 年 6 月 8 日(火)までにご投函ください。**切手を貼る必要はありません。

## 《 お問い合わせ先 》

調査については 八王子市 総合政策部 広聴広報室(広聴担当) まで  
電話：0426-20-7411(直通)  
(月～金曜日 午前8時30分～午後7時)

返送については 株式会社 アイ アール エス 調査研究部 まで  
電話：03-3357-7181  
(月～金曜日 午前9時30分～午後6時)

\* 各設問の選択肢の後の太数字(小数第1位までのもの)は、その選択肢の回答比率(%)を表しています。

## <あなたご自身について> ~基本項目(フェイス・シート)~

最初にあなたご自身のことについておたずねします。

F 1 あなたの性別は、次のどちらにあたりますか。( は1つだけ)

1	男性	43.6	2	女性	54.1	(無回答)	2.3
---	----	------	---	----	------	-------	-----

F 2 あなたの年齢は、次のどれにあたりますか。( は1つだけ)

1	20歳代	12.0	3	40歳代	15.4	5	60~64歳	11.6	
2	30歳代	18.4	4	50歳代	19.9	6	65歳以上	20.4	
								(無回答)	2.2

F 3 あなたご自身は、次のどれにあたりますか。( は1つだけ)

1	20~39歳で単身者	14.9	
2	20~39歳で配偶者がいて子どもがいない	3.6	
3	20~64歳で一番下の子どもが小学校入学前	10.3	
4	20~64歳で一番下の子どもが小学生	7.2	
5	20~64歳で一番下の子どもが中学・高校生	7.6	
6	20~64歳で一番下の子どもが高校を卒業している	22.1	
7	40~64歳で単身者	4.7	
8	40~64歳で配偶者がいて子どもがいない	6.2	
9	65歳以上	20.2	
		(無回答)	3.1

F 4 あなたの世帯は、次のように分類した場合、どれにあたりますか。ご自分の立場(自分が親、自分が子ども)にかかわらず、世帯構成をお答えください。( は1つだけ)

1	ひとり暮らし(単身世帯)	8.7	4	親と子ども夫婦(二世帯世帯)	5.6	
2	夫婦のみ(一世帯世帯)	23.7	5	親と子どもと孫(三世帯世帯)	8.3	
3	親と未婚の子ども(二世帯世帯)	48.6	6	その他( )	2.6	
					(無回答)	2.5

F 5 現在、一緒に暮らしているご家族は、あなたを含めて何人ですか。( は1つだけ)

1	1人	9.1	4	4人	21.6	7	7人以上	1.9	
2	2人	25.6	5	5人	9.0			(無回答)	2.5
3	3人	26.9	6	6人	3.4				

F 6 あなたは、八王子市に住んで何年になりますか。( は1つだけ)

1	1年未満	3.7	4	10~20年未満	15.6	
2	1~3年未満	4.3	5	20年以上	38.9	
3	3~10年未満	14.8	6	生まれてからずっと	20.9	
					(無回答)	1.7

F 7 あなたのご職業は、次のどれにあたりますか。( は1つだけ)

1 農・林・漁業	0.5	7 アルバイト・パート	12.5
2 自営業	7.1	8 (専業)主婦・主夫	21.4
3 自由業(開業医、弁護士、司法書士など)	1.0	9 学生	3.0
4 会社や団体の役員	3.0	10 その他( )	1.0
5 会社・商店・サービス業などの勤め人	27.2	11 無職	17.4
6 教員・公務員	5.3	(無回答)	0.6

( F 7 で、「1」から「7」とお答えの方に)

F 7 - 1 あなたの職場は、次のどれにあたりますか。( は1つだけ)

1 八王子市内	48.1	2 八王子市外	48.2	(無回答)	3.8
---------	------	---------	------	-------	-----

F 8 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。( は1つだけ)

1 一戸建て(持ち家)	60.7	5 公団・公社の賃貸住宅	3.5
2 分譲マンション	14.9	6 都営・市営住宅	4.0
3 一戸建て(借家)	3.2	7 社宅・官舎・寮	0.8
4 民間の賃貸アパート・マンション	11.0	8 その他( )	1.2
		(無回答)	0.8

F 9 あなたのお住まいは、次のように各事務所の管轄区域に分類した場合、どの地区にあたりますか。( は1つだけ)

該当する地区が不明な場合は、( )内にお住まいの町名をご記入ください。

1 本庁管内(中央地域)	22.7	5 由井・北野(東南部地域)	14.8
2 元八王子・恩方・川口(西部地域)	16.2	6 由木・由木東・南大沢(東部地域)	16.6
3 浅川・横山・館(西南部地域)	19.7	7 不明( )	0.6
4 加住・石川(北部地域)	7.5	(無回答)	1.8

F 10 あなたのご家庭は、町会や自治会に入っていますか。( は1つだけ)

1 入っている	79.9	2 入っていない	19.2	(無回答)	0.9
---------	------	----------	------	-------	-----

設問は全3章・8つのテーマに分かれています。次ページからのすべての質問にお答えください。

# 第1章

## < 定住意向 >

問1 あなたは、これからも八王子市に住み続けたいと思いますか。( は1つだけ)

1 ずっと住み続けたい	45.6	→ (問1-1へ)	3 市外へ移りたい	10.9	→ (問1-2へ)
2 当分は住み続けたい	42.3		(無回答)	1.2	

(問1で、「1 ずっと住み続けたい」または「2 当分は住み続けたい」とお答えの方に)

問1-1 住み続けたい主な理由は何ですか。( は3つまで)

1 緑が多く自然に恵まれている	56.3	6 古き良きものが多い	4.9
2 交通の便が良い	34.3	7 街並み・景観が美しい	8.7
3 買い物に便利	26.7	8 公園などがよく整備されている	9.0
4 地域住民の連帯感が強い	9.9	9 その他( )	16.1
5 教育環境が良い	4.1	10 特に理由はない	14.3
		(無回答)	0.8

(問1で、「3 市外へ移りたい」とお答えの方に)

問1-2 市外へ移りたい主な理由は何ですか。( は3つまで)

1 自然環境が悪い	6.3	6 住宅事情が悪い	8.2
2 交通の便が悪い	49.1	7 公害が多い	7.5
3 買い物に不便	31.4	8 街の雰囲気が嫌い	19.5
4 隣近所となじめない	7.5	9 その他( )	37.1
5 この街に愛着がない	23.3	10 特に理由はない	5.0
		(無回答)	0.6

## < 生活環境 >

問2 あなたは、周囲の生活環境について日頃どのように感じていますか。(1)～(15)の各項目それぞれについてお答えください。( はそれぞれ1つずつ) (設問は次ページまで続きます)

項目	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	無回答
(1) 日当たりや風通し	52.0	15.5	21.2	7.3	3.4	0.6
(2) 大気汚染	21.6	16.8	41.1	13.0	4.6	2.9
(3) 騒音・振動	20.6	16.4	31.4	18.8	10.5	2.4
(4) 災害時の安全性	13.8	13.6	52.1	11.7	5.1	3.7
(5) 下水・排水	30.2	13.5	41.3	6.4	6.6	2.0

(6) し尿処理	33.4	11.4	45.4	3.2	3.6	3.2
(7) ごみ処理	23.0	13.8	45.6	11.7	4.0	1.9
(8) 病院などの医療施設	12.8	17.2	41.7	18.7	7.5	2.1
(9) 集会施設	11.0	11.6	55.7	13.6	3.8	4.2
(10) 公園・遊び場	13.3	15.9	41.3	18.7	7.7	3.2
(11) 道路の整備状況	13.8	16.2	39.1	17.3	10.8	2.7
(12) 緑の豊かさ	33.3	30.9	25.4	6.6	1.2	2.6
(13) 交通の便	17.6	22.5	30.0	17.8	9.9	2.3
(14) 交通の安全性	8.4	14.5	46.4	19.0	8.5	3.2
(15) 全体としての「住みやすさ」	13.1	26.9	46.0	10.1	1.4	2.5

## < 市政への要望 >

問3 市政全般において、あなたが特に力を入れてほしいと思う施策は何ですか。次の1～34の中から第1位、第2位、第3位と順位をつけて3つ選び、下の回答欄内に番号をご記入ください。

(それぞれ1つずつ)

\* 「回答比率」は第1位、第2位、第3位を合算した数字を掲載した。

1 財政再建	16.0	19 交通安全対策	6.3
2 行財政改革	12.3	20 防犯対策	31.1
3 学校教育	14.3	21 防災対策	5.4
4 青少年の健全育成	10.3	22 高度情報化社会への対応	1.1
5 生涯学習	4.0	23 商・工業などの地域経済対策	8.0
6 文化施設・文化事業	5.0	24 道路整備	11.4
7 国際化の推進	0.8	25 交通機関・駐車場の整備	10.7
8 コミュニティづくり	2.1	26 緑の保全や公園の整備	10.4
9 学園都市づくり	0.4	27 下水道処理	4.2
10 男女共同参画社会づくり	0.6	28 都市整備事業(再開発、区画整理等)	3.5
11 保健医療	23.2	29 清掃事業(ごみ、し尿処理、リサイクル)	10.8
12 介護保険	10.6	30 公害防止対策	3.0
13 社会福祉(ひとり親、低所得者)	7.0	31 都市景観	2.8
14 高齢者福祉	27.2	32 観光・レクリエーション	3.0
15 障害者福祉	4.7	33 不法投棄・放置対策(自動車、自転車、バイク、ごみ等)	13.7
16 少子化対策・子育て支援	11.3	34 その他( )	2.6
17 消費者保護	3.9	35 特にない	0.6
18 住宅対策	3.9	(無回答)	13.8

第1位	第2位	第3位



## 第 2 章

### < 「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度 >

この章は、平成15年3月に策定した八王子市の基本構想・基本計画（「八王子ゆめおりプラン」）に掲げる施策が目的どおり成果を挙げているか、その達成度を計るため、調査させていただくものです。

#### 施策 01 市民自治の推進：市民協働を進めているまちであると感じている市民の割合

問4 「協働」とは、市民の皆さんと行政が、それぞれの立場や能力を理解、尊重しつつ、対等なパートナーとして連携し、課題に取り組むことをいいます。あなたは、市が市民協働のまちを進めていると感じますか。（ は1つだけ）

1	そう思う	3.6	4	思えない	18.0
2	どちらかといえばそう思う	14.4	5	わからない	33.4
3	あまりそう思えない	29.5	（無回答）		1.0

#### 施策 04 説明責任の着実な実行：市政情報が容易に入手できると感じる市民の割合

問5 市は、市政の情報を、積極的に配信・提供していますが、あなたは、現在の市政情報の入手方法に満足していますか。

市の情報は、広報はちおうじ、ホームページ、議会だより、町会・自治会の回覧物や掲示物、地域の新聞（ミニコミ紙）、市で作成したパンフレット・ポスター、新聞・テレビなどのマスメディア、八王子テレメディア、JR八王子駅前河川情報板などで配信・提供しています。

（ は1つだけ）

1	満足している	6.2	4	満足していない	8.7
2	ほぼ満足している	45.6	5	わからない	16.4
3	あまり満足していない	22.3	（無回答）		0.7

問6 あなたは、市政の情報の入手にあたり、どのような点を改善するのが効果的だと思いますか。

（○は2つまで）

1	広報はちおうじの内容を充実させる	58.3
2	市の案内やパンフレットなどを数多く作成する	16.7
3	ホームページの更新を早める	12.5
4	市民が自由に利用できる市政資料やパソコンが備わったスペースを設置する	12.5
5	携帯電話やLモード（固定電話向け情報サービス）などによる情報サービスを充実させる	6.9
6	市のサービス・催し物などのパンフレットや案内がまとめて入手できる情報コーナーを設置する	35.1
7	その他（ ）	7.0
（無回答）		3.0

#### 施策 05 市民サービスの向上：窓口サービスに満足している市民の割合

問7 あなたは、この1年間に市役所、事務所、図書館、体育館、保健センターなど、市の窓口を利用したことはありますか。( は1つだけ)

1	ある	81.0	2	ない	18.2	(無回答)	0.8
---	----	------	---	----	------	-------	-----

(問7で「1 ある」と答えた方に)

問7-1 あなたは、市の窓口サービスに満足していますか。( は1つだけ)

1	満足している	13.7	4	満足していない	8.3
2	ほぼ満足している	56.3	5	わからない	4.0
3	あまり満足していない	17.3	(無回答)		0.4

施策 10 人とひととの支え合い：住み続けたいと思う市民の割合

問8 あなたのお住まいの地域は、だれもが互いに思いやりを持ち、人とひととが支え合う平和で安心して暮らせるまちであると思いますか。( は1つだけ)

1	そう思う	8.6	4	思えない	11.7
2	どちらかといえばそう思う	40.6	5	わからない	12.2
3	あまりそう思えない	25.9	(無回答)		1.0

施策 11 地域での支え合い：地域の中でボランティア活動や行事に参加したことがある市民の割合

問9 あなたは、この1年間に公園清掃などのボランティア活動や盆踊りなど地域行事に参加したことがありますか。( は1つだけ)

1	ボランティアにも地域行事にも参加したことがある	12.9
2	ボランティアには参加したことがある	5.5
3	地域行事には参加したことがある	31.3
4	どちらにも参加したことがない	49.3
	(無回答)	1.0

施策 11 地域での支え合い：市民が感じる地域生活環境の安全度

問10 あなたの日常生活における生活環境は安全だと思いますか。( は1つだけ)

1	安全である	4.0	4	やや危険である	19.2
2	おおむね安全である	27.3	5	危険である	3.4
3	普通である	44.7	(無回答)		1.4

施策 12 暮らしの相談・支援：相談の機会が充実していると感じる市民の割合

問11 市では、様々な相談を行っています。あなたは、市の相談窓口を利用したことがありますか。

市で行っている相談は、健康・栄養・歯、母子・福祉、女性のための相談、法律、不動産、登記、税金、相続・遺言等暮らしの手続、年金・雇用保険・労働条件相談、行政、外国人生活相談、人権、交通事故、消費者、子育て、心の相談、総合教育相談、こども電話相談などです。

( は1つだけ)

1	ある	22.9	2	ない	76.0	(無回答)	1.1
---	----	------	---	----	------	-------	-----

(問11で「2 ない」と答えた方に)

問11-1 市の相談窓口を利用しないのはなぜですか。(○は2つまで)

1 予約がとれない	1.0	4 市の相談窓口がわからない	13.1
2 平日に相談に行けない	16.2	5 特に相談することはない	54.6
3 家族・友人・知人など身近な人に相談した	17.3	6 その他( )	4.3
		(無回答)	1.9

問12 あなたは、市の相談窓口が充実していると思いますか。( は1つだけ)

1 充実している	2.8	4 充実していない	4.7
2 おおむね充実している	19.2	5 わからない	61.3
3 あまり充実していない	9.7	(無回答)	2.3

**施策 17 健康の維持・増進：健康維持・増進を心がけている市民の割合**

問13 あなたが健康の維持・増進のために、自ら心がけて行動していることはどれですか。

(○はいくつでも)

1 適度な運動	52.1	5 趣味などの生きがいづくり	31.7
2 適度な休養	35.0	6 その他( )	1.2
3 食事などの栄養バランス	52.2	7 特に何もしていない	11.8
4 各種定期健診の受診	36.0	(無回答)	1.0

**施策 18 医療体制づくり：かかりつけ医を決めている市民の割合**

問14 あなたは、かかりつけの医療機関を決めていますか。

かかりつけ医とは、自分の体の状態を把握している身近な医師のことで、普段の健康管理、病気の初期治療のほか、大病院での検査・治療を必要とするかどうかの判断、紹介などが期待されます。

( は1つだけ)

1 決めている	55.5	2 決めていない	43.1	(無回答)	1.4
---------	------	----------	------	-------	-----

**施策 22 生涯学習の推進：生涯学習活動をしている市民の割合**

問15 あなたがこの1年間に取り組んだ学習活動はどれですか。(○はいくつでも)

1 パソコン・インターネット	24.4	6 文学	4.1	11 園芸	10.0
2 音楽	7.7	7 歴史	4.3	12 職業上必要な知識・技能	18.8
3 美術	4.2	8 料理	6.2	13 その他( )	5.9
4 写真	3.8	9 洋裁	1.9	14 特に学習していない	40.5
5 外国語	7.7	10 和裁	0.5	(無回答)	3.5

**施策 23 生涯スポーツの推進：週1回以上スポーツをする成人の割合**

( なお、関連する質問が問47にあります )

問16 あなたがこの1年間にスポーツを行った回数ほどのくらいですか。

スポーツの種類は、水泳、ジョギング、マラソン、テニス、スカッシュ、体操(ラジオ体操、健康体操など)、ハイキング、登山、ゴルフ、サイクリング、ウォーキング、サーフィン、ダイビング、スキー・スノーボード、トレーニング(器具を使うもの)、ストレッチ、なわとび、釣り、卓球、野球・ソフトボール、サッカー、バスケットボール、バレーボール、エアロビクス、バドミントン、武道(柔道、剣道、空手道、少林寺拳法など)、ダンス(社交ダンス、フォークダンスなど)、ラグビーなどです。

( は1つだけ)

1	週に1回以上	27.9	4	半年に1~2回	9.3
2	月に1~3回	16.0	5	その他( )	1.9
3	3ヶ月に1~2回	7.6	6	特にしていない (無回答)	34.5 2.9

(問16で「1」から「5」とお答えの方に)

問16-1 あなたがこの1年間にスポーツをしたのはどのような理由ですか。(○は3つまで)

1	健康・体力づくり	53.5	6	自己鍛錬	9.7
2	楽しみ・ストレス解消	55.0	7	自己記録の更新・能力の向上	2.4
3	運動不足の解消	47.4	8	競技会などへの参加	5.3
4	友人との交流	29.8	9	なんとなく	2.4
5	家族とのふれ合い	10.3	10	その他( ) (無回答)	2.2 0.7

施策 24 市民文化活動：定期的に文化活動に参加している市民の割合

問17 あなたは、この1年間にどのくらいの頻度で芸術・文化活動に参加しましたか。(鑑(観)賞も含みます)( は1つだけ)

芸術・文化活動の分野は、文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊、映画、漫画、アニメーション・メディア芸術、伝統芸能(歌舞伎、落語など)、茶道、華道、書道、囲碁、将棋、歴史・文化財などです。

1	週に1回以上	4.9	4	半年に1~2回	18.6
2	月に1~3回	10.1	5	年1回	7.7
3	3ヶ月に1~2回	10.8	6	していない (無回答)	43.8 4.0

施策 27 計画的なまちづくり：八王子の景観への市民評価度

問18 あなたは、様々なまちの景観のうち、魅力的だと感じる景観はどのような景観ですか。( は1つだけ)

1	市街地などの都市景観	9.5	3	歴史や文化を継承する景観	14.5
2	緑や水辺などの自然環境	68.5	4	その他( ) (無回答)	3.4 4.2

問19 あなたは、市が景観に配慮されたまちであると思いますか。( は1つだけ)

1	そう思う	4.5	4	思えない	19.9
2	どちらかといえばそう思う	28.6	5	わからない	13.0
3	あまりそう思えない	32.4		(無回答)	1.6

施策 28 安全で安心なまちづくり：災害に対して備えをしている市民の割合

問 20 あなたの家庭では大地震に備え何か準備をしていますか。(○はいくつでも)

1 食料・飲料水	34.5	4 懐中電灯	63.1	7 衣類	8.6
2 医薬品	22.7	5 消火器	29.3	8 その他( )	1.6
3 ラジオ	42.6	6 貴重品類などの非常持出品	18.3	9 特に何もしていない	28.4
				(無回答)	1.1

施策 33 体制づくりと人材育成：にぎわいと活力があるまちと感じる市民の割合

問 21 あなたは、市がにぎわいと活力があるまちであると感じますか。( は1つだけ)

1 感じる	4.2	4 感じない	26.5
2 多少感じる	21.9	5 わからない	10.1
3 あまり感じない	35.8	(無回答)	1.5

施策 38 環境保全体制の確立：環境に関心がある市民の割合

問 22 あなたは、環境問題に関心はありますか。( は1つだけ)

1 大いにある	25.2	3 どちらともいえない	17.5
2 ある	53.5	4 ない	2.0
		(無回答)	1.8

問 23 都市の美観が損なわれる主な原因は、次のどれだと思いますか。(○は2つまで)

1 違法駐車	31.9	5 落書き	21.6
2 放置自転車	31.3	6 違法看板	24.1
3 ペットの糞	18.5	7 はみ出し営業	9.5
4 ごみ・たばこのポイ捨て	43.1	8 その他( )	4.6
		(無回答)	1.4

問 24 市は、都市の美観が保持されているまちであると思いますか。

( は1つだけ)

1 思う	1.9	4 思えない	23.1
2 どちらかといえばそう思う	19.2	5 わからない	8.5
3 あまりそう思えない	46.1	(無回答)	1.2

施策 42 資源・エネルギーの有効活用：省エネ・省資源を意識した暮らしを送っている市民の割合

( なお、関連する質問が問 27 にあります)

問 25 省エネ・省資源のためには、冷暖房を控える、電気をこまめに消す、冷蔵庫の開閉に気を遣う、ごみ減量のためのリサイクルを心がける、マイカーの使用を控える、省エネ製品を利用する、買物用のバッグを持参して買い物に行くなどがありますが、あなたは、省エネ・省資源を意識して実行していますか。

( は1つだけ)

1 常に実行している	31.2	3 今後は実行したい	12.3
2 時々実行している	54.1	4 実行するつもりはない	1.2
		(無回答)	1.2

## 第 3 章

### < 循環型社会の形成に向けて >

市では、25%ごみ減量の達成をめざし「資源物の回収の拡充」「戸別収集の実施」「有料化（指定袋）制度の実施」に取り組んでいます。資源循環型社会の形成に向けて、さらなる取り組みを進めるために、市民の皆さんのごみ減量やリサイクルに対する関心や意識を調査させていただきます。

#### (1) ごみに対する基本的な意識について

問 26 あなたは、ごみ減量やリサイクル活動への関心がありますか。（ は 1 つだけ）

1 大いに関心がある	47.2	3 あまり関心がない	5.8
2 少し関心がある	44.4	4 まったく関心がない	0.4
		(無回答)	2.3

#### (2) ごみの発生抑制・循環型社会に関する意識について

問 27 あなたの日常生活の中でのごみに対する意識についてお答えください。

( は 1 つだけ)

( なお、関連する質問が問 25 にあります)

1 ごみのことは意識せず、多くのものを買ひ、多くのものを捨てている	1.0
2 ごみの問題は認識しているが、リサイクルなどは実行していない	16.4
3 ごみの問題を多少意識し、ごみを少なくする配慮やリサイクルを心がけている	60.7
4 常にごみを少なくする工夫やリサイクルを実行している	18.4
5 わからない	1.3
(無回答)	2.2

問 28 あなたは、日頃、ごみを発生させないために心がけていることがありますか。

( はいいくつでも)

1 使い捨て製品はなるべく買わないようにしている	27.5
2 詰め替え製品を買うようにしている	71.8
3 壊れにくく、長持ちする製品を選ぶ	33.9
4 不要になったものでも他の目的で使用したり、友人や知人と融通しあう	23.9
5 リサイクルショップやフリーマーケットをよく利用する	16.8
6 一時的に使うものはレンタル・リースを利用している	6.0
7 生ごみを少なくするよう調理を工夫している	22.3
8 不要な包装や弁当の箸などは断るようになっている	40.9
9 買い物袋を持参している	30.0
10 発泡トレイやペットボトルなどの店頭回収を利用している	48.0
11 その他( )	1.9
12 特に心がけてはいない	3.0
(無回答)	1.9

#### (3) ごみの分別について

問 29 あなたが、日頃から資源の分別で意識している物はどれですか（ はいいくつでも）  
また、 を付けた資源物を主にどこへ出していますか。〔 〕内から主なものを選んで下さい。

1	新聞・・・・	88.7	〔ア．集積所回収 26.4	イ．集団回収 28.1	ウ．新聞店回収 48.8	
			エ．その他 3.4	(無回答) 1.2		
2	ダンボール・・・・	84.3	〔ア．集積所回収 72.9	イ．集団回収 24.9	ウ．その他 3.1	
			(無回答) 1.0			
3	雑誌・・・・	85.3	〔ア．集積所回収 69.9	イ．集団回収 28.4	ウ．その他 3.0	
			(無回答) 0.7			
4	雑紙・・・・	71.6	〔ア．集積所回収 74.4	イ．集団回収 22.8	ウ．その他 3.3	
			(無回答) 1.0			
5	空きびん・・・・	90.0	〔ア．集積所回収 87.4	イ．集団回収 10.5	ウ．店頭回収 3.0	
			エ．その他 0.7	(無回答) 1.0		
6	空き缶・・・・	89.2	〔ア．集積所回収 83.6	イ．集団回収 11.8	ウ．店頭回収 6.6	
			エ．その他 0.5	(無回答) 1.3		
7	古着・古布・・・・	74.8	〔ア．集積所回収 79.1	イ．集団回収 16.5	ウ．その他 6.0	
			(無回答) 0.5			
8	ペットボトル・	77.0	〔ア．拠点回収(市内スーパー等の店舗)	86.6	イ．その他 12.6	
			(無回答) 0.9			
9	紙パック・・・・	68.3	〔ア．拠点回収(公共施設) 36.7	イ．集団回収 20.3	ウ．店頭回収 33.6	
			エ．その他 10.3	(無回答) 0.7		
10	発泡トレイ・・・・	72.6	〔ア．集積所回収 49.2	イ．店頭回収 47.6	ウ．その他 3.4	
			(無回答) 0.8			
11	はがき類・・・・	50.3	〔ア．集積所回収 59.3	イ．郵便局 27.0	ウ．その他 14.4	
			(無回答) 0.1			
12	その他( )	1.1				
13	特に意識していない	1.1	(無回答)	1.9		

(4)グリーン購入に対する意識について

問30 あなたは、商品を購入する際に、環境にやさしいものを買うようにしていますか。

グリーン購入とは、製品やサービスを購入する際に、環境を考慮して、再生された素材で作られているものやリサイクルがしやすい素材のものなど、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入することです。

( は1つだけ)

1	いつも心がけている	5.9	4	特に意識していない	30.0
2	できるだけ心がけている	31.7	5	その他( )	0.3
3	他の製品より安いと同程度なら購入する	28.0	6	わからない	2.1
				(無回答)	2.1

問31 あなたは、環境にやさしい製品を買おうとするとき、何か支障を感じることはありませんか。

( は1つだけ)

1	よく行く店に置いていない	3.8	4	特に支障は感じない	19.9
2	環境にやさしい商品かわかりにくい	34.5	5	その他( )	1.0
3	一般の製品より割高感がある	28.0	6	わからない	9.2
				(無回答)	3.6

## < 地産地消の推進 >

市では、市民の皆さんに市内産の農畜産物を今まで以上に利用していただくために、八王子農業のPRや学校給食での利用促進など「地産地消を目指した流通・販売の確立」に取り組んでいます。

そこで、市民の皆さんの地産地消(市内産農畜産物の消費)についてのご意見をお伺いします。

### (1) 地産地消について

問 32 「地産地消」とは、地元でとれた生産物を地元で消費するということですが、あなたは、この言葉の意味をどの程度知っていますか。( は1つだけ)

1	言葉だけは聞いたことがある	27.1	3	具体的な取り組み例も知っている	5.3	
2	言葉だけでなく意味も知っている	28.2	4	知らない	35.8	
					(無回答)	3.5

問 33 あなたは、「地産地消」に対してどの程度関心がありますか。( は1つだけ)

1	大いに関心がある	19.8	3	あまり関心がない	23.2	
2	少しは関心がある	47.2	4	まったく関心がない	6.0	
					(無回答)	3.7

問 34 あなたは、市内産の農畜産物(野菜、果物、花など)を購入(消費)したことがありますか。( は1つだけ)

1	ある	75.6	2	ない	21.8	→ (問 35 へ)	(無回答)	2.6
---	----	------	---	----	------	------------	-------	-----

(問 34 で「1 ある」とお答えの方に)

問 34 - 1 市内産の農畜産物を購入した場所はどこですか。( はいくつでも)

1	青果店	16.3	5	農家の個人直売	36.2
2	スーパー	62.6	6	農産物直売所	27.7
3	生協等の共同購入	14.5	7	その他( )	1.9
4	農畜産物品評会などイベントでの即売会	13.3	(無回答)		0.3

問 34 - 2 あなたは、市内の農畜産物を意識して購入(消費)していますか。( は1つだけ)

1	いつも意識している	11.3	3	あまり意識していない	39.6	
2	ときどき意識している	40.9	4	まったく意識していない	7.4	
					(無回答)	0.7

問 34 - 3 あなたがこの1年間に購入した農畜産物のうち、市内産の割合はどのくらいですか。

( は1つだけ)

1	1割未満	47.1	4	3割以上～5割未満	5.8
2	1割以上～2割未満	27.3	5	5割以上	1.5
3	2割以上～3割未満	16.6	(無回答)		1.7



問 35 あなたは、市内産農畜産物を欲しいと思ったときに、簡単に手に入れたり、食べたりすることが出来ますか。( は1つだけ)

1 簡単に手に入る	13.6	3 手に入れることは困難である	23.4
2 少し苦労するが手に入れることができる	29.0	4 わからない	30.4
		(無回答)	3.7

(問 35 で「3 手に入れることは困難である」と答えた方に)

問 35 - 1 どのような理由で、手に入りにくいですか。( はいくつでも)

1 近くの店で欲しい種類の市内産農畜産物が売っていない	51.9
2 近くに農産物直売所がない	45.2
3 どこに行けば市内産農畜産物があるのか分からない	52.8
4 市内産の表示がない	16.1
5 その他( )	2.1
(無回答)	0.9

問 36 あなたは、市内産の農畜産物が他産地より価格が高い場合、価格差がいくらであれば購入しますか。( は1つだけ)

1 1割未満	35.4	4 3割以上～5割未満	1.4
2 1割以上～2割未満	20.6	5 5割以上	0.7
3 2割以上～3割未満	3.7	6 安くなければ購入しない	31.7
		(無回答)	6.4

問 37 「地産地消」を推進していくために、今後どのような取り組みが重要であると思いますか。

( は3つまで)

1 安全な農畜産物の提供	57.6
2 新鮮で美味しい農畜産物の提供	53.4
3 旬を大切にした農畜産物の提供	26.7
4 安い農畜産物の提供	40.8
5 市内産農畜産物を利用した学校給食の充実	11.9
6 市内産農畜産物の直売所の整備	21.0
7 量販店における市内産農畜産物コーナー(インショップ)の充実	29.1
8 市内産農畜産物を活用した料理を提供する飲食店の充実	2.3
9 伝統料理、食文化の紹介	1.6
10 地産地消をテーマとしたシンポジウム等のイベントや情報提供の充実	3.6
11 生産者と消費者の交流機会の充実	5.7
12 食品産業での利用促進	3.2
13 市や農協などの広報やインターネットによるPR	8.9
14 その他( )	1.5
(無回答)	3.8

(2) 学校給食について

問 38 地産地消の推進策の一つとして「学校給食への地元生産物の利用促進」がありますが、これについてあなたはどのように思いますか。( は1つだけ)

1 積極的に進めてほしい	52.3	3 現状のままでよい	9.2
2 どちらかといえば進めてほしい	29.6	4 必要はない	2.5
		(無回答)	6.4

問 39 本市の学校給食において、市内産農畜産物を利用することにより何を期待しますか。

( は3つまで)

1	市内産農畜産物の消費拡大	57.2
2	子供に対する教育効果	41.9
3	顔の見える関係で農畜産物が提供されることによる安心感	57.6
4	生産者との交流	28.5
5	その他( )	3.2
	(無回答)	6.8

(3) 農産物直売所について

問 40 市内には、農家の方々が生産した新鮮な野菜などを販売している農産物の直売所がありますが、あなたは農産物直売所を知っていますか。( は1つだけ)

1	知っている。買い物もしている	39.8	3	名称は知っているが、買い物はしたことがない	23.0
2	知らない	35.0	(無回答)	2.1	

└──────────▶(問 40 - 5 へ)

(問 40 で、「1 知っている。買い物もしている」とお答えの方に)

問 40 - 1 農産物直売所で購入する頻度はどのくらいですか。( は1つだけ)

1	ほぼ毎日	1.0	4	年に数回程度	44.4
2	週に1回程度	25.1	5	わからない	4.5
3	月に1回程度	22.7	(無回答)		2.2

問 40 - 2 農産物直売所で購入する理由は何ですか。( はいくつでも)

1	新鮮	83.3	5	旬のものが手に入る	49.7
2	価格が安い	38.6	6	生産者がわかり安心	32.0
3	美味しい	36.5	7	生産者と交流ができる	8.4
4	安全	21.9	8	その他( )	3.3
			(無回答)		1.4

問 40 - 3 農産物直売所で購入する品目は何ですか。( はいくつでも)

1	野菜	97.1	4	豆類	3.3	7	加工品	6.4
2	果物	20.8	5	牛乳	2.6	8	花・鉢物	18.1
3	米	2.1	6	肉類	0.5	9	その他( )	3.1
						(無回答)		1.4

問 40 - 4 農産物直売所で購入する1回あたりの購入金額はどのくらいですか。

( は1つだけ)

1	500円未満	29.6	4	3千円以上～5千円未満	2.1
2	500円以上～1千円未満	39.9	5	5千円以上～1万円未満	0.7
3	1千円以上～3千円未満	26.0	6	1万円以上	0.3
			(無回答)		1.4

(問 40 で「3 名称は知っているが、買い物はしたことがない」とお答えの方に)

問 40 - 5 農産物直売所を利用しない理由は何ですか。(はいくつでも)

1 近くにない	59.5	6 規格が不揃い	2.4
2 場所がよく分からない	47.6	7 駐車場などの施設整備が不十分	16.7
3 品質がよいとは限らない	11.6	8 季節や日によって不安定	12.5
4 価格が安いとは限らない	15.8	9 サービス・接客が悪い	1.8
5 販売品目が少ない	14.6	10 その他( )	6.8
		(無回答)	2.1

#### (4) 道の駅に併設する大型農産物直売所等

「道の駅」とは、道路を快適に利用できるようにという発想から生まれ、休憩のためのパーキングエリアとして、また、地域の文化や歴史、名所や特産物などの魅力を紹介する情報発信基地として、地域住民と道路を利用する人々をつなぐ地域に根ざしたふれあいの場所です。

問 41 市では、加住地域に道の駅を整備し、大型農産物直売所を整備する予定ですが、あなたは利用したいと思いますか。(はい1つだけ)

1 是非利用したい	18.3	3 あまり利用しないと思う	22.3
2 機会があれば利用したい	49.7	4 わからない	6.2
		(無回答)	3.4

(問 41 で「1 是非利用したい」または「2 機会があれば利用したい」とお答えの方に)

問 41 - 1 あなたは、道の駅に併設する大型農産物直売所にどんな品物があれば買いに行きますか。(はいくつでも)

1 野菜	92.7	5 加工品	21.9
2 果物	75.2	6 ネクタイなどの八王子市の特産品	13.2
3 花	45.7	7 姉妹都市(日光市・苫小牧市)の特産品	28.4
4 食肉・卵	47.7	8 その他( )	2.0
		(無回答)	1.9

問 42 道の駅に併設する大型農産物直売所で八王子関連の特産品を販売することも検討しているところですが、あなたが八王子のお土産としてイメージするのはどんな品物ですか。(はいくつでも)

1 和菓子	35.9	5 農産物・果物	33.8
2 洋菓子	4.7	6 農産物加工品	15.6
3 酒類	18.8	7 工芸品	9.0
4 絹織物	48.5	8 その他( )	4.9
		(無回答)	11.9

## <市政選挙>

各選挙の投票率は、全国的に低下傾向にあります。本市が15年度に執行した市議選・市長選も、市民に一番身近な選挙であるにも拘わらず、低い投票率でした。そこで、有権者の皆さんの選挙への関心度・投票行動や、選挙や啓発活動に対する認知度などをお伺いします。

問 43 平成15年4月に市議会議員選挙が、16年1月に市長選挙がありました。あなたはこの選挙に関心がありましたか。( は1つだけ)

1	かなり関心があった	21.1	→(問43-1へ)	4	まったく関心がなかった	8.7	
2	少しは関心があった	33.4	→(問43-1へ)	5	どちらともいえない	3.6	
3	あまり関心がなかった	28.2		6	わからない、答えたくない	2.2	
						(無回答)	2.8

(問43で、「1 かなり関心があった」または「2 少しは関心があった」とお答えの方に)

問43-1 あなたがこれらの選挙に関心を持った主な理由は何ですか。( は1つだけ)

1	身近な暮らしを良くしたいと思った	51.6	
2	候補者の熱心さに心をひかれた	4.4	
3	日ごろから政治や選挙に関心を持つことは当然だから	39.6	
4	その他(具体的に: )	2.1	
5	わからない	0.6	
		(無回答)	1.6

問44 あなたは、その市議会議員選挙や市長選挙で投票に行きましたか。

( は1つだけ)

1	ふたつとも行った	55.4	(問44-1・45・46をお答えください)
2	市議会議員選挙だけ行った	11.3	(問44-1以降全てお答えください)
3	市長選挙だけ行った	3.7	(問44-1以降全てお答えください)
4	ふたつとも行かなかった	21.6	(問44-2・45・46をお答えください)
5	答えたくない	3.4	(問45・46をお答えください)
		(無回答)	4.6

(問44で、「1 ふたつとも行った」「2 市議会議員選挙だけ行った」「3 市長選挙だけ行った」とお答えの方に)

問44-1 あなたが投票に行かれた主な理由は、次のどれですか。( はいくつでも)

1	市長になってほしい候補者がいた	17.8	
2	市議会議員になってほしい候補者がいた	24.0	
3	自分の支持する政党や後援会の推す候補者を当選させたかった	18.1	
4	住んでいる所を良くするためには、投票することが大切だと思った	60.5	
5	自分の関係する団体、組織や知り合いの人に投票を薦められた	4.6	
6	投票することは、国民の義務である	53.6	
7	投票することは、国民の権利である	38.3	
8	当選させたくない候補者がいた	5.9	
9	近所の人や家族が行くからなんとなく	2.7	
10	マスコミや市民運動で、投票率の向上が話題となったから	1.3	
11	その他(具体的に: )	1.1	
12	わからない	0.3	
		(無回答)	1.5

(問 44 で、「2 市議会議員選挙だけ行った」「3 市長選挙だけ行った」「4 ふたつとも行かなかった」とお答えの方に)

問 44 - 2 あなたがふたつとも、またはどちらか、投票に行かなかった主な理由は次のどれですか。

(はいくつでも)

1	仕事や商売が忙しく、時間がなかった	19.9
2	旅行やレジャーに出かけていた	6.2
3	選挙よりも重要な予定があった	6.4
4	天気が悪かった(寒かった)	1.5
5	病気(看病を含む)やケガのため行けなかった	5.8
6	投票所へ行くのが面倒だった	8.8
7	投票所が遠かった(不便だった、わからなかった)	2.4
8	適当な候補者がいなかった	26.8
9	候補者の人柄や政策がわからなかった	25.8
10	市の政治や選挙には関心がない	8.1
11	支持する人の当選がほぼ決まっていた	8.4
12	選挙によって政治や暮らしが良くなるわけではない	17.4
13	自分一人が投票しなくても選挙に影響がない	7.9
14	その他(具体的に: )	11.8
15	わからない	0.6
	(無回答)	6.7

問 45 あなたは、市議会議員選挙や市長選挙が行われることをどこで知りましたか。(はいくつでも)

1	選挙公報	47.5
2	市の広報紙(選挙特集号)	45.5
3	選挙運動を見たり聞いたりして	32.8
4	候補者のポスターを見て	45.2
5	投票所入場整理券を受け取って	42.0
6	家族・友人・知人から聞いて	12.2
7	選挙管理委員会や明るい選挙推進委員の街頭キャンペーンや啓発グッズを見て	2.9
8	懸垂幕・横断幕を見て	1.3
9	広報宣伝車のキャンペーン	7.0
10	八王子駅前河川情報板を見て	0.9
11	C A T Vの放送を見て	1.2
12	新聞の広告	12.6
13	その他(具体的に: )	1.2
14	選挙があったことを知らなかった	1.7
	(無回答)	4.3

問 46 投票率を上げるために、これまで投票時間の延長や不在者投票をしやすくするなど改善が行われてきましたが、さらに投票率を上げるための改善策として、あなたの考えに最も近いものはどれですか。( は3つまで)

1	投票日当日の投票時間をさらに延長する	11.0
2	投票を土曜日に設定する	7.3
3	期日前投票(旧・不在者投票)の場所を増やし、時間も延長する	29.1
4	投票所での投票について、電子投票システムを導入する	7.0
5	投票所を駅やコンビニエンスストアなど行きやすい場所に設置する	29.6
6	自宅などからインターネットや携帯電話などを使って投票できるようにする	26.3
7	郵便投票ができる条件を緩和する	16.4
8	政策討論会や候補者討論会ができるようにする	7.2
9	インターネットで選挙候補が見られたり、選挙運動ができたりするようにする	7.3
10	候補者に公約を守らせるような仕組みをつくる	31.0
11	学校教育で選挙についての授業を充実する	9.9
12	投票参加を呼びかける選挙啓発活動をより積極的に進める	8.4
13	選挙権の年齢を20歳から18歳に下げる	4.0
14	その他(具体的に: )	5.5
15	このままで良い	4.6
16	わからない	3.4
	(無回答)	5.0

## スポーツ振興の推進

八王子市は平成16年度に「スポーツ振興基本計画」を策定します。この計画の柱となる『総合型地域スポーツクラブ』の設立について調査を実施し、設立のための基礎資料とするためお伺いします。

問 47 あなたは、どのような場所や機会で、どのくらい運動・スポーツを行っていますか。

あてはまる番号に全て をつけ、実施回数を下の欄から選び、その数字を記入してください。

( なお、関連する質問が問16にあります )

1 特定のスポーツ・レクリエーションを行うクラブやサークルに入っている 13.3

1	年に数回	8.2	3	月に2~3回	21.1	5	週に2~3回	19.6
2	月に1回	11.9	4	週に1回	29.4	6	週に4回以上	2.6 (無回答) 7.2

2 複数のスポーツ・レクリエーションを行うクラブに入っている 1.4

1	年に数回	14.3	3	月に2~3回	4.8	5	週に2~3回	23.8
2	月に1回	4.8	4	週に1回	19.0	6	週に4回以上	9.5 (無回答) 23.8

3 スポーツ・レクリエーションの大会や競技会に参加している 4.2

1	年に数回	54.8	3	月に2~3回	6.5	5	週に2~3回	6.5
2	月に1回	21.0	4	週に1回	0.0	6	週に4回以上	1.6 (無回答) 9.7

4 スポーツ・レクリエーションなどの教室に参加している 4.0

1 年に数回	10.3	3 月に2～3回	20.7	5 週に2～3回	12.1
2 月に1回	6.9	4 週に1回	32.8	6 週に4回以上	1.7 (無回答) 15.5

5 個人で自由に運動している 45.9

1 年に数回	20.6	3 月に2～3回	19.3	5 週に2～3回	19.1
2 月に1回	9.4	4 週に1回	11.9	6 週に4回以上	10.3 (無回答) 9.4

6 民間のフィットネスクラブやスイミングクラブに入会している 5.6

1 年に数回	2.4	3 月に2～3回	11.0	5 週に2～3回	43.9
2 月に1回	0.0	4 週に1回	24.4	6 週に4回以上	12.2 (無回答) 6.1

7 全く運動していない 28.4

1 年に数回	3.1	3 月に2～3回	0.2	5 週に2～3回	0.0
2 月に1回	0.0	4 週に1回	0.0	6 週に4回以上	0.2 (無回答) 96.4

(無回答) 8.2

問 48 あなたは、運動・スポーツを主にどのような人と一緒にしていますか。

( は1つだけ)

1 家族	15.8	3 友人	19.4	5 一人で	27.6
2 職場の人	3.2	4 地域の人	6.2	6 その他( )	4.0
					(無回答) 23.8

問 49 あなたが運動やスポーツを行う場合、主に利用する公共施設はどこですか。

( はひとつだけ)

1 体育館	3.6	6 都立高等学校	0.0
2 陸上競技場	0.8	7 市民センター	7.6
3 テニスコート	2.1	8 プール	6.9
4 小学校(体育館や校庭)	2.3	9 公共施設は使っていない	36.2
5 中学校(体育館や校庭)	0.6	10 その他( )	14.5
			(無回答) 25.5

問 50 日頃、運動を行わなかったり、運動をしたくても思うように行えない主な理由は何ですか。

( はいくつでも)

1 身近なところにスポーツのクラブやサークルがない	13.6
2 スポーツのクラブやサークルはあるが、種目や運営が希望するものではない	6.4
3 身近なところでスポーツ教室が開催されなかった	5.1
4 スポーツ教室が開催されたが、種目や時間帯が自分の望むものではなかった	9.3
5 身近なところで運動会や競技会が開催されなかった	1.4
6 運動会や競技会の種目や運営が自分の望むところではなかった	2.4
7 身近なところに気軽に自由に利用できる公共施設がない	25.4
8 身近なところに気軽に自由に利用できる学校開放施設がない	4.1
9 一緒に運動する仲間がいない	9.7
10 指導や面倒を見てくれる指導者がいない	4.2
11 費用がかかる	18.8
12 子どもの世話・仕事や通勤で、運動する時間が作れない	25.6 (次ページへ続く)

13	病気や怪我などの理由で、運動が行えない	5.5
14	運動よりも他の趣味活動のほうが楽しい	11.3
15	運動を行いたいと思わない	2.0
16	日頃から運動は思うように行えている	5.9
17	その他 ( )	5.8
	(無回答)	19.4

問 51 あなたは、地域のスポーツ・レクリエーション活動について、過去1年間にどのくらい協力しましたか。1～9の各項目それぞれについてお答えください。( はそれぞれ1つずつ)

項 目	協力した	あまり協力しなかった	協力しなかった	(無回答)
1 公共スポーツ施設や学校開放施設の利用調整	3.6	4.1	72.7	19.7
2 利用施設の維持管理	3.3	3.2	73.5	19.9
3 スポーツ行事や活動の手伝い・支援	7.3	3.8	69.6	19.3
4 情報提供などの広報活動	1.5	4.0	74.2	20.4
5 スポーツ教室での指導	1.7	2.3	75.3	20.7
6 スポーツに関する行事などの企画運営	1.5	2.7	75.2	20.6
7 指導者やボランティアの養成	0.9	2.5	76.0	20.6
8 クラブのキャプテンやリーダーとしての運営活動	1.5	2.5	75.4	20.6
9 スポーツのクラブやサークルなどの連合組織づくり	1.7	3.2	74.8	20.4

問 52 あなたは、『総合型地域スポーツクラブ』という言葉を知っていましたか。

『総合型地域スポーツクラブ』

もともとヨーロッパを中心に発展したもので、地域住民が主体となり、運営するスポーツクラブの形態を言う。特徴としては、すべての世代が参加できる。多くの種目が用意され、様々なレベルの教室がある。質の高い指導者が配置されている。スポーツ活動を行う拠点となるスポーツ施設やクラブハウスがある。自主運営(会費制)がなされている。などが挙げられ、会員一人ひとりが『クラブ』の運営に関わりながら経営される組織を言います。

( は1つだけ)

1	よく知っている	2.7	2	少し知っている	16.9
3	まったく知らない	73.8		(無回答)	6.6

問 53 あなたは、総合型地域スポーツクラブができれば入りたいですか。

( は1つだけ)

1	入りたい	30.8	2	入りたくない	11.6
3	わからない	50.4		(無回答)	7.1



問 54 あなたは、総合型地域スポーツクラブに入るとしたら、どのようなスポーツを行いたいですか。  
( は1つだけ)

1	ウォーキング	14.2	15	野球	2.6
2	健康体操	16.2	16	ソフトボール	1.0
3	登山・ハイキング等野外活動	9.3	17	バレーボール	1.4
4	ゴルフ	3.9	18	バスケットボール	1.4
5	水泳	10.3	19	グラウンドゴルフ	0.9
6	テニス	7.1	20	陸上競技	0.2
7	ジョギング	1.1	21	体操競技	0.1
8	サイクリング	2.0	22	サッカー	1.6
9	スキー・スケート・スノーボード	2.6	23	武道	2.4
10	ボウリング	3.1	24	ネオテニス	0.7
11	ダンス	3.8	25	ゲートボール	0.7
12	卓球	2.6	26	トレーニング(器具をつかうもの)	8.2
13	バドミントン	2.9	27	その他( )	4.3
14	釣り	2.8		(無回答)	13.4

問 55 あなたは、総合型地域スポーツクラブができればスポーツの指導者や運営スタッフとして参加  
したいですか。(それぞれ は1つだけ)

(1) スポーツ指導者として

1	参加したい	6.2	2	参加したくない	47.4
3	わからない	36.8		(無回答)	9.6

(2) 運営スタッフとして

1	参加したい	9.4	2	参加したくない	39.2
3	わからない	41.7		(無回答)	9.7

問 56 総合型地域スポーツクラブは会費制となりますが、あなたは月額会費はどのくらいが適当と考  
えますか。

( は1つだけ)

1	300～500円	17.1	4	1,501～2,000円	14.9
2	501～1,000円	27.4	5	2,001～2,500円	6.4
3	1,001～1,500円	18.4	6	2,501円以上	3.9
				(無回答)	11.8

ご回答、大変ありがとうございました。

ご多忙の中、誠に恐縮ですが、調査票を同封の返信用封筒に入れ、6月8日(火)までにお近くの郵便ポストにご投函ください。(切手を貼る必要はありません。)

市 政 世 論 調 査 報 告 書 ( 第 36 回 )

平成 16 年 10 月

---

発 行 八王子市 総合政策部 広聴広報室  
〒192-8501 東京都八王子市元本郷町三丁目 24 番 1 号  
電話 0426-20-7411(直通)  
調査担当 株式会社 アイ アール エス  
電話 03-3357-7181(代表)

---